

# いよいよ決戦へ!



いよいよ、県議会議員としての今任期も、あつた。四年間の活動を振り返ると、突如襲った感染症の来た間、親しい仲間と協力し、行政の対応に力を尽くした。思えば、いろいろなことがあり、大変だった。でも、みなさんと一緒に乗り越えた。これからも、引き続き、みなさんと一緒に取り組んでいこう。

## 志木市立郷土資料館特別展「第18回ひなまつり展」にて

郷土資料館で第18回ひなまつり展を開催しました。当日は多くの市民が来館され、春の訪れを感じました。また、交通安全教室も行われ、子どもたちが交通安全の大切さを学びました。

水害対策に力を注ぎました。堤防の整備や、避難所としての活用など、様々な取り組みを行っています。また、防災意識の向上を図るため、防災訓練なども実施しました。



## 国議会が一体となって地元発展に貢献するため 自民党県議団に入団(小谷野県連幹事長と)

詳細な理由についてはこちら

入れた四年! 県議会の与党的な立場にありまふから、水害対策に力を注ぎました。堤防の整備や、避難所としての活用など、様々な取り組みを行っています。

国議会が一体となって地元発展に貢献するため、自民党県議団に入団しました。これにより、より一層の地域活性化に取り組んでいこうと決意しています。

国議会が一体となって地元発展に貢献するため、自民党県議団に入団しました。これにより、より一層の地域活性化に取り組んでいこうと決意しています。

国議会が一体となって地元発展に貢献するため、自民党県議団に入団しました。これにより、より一層の地域活性化に取り組んでいこうと決意しています。

### 四年間の議員活動の信が問われる

# やまわらじらめか新聞

第141号

発行者 県議員鈴木正人 〒353-0002 志木市中宗岡1-1-2 TEL048-476-7525 FAX048-476-7526

鈴木正人 動画QRコード

県政レポート2023 No.141 埼玉県議会議員 自由民主党県議団 E:mail suzukisec@gmail.com

# 鈴木正人

ホームページ <https://masato.trans.ne.jp>

### 県議会令和5年2月定例会 今任期最後の定例会

## 皆様からいただいた多くの声を県政に生かし持続可能な発展を!

### 大型予算 一般会計2兆2,110億9,500万円を計上

#### 災害・危機に強い埼玉の構築

3「日本一暮らしやすい埼玉」実現への加速

**新規 危機管理・防災対策の再構築** 2億7,194万4千円

- 災害時における対応能力の強化
- 業務継続計画(BCP)の策定と実施
- 災害時連携民間精神科病院の整備
- 警察施設の風水対策の推進

**拡充 防災関連公共事業の推進** 124億8,364万7千円

- 埼玉県流域治水対策の継続と深化
- ドローンを活用した道路路面点検の実施
- 警備施設の風水対策の推進

#### 子育てに希望が持てる社会の実現

3「日本一暮らしやすい埼玉」実現への加速

**新規 子育て支援の充実** 24億3,013万6千円

- 安心して出産・子育てのできる相談支援と経済的支援の一体的実施
- 様々な子育て家庭のニーズに対応する支援
- 外国人介護人材の長期定着を支援
- 医学生への奨学金貸付の拡充

**拡充 少子化対策の推進** 1億7,711万1千円

- 若年層を対象とした妊・不妊・不育症検査助成費の拡充
- 児童虐待防止対策の強化
- 地域医療体制の充実

委員会では不登校児童生徒の「多様な教育機会の充実」について議論され、私は不登校対策はま... (text continues)

また教育支援センターによるオンライン授業が課題として挙がっているが、現在不登校児に対してどのように活用されているのかを質問。

執行部からは、ホームスタディ制度的なものは、様々な環境で不登校になっている家庭に学習支援をする人を派遣するには人のやりくりなどが難しい事もあるなどの課題があるので広がっていない。(実際志木市でも本年度利用実績は小学生の1名)

オンライン授業は、オンライン授業を受ければ出席扱いになったり一人一端末時代となった事もあって活用が劇的に増えているので、中々外に出られない不登校児に対して今後はさらに活用... (text continues)

#### 介護・医療体制の充実

3「日本一暮らしやすい埼玉」実現への加速

**新規 人材の確保・定着対策の推進** 5億4,225万8千円

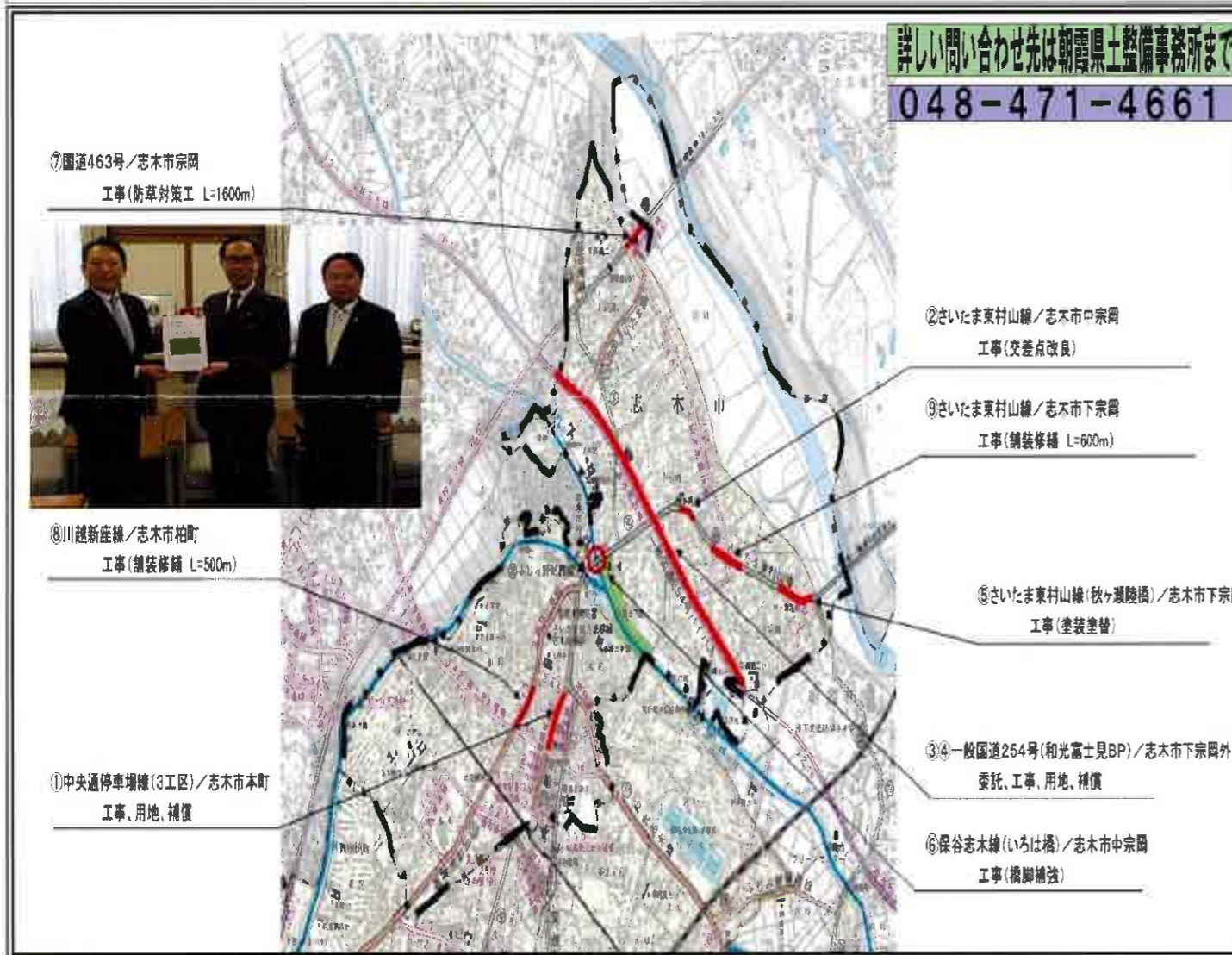
- 介護の魅力のプロモーション
- 外国人介護人材の長期定着を支援
- 医学生への奨学金貸付の拡充

**新規 地域医療体制の充実** 3,357万7千円

- Tele-ICUによる重症患者の医療提供体制の充実
- 小児・AYA世代の終末期がん患者の在宅医療体制の整備

# 令和5年度当初予算案 事業箇所図（志木市）

市町村名	説明事業名	路線名等	事業の概要	備考	課名
① 志木市	街路改良事業費	中央通停車場線 (3工区)	L=327m W=6.0(16.0)m	工事・用地・補償	道路街路課
② 志木市	社会資本整備総合交付金 (交通安全)事業費	さいたま東村山線 (中宗岡)	L=250m W=9.5(18.0)m	工事	道路街路課
③ 志木市	道路改良事業費	国道254号 (和光富士見BP)	L=6,850m W=13.0(42.0)m	委託・工事・用地・補償	道路街路課
④ 志木市	道路改良費	国道254号 (和光富士見BP)	L=6,850m W=13.0(42.0)m	委託・使費料・工事	道路街路課
⑤ 志木市	橋りょう修繕費	さいたま東村山線 (秋ヶ瀬陸橋)	塗装塗替	工事	道路環境課
⑥ 志木市	橋りょう修繕費	保谷志木線 (いろは橋)	橋脚補強	工事	道路環境課
⑦ 志木市	道路環境整備費	(宗岡) 国道463号	防草対策工 L=1600m	工事	道路環境課
⑧ 志木市	舗装道整備費	(柏町座) 川越新座線	舗装修繕 W=7.7m,L=500m	工事	道路環境課
⑨ 志木市	舗装道整備費	(下宗岡) さいたま東村山線	舗装修繕 W=8.5m,L=600m	工事	道路環境課



# 令和5（2023）年 今後の政策課題

## 自らの介護経験からの見えた政策課題

- ・介護離職防止に向けた相談窓口の充実と企業も含めた支援体制の強化
- ・介護認定手続きのオンライン化、ケアマネジャー等による相談体制の多様化、オンライン化などを進め利用者や家族の負担を軽減
- ・こころやからだに不調のある人の「介護」「看病」「療育」「世話」「気づかい」など、ケアに必要な家族や近親者、友人、知人などを無償でケアする【ケアラー】【ヤングケアラー】に対する支援体制の強化
- ・特別養護老人ホームの着実な整備により待機者の削減

## 埼玉県政全般

- ・高齢化による買い物困難地区に対する移動販売事業の支援拡充
- ・結婚希望の若者への出会いの場やマッチングアプリのさらなる拡充
- ・マタニティハウス、認定こども園（就学前事業）、放課後児童クラブ（就学後事業）など様々な子育て家庭のニーズに対応する支援
- ・子育て世代の負担軽減
- ・保育所待機児童対策の推進
- ・保育上の確保・定着と保育の質の向上に向けた総合的取組の推進
- ・男性が子育てのための育児休暇を取り易くするため県庁職員や民間企業の働き方改革の推進
- ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの常勤化に向けた配置の拡充
- ・故郷に誇りと自信を持てる教育の推進
- ・領土・主権教育の充実
- ・県立高校のさらなる特徴化個性化の推進
- ・返済不要な奨学金制度の拡充
- ・DVDなど北朝鮮拉致問題啓発教材の活用による子ども達への人権教育の徹底
- ・北朝鮮による拉致被害者全員救出に向けての県民理解のさらなる推進
- ・令和7年度開設予定の朝霞児童相談所（仮称）を十分活用した児童虐待対策の強化
- ・離婚後の家庭でも親子面会交流がスムーズに行われる環境整備
- ・誰がどのような一般質問をしたかがわからない県議会だよりを、誰がどのような質問をしたか、各会派の賛否などが解り易く書かれる議会だよりへの改革
- ・商店街のDX化キャッシュレス化の更なる推進
- ・中小零細企業へのDX化支援
- ・循環型社会の県民理解の向上とさらなる推進
- ・国に積極財政を求め県民所得を向上

## 鈴木正人プロフィール

1968年5月 東京都板橋区生まれ牡牛座  
1975年3月 シャローム幼児学園卒園  
1975年4月 志木市立宗岡小学校入学（途中 宗三小開校）  
1981年3月 志木市立宗岡第三小学校卒業  
1981年4月 志木市立宗岡中学校入学（途中 宗二中開校）  
1984年3月 志木市立宗岡第二中学校卒業  
1984年4月 埼玉県立志木高等学校入学  
1987年3月 埼玉県立志木高等学校卒業  
1987年4月 国士舘大学政治経済学部政治学科入学  
1991年3月 国士舘大学政治経済学部政治学科卒業  
1993年9月 衆議院議員私設秘書  
1996年4月 志木市議会議員に2位で初当選  
2005年7月 埼玉県議会補欠選挙にて初当選  
2019年4月 埼玉県議会議員選挙において5度目の当選

## 地元における重点政策

- ・国道254号和光富士見バイパス【令和5年夏補所バイパスからいろは通り（セイムス協まで）一部開通予定】の住民の意向を反映した上で早期全面開通へ向けての道筋づくり
- ・254号バイパス一部開通に対するさいたま東村山線（いろは通り・本町通り）の渋滞対策
- ・中央通停車場線（本町通り）3工区の本格整備工事による無電柱化と歩道拡幅の推進
- ・柳瀬川周辺のさらなる水害対策の為、水谷調節池の整備促進
- ・宗岡公民館前交差点前の右折レーン並びに変則信号の改善など交差点整備の完成
- ・志木市の状況に応じた地域包括ケアシステムを構築支援
- ・志木市の介護予防教室（体操教室等）地域ケア会議に参加し助言・指導するなど支援強化
- ・公共交通空白地区に対する足の確保対策の拡充支援
- ・地域包括ケアシステムにおける支えの確保や成年後見制度の利用促進支援
- ・埼玉県の補助金を十分活用した地元商工業発展支援
- ・田子山富士塚や歴史文化財並びにいろは親水公園を最大限活かした観光の推進
- ・県のNext川の再生の推進の中で河川空間の利活用について、企画段階から民間企業との連携を強化しより魅力ある水辺空間の創出を図る「水辺deベンチャーチャレンジ」制度を利用し、いろは親水公園のさらなる拡充や柳瀬川河川敷を活用した新たな水辺空間づくり
- ・キャッシュレス決済端末等を活用した商店街のDX化の更なる推進
- ・新型コロナ禍で低下した子どもの体力回復支援



県政レポート2023 **suzuki masato** 年末特別号 **ご意見・ご要望はこちら!**

埼玉県議会議員 自由民主党県議団

E:mail [suzukisec@gmail.com](mailto:suzukisec@gmail.com)

# 鈴木正人



ホームページ <https://masato.trans.ne.jp>

## 令和5年9月以降の主な活動アルバム



拉致問題を考える埼玉県民の集い



「田子山富士塚」の草刈りに参加



自衛隊官舎などの待遇改善を進めるため  
航空自衛隊熊谷駐屯地を視察



日台交際サミットにて県議会の日台連合会長として出席



志木市美術展覧会（市展）を見学



柳瀬川駅西口にて駅立ち



木原稔 防衛大臣による安全保障の現状について講演を聞く



自民党志木支部 女性部主催の国会見学会に参加

# 活動資金のご支援を宜しくお願いいたします！

普段は鈴木正人の活動にご理解ご支援いただきありがとうございます。  
地元志木市や埼玉全体の発展並びに埼玉から日本を変えようと、日々政策実現のためこれまで以上に忙しく活動しております。  
また責任ある立場となりましたので活動範囲も広がり、活動費も無所属時代より多額となっているのが現状です。

昨年は資金面でのご支援として、**志正会に対しまして199,000円のご寄付**をいただきました。  
心より感謝申し上げます。  
一方で政務活動費の使えない**政治活動の支出は2,479,902円**となっていて、厳しい台所事情が続いております。  
どうか資金面でのご支援もいただけますよう、何卒よろしくお願いいたします。

## 事実上の総理を決める自民党総裁選挙の投票権を得るため自民黨員になりましょう

自民黨員になっていただき、2年(2回)連続で党費を収めていただければ自民党総裁選の投票権を得る事が出来ます。自民党総裁は現状では内閣総理大臣となりますので、直接総理を選べるという意味でも自民党への入党には大きな意味があります。  
鈴木正人は応援しているが自民党は嫌いだという方でも、事実上の総理を決める自民党総裁選挙は日本の国運を決める大事な1票を獲得出来ますので、失われた30年を取り戻すべく地方自治体の元気や日本国を再生させるために自由民主党への入党をお願いいたします。  
入党に際しては、鈴木正人事務所へご連絡ください。

## 自民黨員募集！鈴木正人事務所を通じての入党をお願いいたします！

期間	暦年（1月1日から12月31日）
単位	個人（世帯毎）
年党費	一般（世帯主）4,000円・家族2,000円・特別20,000円以上／家族黨員として入党するには、同一世帯に同一姓の一般黨員1名が必要です
年齢制限・国籍・資格	18歳以上で日本国籍を有する方／わが党の綱領、主義、政策等に賛同される方／他の政党の党籍を持たない方
入党時期	一年通じていつでも入党可能です。但し、1月1日から12月31日が一年の期間となります。10月1日に入党いただいた場合、初年は3ヶ月間のみ黨員となります。月割は出来ません。一年分の党費が必要となります。
初回（新規入党時）	「新規入党申込書」に氏名、住所、電話番号などを記入し、党費（現金）を添えて手続きをします。必ずはお問い合わせください。

お問い合わせ先 電話048-476-7525 メール [suzukisec@gmail.com](mailto:suzukisec@gmail.com)

入党すると、自民党総裁選で投票することができます。  
総裁選挙の前2年継続して党費を納めた黨員の方は、総裁選挙の有権者になります。

## 鈴木正人 後援会（カンパ用）志正会への入会のお願い

振込先 埼玉りそな銀行  
志木支店 3685707  
(普通) 志正会 鈴木正人まで  
1口 年間1000円より  
何口でもOK！

※入金後は事務所にご連絡をいただけますよう宜しくお願いいたします！

TEL 048-476-7527 メール [suzukisec@gmail.com](mailto:suzukisec@gmail.com)

# アフターコロナ時代に入りコロナ禍の課題解決へ!



**県議会第二会派の二員として責任ある立場で新たに活動!**

皆さんのお蔭で、よい新たな任期も四月三十日より始まつております。責任ある自民党県議員(定数九十三名)の立場として、忙しい日々をば

皆さんのお蔭で、よい新たな任期も四月三十日より始まつております。責任ある自民党県議員(定数九十三名)の立場として、忙しい日々をば

# やわらかまじめ新聞

第143号

発行者  
自由民主党県議団  
県議会議員鈴木正人  
〒353-0002  
志木市中宗岡1-1-2  
TEL048-476-7525  
FAX048-476-7526



鈴木正人 プロフィール

## 宗岡第三小学校FFC(おやじの会) 令和五年度・総会後の懇親会にて

会あ感 活埼持たな 高やん政らもし て最色るない さにい 県る担だ  
もっ染新動玉っなり 具て役ま議より さい 対の議立も  
三徐症型 動玉っなり 具て役ま議より さい 対の議立も  
年々、にコロな行 展元とた六期 随張つてなイ党と  
見る事 懇親も類 ねにやを新と 分感る具がプと

う上じ新わ ての的経な果、でもと もは校和 て体県く感  
ん手こ型っ ラまに済歪、す増前高増前不三不 力全、染た  
でくコッ イすし動もみ社会イホ全 しまは体コの、新  
す行がか して ロナ スね。状始う全ホム しまは体コの、新  
が、な いて 禍たの、はたく本、様、結 しまは体コの、新  
新いと、同、 変 いの格、々、 しまは体コの、新

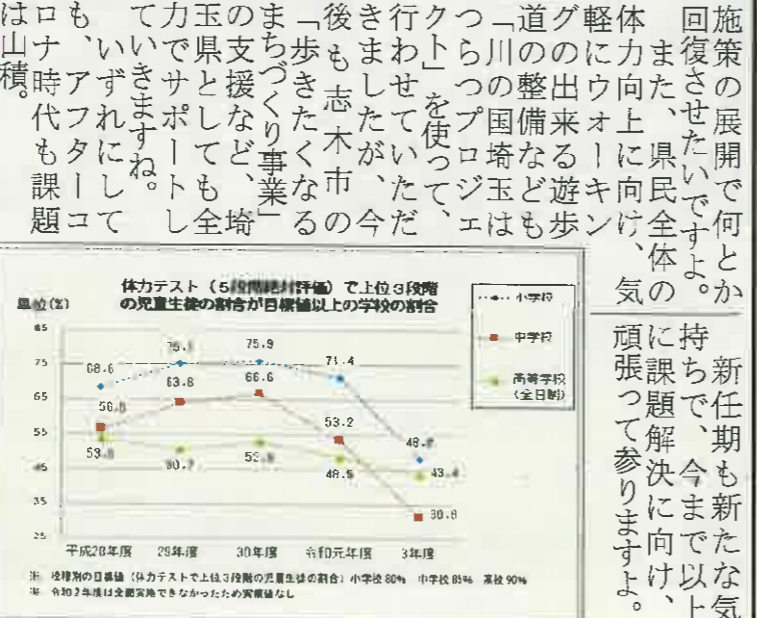
**歩きたくなるまちづくり事業(志木市)**

**【目的】**  
実証的に歩くとを楽しくもたし運動習慣として定着させていくことで、市民の健康増進及び外出機会増加によるまちのぎわい創出。

**【概要】**  
ウォーキングの拠点となる広場・休憩場所の整備や長距離形成がメインの作成することで、まちの滞在空間や景観の環境整備を進めるとともに、マルティメディアウォーキング・ボールウォーキング全国大会やボールの貸出事業を通して市民のウォーキングを推進し、ウォーキング人口の増加によるまちのぎわい創出を図り、魅力あるまちづくりの取組を進める。

① 歩きたくなるまちづくり事業(4,489万円)  
② 歩きたくなるまちづくり事業(2,200万円)  
③ 歩きたくなるまちづくり事業(1,300万円)

要望額: 1,400万円(総事業費: 3,568万円) 補助率: 1/2



県政レポート2023 No.143  
埼玉県議会議員 自由民主党県議団  
E:mail suzukisec@gmail.com

# 鈴木正人

ホームページ https://masato.trans.ne.jp

## 埼玉県議会 新たな任期がスタート!



文教委員会 委員長に就任 責任ある立場で教育改革を推進

お蔭様で令和5年4月30日より、6期目の新しい任期がスタートいたしました。令和5年5月16日には初顔合わせ会、5月23日、24日には新議長や各委員会、補正予算案を審議する埼玉県議会臨時会が開催されました。鈴木正人は文教常任委員会委員長に選任され、宮崎吾一副委員長と共に埼玉教育行政発展のため、今まで以上に責任を持って活動してまいります。早速臨時会では文教委員会委員長として、本会議場にて登壇し、文教委員会の審議について委員長報告をさせていただきました。

特別委員会では、経済・雇用対策特別委員会の委員となりました。

また臨時会に提出された補正予算は、学校給食費等保護者等軽減負担費4872万9千円など、県立の公立学校給食費の支援、事業者への光熱費支援、一般消費者へのLPガス補助など183億8400万円の補正予算案が全会一致にて可決されました。

エネルギー・食料品価格等の物価高騰対策が急がれる中、臨時会での補正予算案提出は県政史上初となります。

これからもしっかりと責任ある立場から、埼玉県政発展のために頑張ってまいります。

臨時会にて本会議上で早速委員長報告

**物価高騰の影響を受ける生活者に対する緊急支援**

LPガスを使用する一般消費者等に対する支援	子供の居場所づくり拡大への支援強化
40億7,029万円	2億3,209万2千円

**概要**  
高騰するLPガス料金の一般消費者等の負担を軽減するため、販売業者を通じ、緊急的措置として価格高騰の影響の一部を補助

**内容**  
子供たちが安心して過ごすことのできる子供の居場所を拡大するため、パッケージで支援するとともに、夏休みの期間の子供の食事を確保

**福祉施設、医療施設等に対する支援**

70億1,102万7千円

**概要**  
光熱費等の価格高騰の影響を緩和し、福祉施設等の運営継続を支援するため、緊急的措置として施設等設置者に対して補助

**補助内容(主なもの)**

- 高齢者施設(入所): 12,200円～17,800円/定員1人
- 病院: 20,000円～55,000円/床
- 私立高校: 2,420円～3,000円/生徒1人

# 5月臨時会にて補正予算がついたもの（続き）埼玉県政全般

## 物価高騰の影響を受ける事業者に対する緊急支援

**特別高圧電力を使用する中小企業等に対する支援**  
38億4,110万円

**概要**  
高騰する電力価格の影響を緩和するため、緊急的措置として特別高圧電力を使用する中小企業等に対し補助

**補助内容**  
工場・工業団地は電気使用量に、テナントは床面積に応じ補助  
 > 工場・工業団地 4~8月分⇒3.5円/kWh、9月分⇒1.8円/kWh  
 > 大型商業施設テナント 4~8月分⇒95円/m<sup>2</sup>、9月分⇒48円/m<sup>2</sup>  
 > オフィスビルテナント 4~8月分⇒65円/m<sup>2</sup>、9月分⇒33円/m<sup>2</sup>

**地域公共交通事業者に対する支援**  
3億2,156万4千円

**概要**  
乗合バス、タクシー及び地域鉄道の運行継続を支援するため、緊急的措置として燃料費等高騰の影響分を補助

**補助内容**  
 > 乗合バス: 55,000円/台 > 地域鉄道: 541,000円/両  
 > タクシー: 12,000円/台

**福祉施設、医療施設等に対する支援**  
70億1,102万7千円

**概要**  
光熱費等の価格高騰の影響を緩和し、福祉施設等の運営継続を支援するため、緊急的措置として施設等設置者に対して補助

**補助内容（主なもの）**  
 > 高齢者施設（入所）: 12,200円 ~ 17,800円 / 定員1人  
 > 病院: 20,000円 ~ 55,000円 / 床  
 > 私立高校: 2,420円 ~ 3,000円 / 生徒1人

**畜産農家・酪農家に対する支援**  
3億6,822万円

**概要**  
畜産農家・酪農家の経営支援のため、緊急的措置として飼料代の価格高騰の影響分などを補助

**補助内容（主なもの）**  
 > 畜産農家: 配合飼料の購入費用の一部 1,000円/ト  
 > 酪農家: 輸入粗飼料の購入費用の一部 21,000円/ト

## 物価高騰の影響を受けにくい経営体質への転換を促す支援

**中小企業等における原材料の転換等の支援**  
5億1,423万8千円

**概要**  
原材料の転換や使用量削減のため、専門家等の助言に基づき、中小企業等が行う設備投資や製品開発等の経費を補助

**支援内容**  
 > 専門家派遣: 現地調査や助言（無料、最大2回まで）  
 > 補助対象: 原材料コスト低減のための設備導入・更新、試作品の研究開発等  
 > 補助率: 1/2 補助上限額: 750万円

**中小企業等の省エネ・再エネ設備投資への支援**  
14億7,463万7千円

**概要**  
中小企業等の体質改善とCO<sub>2</sub>排出削減のため、緊急対策枠として、省エネ・再エネ設備の導入費用を補助

**緊急対策枠**  
 > 補助対象: 空調設備・ボイラー等の更新（15年以上使用）、蓄電池と組み合わせた太陽光発電設備等の導入  
 > 補助率: 1/2 補助上限額: 500万円

**企業の価格転嫁に向けた支援**  
2,906万5千円

**概要**  
中小企業の稼げる力の向上や賃上げにつなげるため、価格転嫁の気運醸成や個別企業に対する働き掛け支援を実施

**「パートナーシップ構築宣言」の登録促進**  
 > 価格交渉のノウハウ獲得に向けた伴走型支援  
 > 適切な価格転嫁を呼び掛ける事業者向け広報

**地域内資源を活用した堆肥の活用促進**  
1億4,525万円

**概要**  
食品残さや家畜排せつ物等を活用した堆肥製造を促すため、肥料製造業者等に対し補助

**補助対象**: 堆肥製造に必要な機械等の導入経費（例）食品残さ堆肥プラント、ペレット堆肥製造機など  
 > 補助率: 1/2 補助上限額: 2,000万円

## 令和5年度 5月臨時会補正予算案の概要

▼国の「物価高克服に向けた追加策」に迅速に対応し、エネルギー・食料品価格等の物価高騰により厳しい状況に置かれている県民及び事業者を支援するため、当面緊急に対応すべき事業について補正予算を編成。

【補正予算の内容】 (1) 物価高騰の影響を受ける生活者に対する緊急支援 (2) 物価高騰の影響を受ける事業者に対する緊急支援 (3) 物価高騰の影響を受けにくい経営体質への転換を促す支援

●補正予算の財源内訳（一般会計） 歳出 財源内訳 国庫支出金 183億8,387万9千円  
 183億8,387万9千円のうち ※国庫支出金の内訳・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が180億6,901万4千円・新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金2億8,636万5千円・基幹水利施設管理事業費補助金 2,850万円

令和5年6月定例会は、6月19日（月曜日）から7月7日（金曜日）の予定

# 埼玉県政 地元志木市関連 情報

国道254号和光富士見バイパスの志木市～富士見市の区間が7月29日に開通予定



開通に向けて急ピッチで工事中（さいたま東村山線交差点付近）

埼玉県では、和光市内の東京外かく環状道路から富士見市内の国道463号に至る総延長6.9km区間を和光富士見バイパスとして整備を進めてまいりました。

今回、志木市内の県道さいたま東村山線から国道463号までの延長1.4km区間が完成し、7月29日（土）15時に開通する予定です。

この区間の開通により、円滑な交通が確保され、周辺道路の渋滞緩和や歩行者・自転車の安全・安心な通行空間の確保が図られます。

周辺の交通渋滞対策を行いながら、重要物流道路として、志木市の地域経済発展や災害時の防災道路として活躍する事を期待したいと思います。



▼開通区間 志木市中宗岡地内（県道さいたま東村山線）～富士見市下南畑地内（国道463号）

- 延長 1.4km
- ◆幅員 36～42m（暫定3車線）
- ◆着手年度 昭和59年度
- ◆事業費 約160億円

## 柳瀬川 志木大橋（ニュータウン裏側）～富士見橋下流までの間の遊歩道整備と堤防かさ上げ工事が完了



埼玉県「川の国埼玉はつらつプロジェクト」の一環である、富士見橋上流・柳瀬川右岸側から志木大橋までの遊歩道整備並びに水害対策としての堤防かさ上げ工事。

令和5年4月末に、残りの東武東上線鉄橋から上流志木大橋部分までの間も完成。

年度をまたいでしまいましたが、これで柳瀬川右岸側・志木市分の遊歩道整備はすべて完成いたしました。ウォーキングなどでご活用ください。



# 引き続き県民の命を守る！



長い長い暑い日も、ようやく落ち着いたように感じました。五類に移行したものの、正確な数字まではまだ出ていません。第八波と平均医療機関当たりの平均患者数は、第一波のピークに比べて、半分程度に下がっています。高齢者施設に入っている方も、状況は落ち着いてきました。

「希望する方へは、無料でワクチン接種が可能です。希望者の方には、新しい希望者の方へは、接合再接種の機会を確保し、スーパースプレッダーの感染拡大を防ぐために、引き続き県民の命を守るための対策を講じてまいります。」

## 4年ぶり開催されたしきアロハ商店街夏祭りにて

大野市長と関係者、市民らと共に、4年ぶりに開催されたしきアロハ商店街夏祭り。大野市長は、この機会に、市民らと共に、4年ぶりに開催されたしきアロハ商店街夏祭り。大野市長は、この機会に、市民らと共に、4年ぶりに開催されたしきアロハ商店街夏祭り。

大野市長は、この機会に、市民らと共に、4年ぶりに開催されたしきアロハ商店街夏祭り。大野市長は、この機会に、市民らと共に、4年ぶりに開催されたしきアロハ商店街夏祭り。

大野市長は、この機会に、市民らと共に、4年ぶりに開催されたしきアロハ商店街夏祭り。大野市長は、この機会に、市民らと共に、4年ぶりに開催されたしきアロハ商店街夏祭り。

**旅して！埼玉割**

2023全国版 旅して！埼玉割

宿泊のみ・日帰り旅行 20%OFF (最大3,000円)

交通サービス付旅行商品(宿泊) 20%OFF (最大5,000円)

電子クーポン配布 平日 2,000円券 休日 1,000円券

令和5年1月10日(四)～令和5年11月30日(木)

## 大野県政二期目のスタートもまだまだまだ

大野県政二期目のスタートもまだまだまだ。大野市長は、この機会に、市民らと共に、4年ぶりに開催されたしきアロハ商店街夏祭り。

大野市長は、この機会に、市民らと共に、4年ぶりに開催されたしきアロハ商店街夏祭り。大野市長は、この機会に、市民らと共に、4年ぶりに開催されたしきアロハ商店街夏祭り。

大野市長は、この機会に、市民らと共に、4年ぶりに開催されたしきアロハ商店街夏祭り。大野市長は、この機会に、市民らと共に、4年ぶりに開催されたしきアロハ商店街夏祭り。

大野市長は、この機会に、市民らと共に、4年ぶりに開催されたしきアロハ商店街夏祭り。大野市長は、この機会に、市民らと共に、4年ぶりに開催されたしきアロハ商店街夏祭り。

# やわらかまじめか新聞

第144号

発行者 自由民主党県議団 県議会議員鈴木正人 〒353-0002 志木市中央1-1-2 TEL048-478-7525 FAX048-478-7526

鈴木正人 ブログはこちら

県政レポート2023 No.144

埼玉県議会議員 自由民主党県議団

鈴木正人

ホームページ <https://masato.trans.ne.jp>

## 二期目の大野県政がスタート！ 埼玉県議会令和5年9月定例会概要



一般会計補正予算(第2号)

一般会計 歳入歳出予算 **165億1,057万9千円**  
(補正後累計 2兆2,459億8,945万8千円)

主な内容

- 高齢者・障害者施設等における新型コロナウイルス感染症対策の支援継続 69億4,946万6千円
- 企業版ふるさと納税を活用したeスポーツの普及・裾野拡大 1,062万9千円
- 公共事業の追加 21億6,345万3千円

### 大野知事が先頭に立ち志木市で開催された「九都県市合同防災訓練」にて

企業版ふるさと納税を活用したeスポーツの普及・裾野拡大 / 公共事業の追加

企業版ふるさと納税を活用したeスポーツイベントの開催 1,062万9千円

eスポーツの普及・裾野拡大に向け、その地域活性化など多様な可能性を追求するため、2つのイベントを開催

(1)普及イベント

- ▶対象：誰もが参加可能(参加無料)
- ▶内容：プロ選手と市民の対戦マッチ(操作技術、戦略等)・セミナー向け体験会・プロ選手との交流会 等

(2)トレーニングキャンプ

- ▶対象：高校生(公募25名程)
- ▶内容：プロチームによる指導(操作技術、戦略等)・メンタル、食事等指導・学内関係者、県内企業の見学受け入れ 等

### 工事請負契約の締結について (23朝霞児童相談所(仮称)新築工事)

事業の概要(令和7年度開所予定)

- 目的：より迅速かつ、きめ細やかな児童虐待への対応するため、県西部地域に新たな児童相談所を建設
- 整備内容：管理人口の増大に伴い、一時保護室195人→180人
- 設置場所：朝霞市青葉台1丁目2番16

施設の特徴

- 学童児童の居室を個室化
- 年齢や学習環境に応じた学習室を設置

工事の概要

- 構造・規模：鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造) 2階建て 延べ面積 4,021.13㎡
- 開工時期：令和7年1月31日
- 請負金額：14億3,000万円(税別)
- 請負者：朝霞市議会 朝霞市 児童福祉課 学習室改修

### 公共事業の追加 21億6,345万3千円

公共事業の内定額に伴う追加工事の実施

- 道路・街路事業 31箇所
- 河川事業 13箇所
- 公園事業 1箇所 計 45箇所

例：越谷野田線(仮称)の延伸

- ・地盤改良工事
- ・工事着手の前倒し (令和6年4月予定→令和5年10月予定)

例：飯沼川(仮称)の延伸

- ・排水機場整備工事、用地買収
- ・工事着手の前倒し (令和6年4月予定→令和5年10月予定)

例：熊谷スポーツ文化公園(仮称)の整備

- ・土留工事の撤去、駐車場舗装の改修等実施
- ・工事着手の前倒し (令和6年4月予定→令和5年10月予定)

児童虐待相談所新設に向けた動画報告並びに詳細と一般質問の詳しい内容について

189

児童虐待相談対応件数が増加する中、川越児童相談所と所沢児童相談所の所管の人口は110万人を超えており、過大な負担を抱えています。そのような状況を改善することが必要であると考え、私は令和元年9月と令和3年2月定例会の一般質問において、埼玉県の南西部地域において児童相談所の新設をするよう質問をし、前向きな答弁をいただきました。そして2つの児童相談所の所管区域を再編し、所沢児童相談所が所管している朝霞、志木、和光、新座と、川越児童相談所が所管している富士見、ふじみ野、三芳町の6市1町を管轄する新たな朝霞児童相談所設置に向け、いよいよ工事が始まる予定です。

# 埼玉県政 地元志木市関連 情報

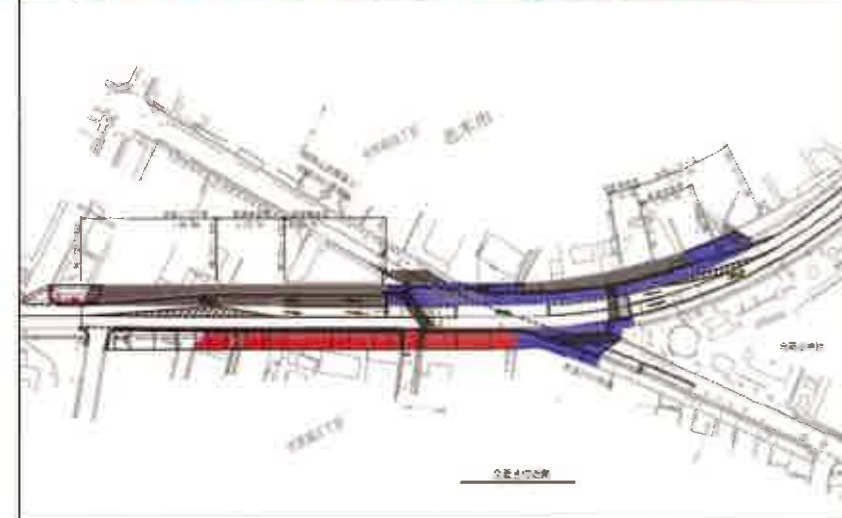
国道254号和光富士見バイパスの志木市～富士見市の区間が7月29日に開通!



一般国道254号和光富士見バイパス「志木～富士見」間は、7月29日(土)酷暑の中無事開通いたしました。  
 当日の式典は、地元の柳太鼓、囃子、鼓童、宗中ブラスバンド部が式典を盛り上げてくださり、多くの関係者並びにご近所の方達が集まって盛大に開催されました。  
 開通後に心配された市内各地の渋滞ですが、一部で懸念された程ではなく、志木～富士見間開通効果を発揮しております。今後も状況に応じた渋滞対策を行っていきながら、和光から富士見まで1本でつなぐため、残り4.5キロ区間の早期完成に向け国県市と連携し全力で取り組んでまいります。



## 県道さいたま東村山線 宗岡公民館前交差点工事進捗情報



県道さいたま東村山線(いろは通り)の宗岡公民館前の交差点工事の進捗状況は、左にある別添図面(赤着色)の通りスポーツジム側の歩道工事を実施して一部完成しました。  
 かわしん側を含めた残りの工事(図面青着色)は、今後別工事として実施する予定です。  
 県道の渋滞の原因を取り除くための右折レーンの設置に向け、着実に工事を進めてまいります。



# 埼玉県議会 文教委員長として埼玉県教育の発展のため奮闘中!



令和5年6月定例会にて委員長報告で壇上へ

自由民主党県議団に入団し、新任期になってから文教常任委員長に就任。委員長として、埼玉県教育発展のために日々奮闘をしております。  
 常任委員会では、委員長としてスムーズかつ公平に議事を進行しておりますが、事前の自民党県議団内の打ち合わせの中で、委員長が質問したかった内容などを他の団員がしっかり調査をして、チームプレイで素晴らしい質問をしてくれております。  
 また、文教常任委員長として県内の特別支援学校の開校式への出席兼現場視察や、委員会県外視察の企画、さらには宛て職として様々な県の「人権委員会」などにも出席し、まだまだ若い世代に浸透していない最大の人権問題である「拉致問題」啓発などを強く訴えております。



南部地区人権教育実践報告会にて挨拶 拉致問題啓発教育の重要性を訴える



文教常任委員会の自民メンバーと 人権教育推進協議会にて 文教常任委員会県外視察

## 文教常任委員長の委員長報告詳細 はるかぜ特別支援学校を視察



埼玉県議会文教委員会で、特色ある高校づくりについて調査するために、「茨城県立IT未来高等学校」を視察。IT技術の進展や人材不足に対応した教育改革の一環として、既存の県立高校を改編し、本年4月に開校した実践を中心に行う情報技術教育の単科校です。  
 プログラマーをめざす「情報システムコース」とCGデザイナーやゲームクリエイターを目指す「情報デザインコース」の2コースを設置した最先端校で、埼玉県もICT教育の推進と公立高校の特色化を進める中、大変参考になる視察となりました。



茨城県立「IT未来高等学校」を視察







# 埼玉県議会 令和5年12月定例会報告



## 文教常任委員長として12月定例会も議事を進行

### 令和5年度12月補正予算（追加）案の概要

エネルギー・食料品価格等の物価高騰により厳しい状況に置かれている県民及び事業者を支援するため、国の「デジタル完全脱却のための総合経済対策」に基づく補正予算を活用し、当面対応すべき事業について補正予算を編成した。

#### 【補正予算の内容】

- (1) 物価高騰の影響を受ける生活者・事業者に対する緊急支援
- (2) 物価高騰の影響を受けにくい経営体質への転換を促す支援
- (3) その他

## 一般会計補正予算(第3号)

一般会計 歳入歳出予算 **9,688**万1千円  
 (補正後累計 2兆2,460億8,633万9千円)  
 総経費 総額 16億3,208万8千円  
 繰越明許費 167億4,402万3千円  
 債務負担行為 限度額 222億5,762万1千円

### 主な内容

- 高温などによる水稲及び大豆の被害への対応 9,676万5千円
- 県立川口特別支援学校教室棟の増築工事 (総経費の設定 総額 16億3,208万8千円) (期間 令和5年度から令和7年度)
- 公共事業等の施工時期の平準化・適正工期の確保 (債務負担行為の設定 限度額 222億5,762万1千円) (繰越明許費の設定 167億4,402万3千円)

埼玉県議会12月定例会は12月22日、追加分の物価高騰対策などを盛り込んだ約114億9715万円の補正予算案など、計47議案を可決し閉会いたしました。

### 1 補正予算額

区分	補正前	補正額	計
一般会計(第5号)	2億2,478億9,774万3千円	114億9,715万2千円	2億2,593億9,489万5千円
特別会計	1億2,505億5,915万3千円	-	1億2,505億5,915万3千円
公営企業会計	1,975億 352万7千円	-	1,975億 352万7千円
合 計	4億6,959億6,042万3千円	114億9,715万2千円	4億7,074億5,757万5千円

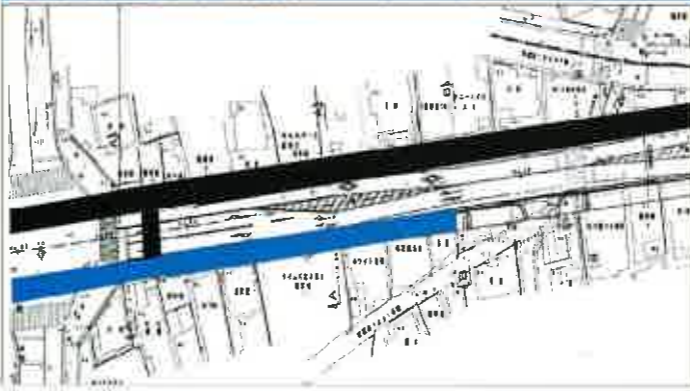
### 2 補正予算の財源内訳(一般会計)

歳 出	財源内訳	
	国庫支出金	繰越金
114億9,715万2千円	114億8,091万7千円	1,710万5千円

※ 国庫支出金の内訳  
 ・物価高騰対応緊急支援地方創生臨時交付金 111億5,078万3千円  
 ・野菜産地育成対策交付金 2億1,000万円  
 ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 8,285万4千円  
 ・障害者福祉費補助金 2,869万円  
 ・児童福祉事業可算費等補助金 781万円

## 県道の歩道拡幅・交差点改良工事 最新情報!

### 中央通停車場線3工区の状況について



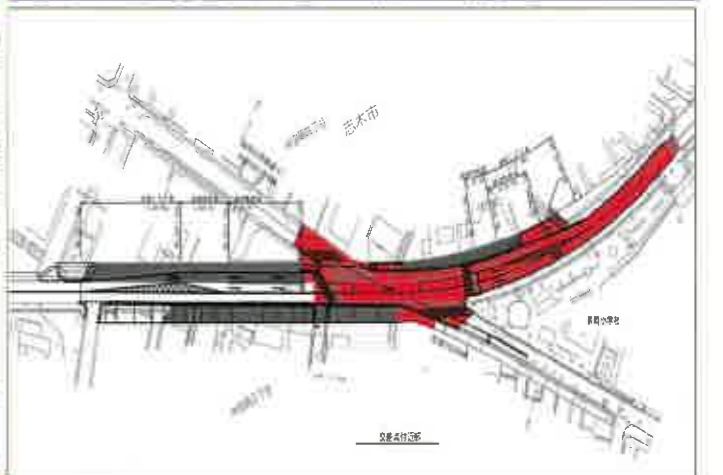
朝霞県土整備事務所によりますと用地買収及び工事の進捗状況は、用地買収については、本線部分に1件、志木市道との交差点の青い部分で数件あるとの事でした。

しかし、事業には協力的であるため、交渉を継続しているところだそうです。

工事については駅側から進めており、今後市役所方面へ進めていくとの事でした

朝霞県土整備事務所には改めて1日も早い道路拡幅と電線地中化の整備を要望いたしました。

### 宗岡公民館前交差点工事の進捗状況について



宗岡公民館前交差点改良工事ですが、交差点内の用地買収は完了し、交差点から離れた部分の用地交渉を継続中です。

なお、交差点内の工事は、1月から始まります。同時に信号や電柱の移設工事を行うため、完成にはもう少し(年度を超えて6月以降)時間を要します。※図面参照：赤部分が今回工事



▼多くの県民の方にご批判を受けた虐待禁止条例案提出の反省から【パブリックコメント検討会】が設置され、検討会の委員に選任されたので数多く発言し、今まで非公表だったパブリックコメントの公表、中間報告、市町村や他党派への丁寧な事前説明などが決定しました。



◆「埼玉県議会・日台友好議員連盟」会長として、仲間の議員や埼玉県台湾総会の皆さんと日台交流サミットin仙台に出席。  
 全国各地からの日台友好を深める議員さん達や、台湾からは謝長廷・駐日代表、台南市からも多くの市議会議員が訪日され、日台の絆をより深めたところであります。  
 次回のサミットは、新しく誕生した頼清徳 総統が以前市長をしていた台南市で開催予定です。

## 日本パラオ友好議員連盟発足



### ピーター・アデルバイ 全権特命大使と

▼埼玉県議会日本パラオ友好議員連盟発足!

私は過去に戦没者慰霊やダイビング観光等で6回訪問している事があったので、会長代行としてさらに地方議員外交を展開する事となりました。

過去日本統治下にもあったので、非常に親日的な国です。

土屋県政時代には親密な交流のあったパラオとの友好を、さらに深めて行きたいと思っております。

## 子どもまんなかPTが志木市の放課後志木っ子タイムを視察



埼玉県議会自由民主党県議団「子どもまんなかPT(プロジェクトチーム)」は、宗岡第四小学校を訪問し志木市が誇る「放課後志木っ子タイム」を視察。

教育長を始め生涯学習課の職員さんや社会福祉協議会の職員さんなど、多くの皆さんから丁寧な説明をいただいたのでPTメンバーは大変感心し、すべての子ども達の居場所確保や学童保育クラブの待機待ちの解消に向けた志木市の取組が埼玉県中に広がり、子ども達の居場所がしっかり確保されるよう条例制定も含め、お役に立てられればと思います。

# 鈴木まさひろ

埼玉県議会 自由民主党議員団

日頃より多くの皆様の応援をいただき、心より感謝申し上げます。生まれ育った熊谷の皆様への感謝の気持ちや郷土への愛着が私を突き動かす原動力です。若い力で社会の停滞感を打破し、熊谷市選出の県議として、全力で行動してまいります！

これから  
全力で働きます!!

自民党の初当選同期を代表し、  
早速、知事へ質問・提言！

質問の一部が各新聞に掲載!!

(埼玉新聞 2023年6月27日)



鈴木 まさひろ (自民 熊谷市)

【質問】県北部地域、群馬県栗毛地域および栃木県南部地域は県境を越えて共に発展してきた。行き来するには利根川を渡る必要があり、周辺の橋は刀水橋と武蔵大橋に限られ二つの橋の距離が約10キロ。大規模災害などが発生した際は緊急輸送に支障が生じる。北関東有数の広域経済圏としてさらなる進化と飛躍を遂げるためにも、利根川新橋の建設（これに通じる広域的な道路交通網の整備を、地域一丸となつて熱望している。5月には群馬県の山本一太知事が新橋の整備着手の方針を明確にした。）

### 利根川新橋の早期実現を

本県としても事業化に向け、調査検討を加速する必要があると考えるが、新橋の意義および整備にかける知事の意気込みは、「大野知事」利根川新橋を含めた広域的な道路網の整備は、本県のみならず地域経済の発展に大きく寄与する。長年の検討課題だったグライダー場移転について、隣接する妻沼ゴルフ場が閉鎖され、移転の検討が可能になるなど、状況が急速に変化した。群馬県の山本知事も「埼玉県との調整や具体的検討を進めるよう県土整備部に指示を出したい」と述べ、事業化に向けた意欲を示されたことは、埼玉県としても協議が進むものと歓迎している。群馬県との連携を密にし、現地の測量に着手するなど事業化に向けて、道路計画を具体化するための調査検討を着実に進める。

大野元裕知事は、群馬県と共同で検討している「利根川新橋」の早期事業化に向けた意欲を開会中の県議会に示した。本年度は、群馬県と現地の測量に着手。今後も道路計画を具体化するため、調査検討を推進していく意欲を表明した。利根川により隔たれた両県間をつなぐ主な幹線道路には、国道407号刀水橋がある。上流・下流には他の橋梁も架かっているが、距離があり、刀水橋に車両交通が集中している。対策として、刀水橋より南東側で、熊谷市と群馬県千代田町を結ぶ新橋梁の検討を長く続けた。

悲願の事業着手に向け、意欲を尋ねた鈴木まさひろ県議（自民）に対し、知事は「状況は急速に変化した」と説明。想定するルート帯にあるグライダー場の移転が検討課題の一つだったが、妻沼ゴルフ場の閉鎖を受け、移転の検討が可能になった。

新橋が完成すれば、地域間経済の発展、既存橋の渋滞緩和、代替路の確保などが図られる。

埼玉建設新聞2023年6月30日

### 利根川新橋、早期事業化へ知事が意欲

## 鈴木まさひろ プロフィール

- 平成元年 熊谷生まれ、熊谷育ち
- 佐谷田小、熊谷東中、農三高、学習院大 法卒
- 第一生命 本社勤務を経て、熊谷市議を2期8年経験  
2023年に13958票のご信任を賜り、平成生まれとして初めて埼玉県議に当選

学生時代に東日本大震災の被災地支援や途上国への留学を経験し、もがく中で政治を志すようになりました！

# 変化を恐れず、県北の未来を切り拓きます！



## 鈴木まさひろ 一般質問 全8項目 (一部抜粋)

### 1 聴覚障がい者の国際大会「デフリンピック」の成功に向けた支援と共生社会の更なる推進について

(1) 総合的見解と支援の在り方について (2) 情報バリアフリーの推進について (3) 次世代を担う選手の発掘について (4) 共生社会の推進について



鈴木

デフリンピックは、4年に1度、世界規模で開催される聴覚障がい者のスポーツ大会です。2025年の開催地には史上初めて日本が選出されました。再来年に大会を控える中、デフリンピックを通じて共生社会を効果的に推進し、あらゆる人々と多様性の持つ価値を共有する契機とすべきです。そうした観点も踏まえ、デフリンピックへの見解と意気込みを知事に伺います。

日本で初めて開催されるデフリンピックについて、インクルーシブ社会を推進する上でも極めて重要なチャンスと捉えています。県としても、大会の趣旨に賛同するのみならず、障がい者への理解を深め、啓発やイベントを実施するとともに、選手強化支援等を積極的に行うことにより、スポーツを通じた共生社会の実現を目指します。



鈴木

デフリンピックの開催にあたって、現状の認知度の低さが大きな課題となっています。一昨年、実施された日本財団による認知度調査では、パラリンピックの97.9%に対し、デフリンピックは16.3%という結果です。そこで大会認知度の向上に向けた今後の取組についてお聞かせください。

県HPやSNS、彩の国だよりなどで、活躍が期待される選手を特集するなど、県民の関心を高め、大会認知度を向上させてまいります。他にも啓発イベントや選手との交流など市町村も巻き込み、準備をしていきます。



大野知事



大野知事

### 2 性の多様性を尊重した社会づくりについて

### 3 利根川新橋の早期実現に向けて

### 4 アンガーマネジメントの推進について

### 5 EBPM(根拠に基づく政策形成)の推進に向けた大学との連携について

### 6 金融経済教育の推進について

### 7 身体に負担のかかる「体育座り」の見直しについて

### 8 地元問題

(1) 都市計画道路熊谷太田線の整備について

(2) 県道弥藤吾行田線の歩道整備について



※一般質問の詳細は、  
県議会HPから  
ご覧いただけます! →



## 一般質問とは?

本会議にて議員が、知事や執行部(行政)に対して行う一連の質疑応答を指します。単に疑問点を訊くというより「政策提案・追求」等の性質を持ち、役所の指針決定に影響を与える大切なやり取りです。



熊谷バイパス建設期成同盟会へ  
小林市長から要望書を受領!



インパーカーキル市(熊谷の姉妹都市)の  
クラーク市長と。訪問団の皆様をお迎えし、  
(留学経験も生かして)親交を深めました!



小林市長とは膝を交えて率直に対話。  
だからこそ強い信頼関係!



知事との対話を重視し、信頼関係を構築!



うちわ祭の各神事へ出席!  
熊谷の伝統を誇りに思います!



使命感を持って街頭でも  
県政報告の演説をしています!



星川で恒例の「打ち水大作戦2023」にて!



自民党県議団の同期の皆様と。

埼玉県議 (熊谷市選出)

34歳

# 鈴木まさひろ

目頃より多くの皆様の応援をいただき、心より感謝申し上げます。生まれ育った熊谷の皆様への感謝の気持ちや郷土への愛着が私を突き動かす原動力です。

若い力で社会の停滞感を打破し、熊谷市選出の県議として、全力で行動してまいります！

■ 会社員と熊谷市議2期の経験

■ 大学在学中に被災地支援を経験



大野知事と連携し、熊谷の発展に全力!!



小林市長と日頃から率直に対話。だからこそその強い信頼関係!!



熊谷駅と浦和駅で防犯推進活動を実施!

## 鈴木まさひろ プロフィール

- 平成元年 熊谷生まれ、熊谷育ち
- 佐谷田小、熊谷東中、農三高、学習院大 法卒
- 第一生命 本社勤務を経て、熊谷市議を2期8年経験  
2023年に13958票のご信任を賜り、平成生まれとして初めて埼玉県議に当選

学生時代に東日本大震災の被災地支援や途上国への留学を経験し、もがく中で政治を志すようになりました!

ブログ・Facebook・インスタでも活動を発信中!

鈴木まさひろ県政事務所 (埼玉県議会自由民主党議員団)  
〒360-0023 埼玉県熊谷市佐谷田3062  
TEL/FAX: 048-525-8618 携帯: 080-5185-2843  
メール: suzuki.masahiro1109@gmail.com



# 熊谷の発展と安心安全の実現に全力!!



## 決算特別委員会も全力投球! 質疑&提言40件以上!

**決算特別委員会とは?** → 議会の重要な権限の一つである「決算認定」を行うため、特別に設置される委員会です。県の予算(事業)が適正かつ効果的に使用されたかどうかを審査します。予算の使われ方に関する課題や利点も精査して明らかにし、政策や事業をブラッシュアップしていくなど、決算特別委員会には重要な役割があります。

### 質疑&提言① (要旨)

#### 県北の医療体制の強化を速やかに!!

県内の救命救急センターは11カ所ありますが、その多くは県南部にあり県北部の救急医療体制が、いまだ脆弱な状況です。県北の医療体制の強化を含め、医療圏ごとの格差が生じないよう対策の検討を強く要望しました。また、医師不足の解消に寄与する「後期研修医」の確保を併せて要望しました。



### 質疑&提言② (要旨)

#### 介護職の方々の処遇改善を!

急速に高齢化が進行している地域社会において、介護職の担い手を確保するためにも、賃金アップを含め、介護職の方々の処遇改善を進めることが重要です。高い専門性と人間性が求められる介護職には相応の処遇がなされるべきと所管長へお伝えし、県執行部からも前向きな見解が示されました。



### 質疑&提言③ (要旨)

#### 「多様な働き方」の定着に向けて!

性別や障がいの有無などに関わらず誰もが働きやすい職場環境づくりを強力に推進していくことが重要です。県では、テレワークや短時間勤務制度を含め、柔軟な働き方を推進する企業に対し、「多様な働き方実践企業」として認定していますが、今後は更に多くの企業へ向けて制度の趣旨やメリットを分かりやすく周知し、より申請しやすい仕組みを検討されるよう要望致しました。



熊谷市歯科医師会創立90周年記念式典で祝辞のご挨拶! 歯の健康は全身の健康と深く関係しており、今後も歯科及び歯科医療の推進に注力します!



市内学童クラブの皆様との意見交換会にて! 課題を共有し、着実に環境改善を目指します!



学童視察、子ども達との触れ合いも大切に!



熊谷市表彰式で地元県議を代表し祝辞を申し上げます。



自衛隊熊谷基地の環境改善に向けた視察を実施。大型ヘリコプターの体験飛行にも参加!



「食と農林業ドリームフェスタin熊谷」の式典へ。大野知事と連携し、産業振興にも注力します!

埼玉県議（熊谷市選出）

34歳

# 鈴木まさひろ

日頃より多くの皆様の応援をいただき、心より感謝申し上げます。生まれ育った熊谷の皆様への感謝の気持ちや郷土への愛着が私を突き動かす原動力です。若い力で社会の停滞感を打破し、熊谷市選出の県議として、全力で行動してまいります！

学生時代に東日本大震災の被災地支援や途上国への留学を継続し、もがく中で政治を志すようになりました！

## Profile

- 平成元年 熊谷生まれ、熊谷育ち
- 佐谷田小、熊谷東中、熊三高、学習院大・法学部卒

- 第一生命 本社勤務を経て、2015年に埼玉県歳年少り25歳で市議初当選、熊谷市議を2期3年連続、2023年に13950票で当選を喜び、平成生まれとして初めて埼玉県議に当選

## 質疑&提言60件以上！企業の「働き方改革」を前へ！



データを踏まえ3つの提言をしました。

（経済・雇用対策特別委員会にて）

- 1 県の目指す「多様な働き方」の推進を図るため、**テレワークの活用の支援**に努めること。
- 2 多様な働き方の推進に加え、**長時間労働の是正**と、**正規・非正規間の格差の是正**を着実に図ること。
- 3 男性の育休について、その取得の促進に加え、希望する人が**取得日数を増やせるよう啓発や環境づくり**に努めること。

## 実現します！上記の提言を踏まえ、政策が進展！

### 1 働き方改革の推進 予算額 6878万円

- 働き方改革アドバイザーの派遣等（一部新規） **3338万円**
- ・ 仕事と生活の両立など働き方改革に取り組む企業への社会保険労務士等の派遣

**新規・拡充内容** 伴走型支援：課題解決に意欲的に取り組む企業を集中的に支援し優れた事例をモデルケースとして発信

#### 支援テーマ例

仕事と育児・介護との両立、同一労働同一賃金、女性の職域拡大、長時間労働の是正



- 多様な働き方実践企業の認定（一部新規） **3540万円**

- ・ テレワークや短時間勤務など多様な働き方を実践する企業の認定
- ・ 高校生向けに認定企業での働き方を紹介、職場体験ツアーの実施

**新規・拡充内容** 事業者の申請手続きの利便性を向上させる認定制度オンラインシステムの構築



### 2 仕事と育児・介護等の両立支援 予算額 2026万2000円

- 男性の育児休業取得の推進（新規） **567万3000円**

- ・ 男性の育休取得に積極的に取り組む企業の表彰
- ・ 男性育休推進イベントの開催（先進企業による取組紹介、企業と大学生等との意見交換等）
- ・ 就活生への男性育休推進企業のPR（特設サイトや就活イベントを活用したPR等）



- 仕事と育児・介護等の両立支援相談 **56万2000円**

- ・ 「仕事と生活の両立支援相談窓口」による相談対応

- 企業内保育所の利用促進（一部新規） **1402万7000円**

**新規・拡充内容** 県内の企業内保育所の情報を掲載したポータルサイトの構築

鈴木まさひろ県政事務所（埼玉県議会自由民主党議員団）

〒360-0023 埼玉県熊谷市佐谷田3062

TEL/FAX：048-525-8618 携帯：080-5185-2843

メール：suzuki.masahiro1109@gmail.com

ブログ・Facebook・インスタでも活動まで配信！



# 令和6年能登半島地震に対する埼玉県の支援について



能登半島地震に係る緊急支援資金活動を奨励しました。

## 地震の概要

石川県 七尾市

発生日時	令和6年1月1日16時10分
震源及び規模	震源：石川県能登地方 規模：マグニチュード7.6（暫定値） 震源の深さ：16km（暫定値）
各地の震害（震害6级以上）	石川県 震度7：能登市、志賀町 震度6強：七尾市、珠洲市 震度6弱：穴水町、能登町 新潟県 震度6弱：中野町 震度6弱：長岡市

## 概要

- 1月1日… 情報連絡室を設置  
※県内に被害がないことを確認し、同日閉鎖
- 1月3日… 県防災航空隊が被災地に向け出動  
(出勤期間：1月3日～5日、1月17日～20日)
- 1月5日… 災害応急室を設置(被災地支援のため)

## 人的支援

石川県七尾市の避難所運営及び罹災証明書発行業務の支援のため、延べ147名を派遣(令和6年2月29日現在)

区分	派遣日	派遣人数
先遣隊	1月6日～7日	県職員2名
第1班	1月8日～16日	県職員4名(先遣隊2名含む)、市町村職員7名
第2～4班	1月15日～2月5日 (各1週間)	県職員10名、市町村職員10名
第5～6班	2月5日～19日 (各1週間)	県職員6名、市町村職員14名
第7班	2月19日～26日	県職員5名、市町村職員14名
第8班	2月26日～3月4日	県職員5名、市町村職員12名

## 災害見舞金

被災県に対し、災害見舞金を贈呈(東京事務所対応)

贈呈日(実施日)	贈呈先	金額
1月31日	石川県	100万円
1月31日	新潟県	50万円
2月1日	富山県	50万円

## 物資支援

一般社団法人埼玉県トラック協会の協力により、被災地に物資を提供  
＜物資は調整役の内閣府等からの依頼をもとに選定＞

到着日	運送先	支援内容
1月7日	志賀町	コーンウェイト(三角コーンの重し)100個
1月11日	七尾市	段ボールベッド30個、仮設トイレ2台等
1月20日	金沢市	ブルーシート2,000枚



新座防災基地を出発する車両 七尾市内の避難所に段ボールベッド、仮設トイレを搬送

## 義援金

県庁内の募金箱、銀行口座振込により義援金を募集。集められた義援金は随時取りまとめ、日本赤十字社を通じ、被災地へ送付する。

- 【募集期間】 1月5日～3月29日
- 1月10日～12月27日

## 各部署の対応

- ＜福祉部＞ 埼玉県災害派遣精神医療チーム(DPAT)の派遣
- ＜保健医療部＞ 災害派遣医療チーム(DMAT)の派遣、保健師等職員の派遣
- ＜都市整備部＞ 被災建築物応急危険度判定士の派遣、被災宅地危険度判定士の派遣、公営住宅の提供
- ＜企業局＞ 給水車及び職員の派遣
- ＜教育局＞ 教職員の派遣

# ついに実現へ！ 令和6年度注目の新規事業（一部抜粋）

## 北部地域振興交流拠点の検討推進 1984万8000円

### ● 北部地域振興交流拠点に係る基本構想の策定(新規)

北部地域の産業振興や交流の活性化を図るため、熊谷市と連携して整備を進める北部地域振興交流拠点について、施設のコンセプトや機能など以下の事項を検討し、基本構想を策定する。

- ・北部地域振興交流拠点のコンセプトや必要な機能
- ・施設の耐震性能や環境性能、災害等への対応
- ・DXを前提とした「未来の県庁の先行モデル」の在り方
- ・施設整備や管理に係る官民連携事業手法
- ・事業参画意向に関する情報収集 など

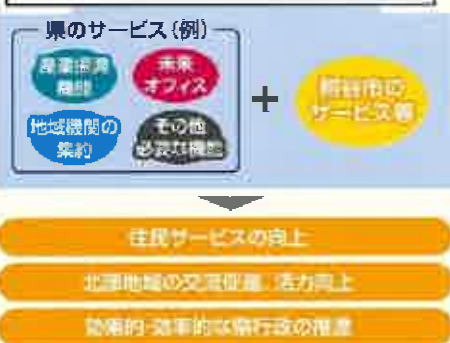
### 【予定地の概況】

- JR熊谷駅から約650m 徒歩8分
- 国道17号と市役所通りの交差点の一角
- 敷地面積8,153㎡  
県：4,325㎡  
市：3,828㎡

※上記面積は市道部分を含む



### 北部地域振興交流拠点のイメージ



## がん患者への支援 2093万9000円

### ● アピアランス助成事業(新規) 750万円

がん治療に起因する外見(アピアランス)の変化に苦痛を感じるがん患者に対して、ウィッグ・補正具等の購入費用の助成を行い、がん患者の経済的負担の軽減を図る。

- 事業概要 市町村が実施する助成事業に対する補助
- 補助対象 市町村助成額の1/2(上限5,000円)
- 補助対象 ウィッグ・補正具等の購入費用



### ● AYA世代終末期在宅療養支援事業(新規) 1343万9000円

AYA世代の終末期がん患者が自宅で安心して看取りまでの療養生活を送ることができるよう、在宅療養に必要な生活支援費用の助成を行い、患者及びその家族の介護及び経済的負担の軽減を図る。 ※AYA世代とは…主に15歳から39歳の思春期・若年成人世代のことを指しています。

- 事業概要 市町村が実施する助成事業に対する補助
- 補助対象 訪問介護、訪問入浴介護、福祉用具の貸与・購入費用など
- ① 訪問介護・訪問入浴介護・福祉用具貸与 … 市町村助成額の1/2(上限36,000円/月)
- ② 福祉用具購入 … 市町村助成額の1/2(上限45,000円・1回限定)
- ③ 意見書作成料 … 市町村助成額の1/2(上限2,500円・1回限定)





埼玉県議会議員(北区選出)

せき ね のぶ あき

# 関根 信明

県政レポート

令和5年  
夏号

## 埼玉県議会議員として2期目がスタート!

### 6月定例会にて一般質問に登壇しました



皆様こんにちは、埼玉県議会議員の関根信明でございます。先般の統一地方選挙(さいたま市北区)において無投票にて2期目当選をさせて頂きました。県民、市民の皆様の為、そして埼玉県、さいたま市の為にしっかりと働いていきますことを、あらためてお誓い申し上げます。

さて、5月の臨時会で常任委員会「企画財政委員会」の委員長に就任いたしました。委員会の所期目的を全うできます様しっかりと務めて参ります。また「地方創生・行財政改革特別委員会」に所属し、「議会運営委員会」委員に就任致しました。

また6月定例会において8項目に渡り「一般質問」をさせて頂きました。詳細は3頁目にダイジェストとして記載をさせて頂きましたので是非ご覧ください。

2期目を迎え多くの役職を頂きましたので、大変忙しくなって参りましたが、私の信念である「誠実であることが最大の政策」を忘れることなく、日々精進していくことをお約束申し上げます。何卒、皆様には今後ともご支援、ご協力を賜ります様宜しくお願い申し上げます。結びに皆様の益々のご健康とご多幸を祈念申し上げ、ご挨拶とさせて頂きます。

埼玉県議会議員 関根 信明



5月16日  
2期目 初当庁時

### 関根信明の所属委員会・役職

- 企画財政委員会 委員長
- 議会運営委員会 委員
- 地方創生・行財政改革特別委員会 委員



5月24日  
委員長報告



立石議長・岡田副議長と



企画財政委員会の皆様と

### 関根信明が加入した議員連盟

- 日韓友好埼玉県議会議員連盟
- 埼玉県議会ASEAN友好議員連盟
- 埼玉県議会日豪友好議員連盟
- 日米友好埼玉県議会議員連盟
- 埼玉県議会日独友好議員連盟
- 埼玉県議会地下鉄7号線延伸・沿地域整備促進議員連盟
- 埼玉県議会東武アーバンパークライン利便性向上促進議員連盟
- 埼玉県議会八高線・川越線沿線活性化議員連盟
- 埼玉県議会首都高速延伸促進議員連盟
- 埼玉県議会国道463号バイパス(鶴巻インターチェンジ)、都市計画道路浦和田線及び(仮称)核都市広域幹線道路建設促進議員連盟
- 埼玉県議会観光産業政策推進議員連盟
- 埼玉県議会中小企業・小規模企業を支援する議員連盟
- 埼玉県議会盆栽振興議員連盟

- 埼玉県議会サッカー振興議員連盟
- 埼玉県議会東京オリンピック・パラリンピック応援議員連盟
- 埼玉県議会ラグビー振興議員連盟
- 埼玉県議会バスケットボール振興議員連盟
- 埼玉県議会防衛議員連盟
- 埼玉県議会社会福祉推進議員連盟
- 埼玉県議会ボーイスカウト・ガールスカウト振興議員連盟
- 北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を図る埼玉県議会議員連盟
- 埼玉県議会防犯のまちづくり推進議員連盟
- 埼玉県議会動物と共生する社会を推進する議員連盟
- 埼玉県議会英霊にこたえる議員連盟
- 埼玉県議会アニメコンテンツ等活用推進議員連盟
- 県庁舎建替え検討促進議員連盟

### 令和5年6月定例会で議決された意見書・決議

- 豪雨災害対策の更なる推進を求める意見書
- アスベスト対策の拡充を求める意見書
- 北朝鮮による全ての拉致被害者等の即時一括帰国を求める意見書
- 警察官の増員を求める意見書
- 警察車両の充実強化を求める意見書
- 産前・産後ケアの拡充を求める意見書
- 少子化対策における児童手当拡充に関する意見書
- 森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書
- 特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める意見書
- 生物多様性の保全・ネイチャーポジティブの対策の強化を求める意見書
- 薬剤耐性菌感染症のまん延防止の取組体制強化を求める意見書
- 適格請求書等保存方式(インボイス制度)の円滑な導入に向けた事業者支援の強化等を求める意見書
- 北朝鮮による弾道ミサイルの発射に重ねて断固抗議し、制裁措置の厳格な履行等を求める決議



# 令和5年5月臨時会(5月23日・24日) 報告

国の「物価高克服に向けた追加策」に迅速に対応し、エネルギー・食料品価格等の物価高騰により厳しい状況に置かれている県民及び事業者を支援するため、当面緊急に対応すべき事業について、補正予算を編成しました。

## 一般会計補正予算(第1号)

# 歳入歳出予算 183億8,387万9千円が可決!

(補正後累計 2兆2,294億7,887万9千円)

### 物価高騰の影響を受ける生活者に対する緊急支援

- LPガスを使用する一般消費者等に対する支援  
40億7,029万円
- 学校給食等の物価高騰に直面する保護者等に対する支援  
9,003万1千円
- 子供の居場所づくり拡大への支援強化  
2億3,209万2千円

### 物価高騰の影響を受ける事業者に対する緊急支援

- 特別高圧電力を使用する中小企業等に対する支援  
38億4,110万円
- 福祉施設、医療施設等に対する支援  
70億1,102万7千円
- 地域公共交通事業者に対する支援  
3億2,156万4千円
- 畜産農家・酪農家に対する支援  
13億6,822万円

### 物価高騰の影響を受けにくい経営体質への転換を促す支援

- 中小企業等における原材料の転換等の支援  
5億1,423万8千円
- 企業の価格転嫁に向けた支援  
2,906万5千円
- 中小企業等の省エネ・再エネ設備投資への支援  
14億7,463万7千円
- 地域内資源を活用した堆肥の活用促進  
11億4,525万円

# 令和5年6月定例会(6月19日~7月7日) 報告

6月定例会において、知事提出議案6件を可決・6件に同意、議員提出議案15件を可決しました。主な議案について下記にてご報告します。

## ●議案第10号：埼玉県議会委員会規程の一部を改正する規程

議員活動と育児、介護等の両立のため、育児、介護等により委員会の招集場所への参集が困難な委員のための出席の特例を設けるため、この案を提出するもの

## ●議案第23号：議員派遣について 埼玉県・山西省友好県省締結40周年記念行事のための議員の派遣

## ●議案第79号：埼玉県税条例の一部を改正する条例

地方税法の一部改正に伴い、自動車税の環境性能割の税率適用区分を改める等するとともに、併せて農業を営む者等の免税軽油の引取り等に係る報告の期限の特例を定めるための改正

## ●議案第81号：埼玉県税条例の一部を改正する条例

公立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償の基準を定める政令の一部改正に伴い、県立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師に対する休業補償等の額の算定の基礎となる補償基礎額及び介護補償の額を改定等するための改正



企画財政委員会  
委員長 関根信明

## 7月7日 令和5年6月定例会「企画財政委員長報告」ダイジェスト

所管事務の調査として、「マイナンバーをめぐるトラブルについて」質問が行われました。まず、「国は、マイナンバーの情報について秋までに総点検を実施する方針を公表したが、県としてどのように受け止めているのか」との質問に対し、「できる限り効率的に進められるよう、庁内の関係各課で構成する点検作業ワーキンググループを立ち上げ、連携しながら対応していく」との答弁がありました。

次に、「公金受取口座の登録は、県として積極的に取り組むべきではないか」との質問に対し、「公金受取口座の登録については、県の公式SNSを通じて『公金受取口座は本人名義』という原則を丁寧に情報発信していきたい。また、子供への給付金については、申請手続の際に、子供本人の口座を必ず登録するよう、重ねて注意喚起するなど、効果的な情報発信について、今後、関係各課と協議していく」との答弁がありました。

なお、当面する行政課題として、「企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)について」及び「埼玉県ESG債について」の報告があり、種々活発な論議がなされましたことを申し添えまして、本委員会の報告を終わります。

# 特集 一般質問登壇レポート



## 質問内容

- 1 知事の公約これからの4年間に向けて
- 2 障害者の自立と工賃向上について
- 3 さいたまスーパーアリーナの大規模改修について(都市整備部長)
- 4 JR川越線複線化等に対する今後の展開について(企画財政部長)
- 5 衛星系防災行政無線再整備について(危機管理防災部長)
- 6 サイバー局の機能と進め方について(警察本部長)



地元の皆様にたくさん  
傍聴にお越しいただきました

### ●知事の公約これからの4年間に向けて：県庁舎再整備の検討について「県庁舎再整備に対する知事の決意について」

Q.知事が2期目に再選されましたら、新庁舎建設基本構想・基本計画、できれば実施計画まで進めていただきたいと思います。次の4年間でどのように県庁舎再整備の取組を具現化し、県民への見える化を進めていくのか、知事の決意をお伺いいたします。

A.取り組むべきことは新たな働き方、県庁舎の位置を含めた在り方そのもの、そして将来における業務の在り方、この3つについては少なくとも議論を進めていかなければならないと考えており、スケジュールについてもおおまかには示していけることになると思います。

### ●大宮スーパー・ポールパーク構想について「同構想実現に向けた知事の決意について」

Q.令和5年1月から大宮スーパー・ポールパーク基本計画検討業務委託の発注が進んでおりますが、スケジュール感が全く見えてこないことに危惧を感じています。同構想の実現に向けた大野知事の決意をお伺いいたします。

A.大宮公園は、開設から130年以上経過する歴史のある公園であり、次の100年先までを見据え、更に持続、発展させていくことが必要と考えます。スケジュールにつきましては、本構想の中で示した事業工程に基づき進めており、現在検討しているエリア全体の基本計画、この策定後、整備する競技施設の基本計画に着手してまいります。



7月6日  
テレビ埼玉で紹介されました

### ●新紙幣発行に伴う県の対応について「渋沢栄一創業プロジェクト立上げについて」

Q.未来に向けて本県経済が持続的に発展していくためには、たくさんの起業家や企業が埼玉県内で生まれ、成長し、発展していくことが大切。新一万円札のレガシーとして、埼玉県が誇る偉人である渋沢栄一翁の名を冠する渋沢栄一創業プロジェクトの成功を願いますが、プロジェクトをどのように立ち上げて展開していくのか？

A.仮称「渋沢栄一起業家サロン」を中核に据えてそのサロンの開設準備を行っているところです。サロンでは3つの目的を掲げています。その1つ目は、オープンイノベーションの創出、2つ目は、スタートアップの創出・成長支援、3つ目は、イノベーション人材の育成です。サロンの令和6年度の開設に向け、実施する取組や運営体制など仕様を固め、今年度末には運営事業者の公募を開始する予定であります。

### ●障害者の自立と工賃向上について「障害者の月額工賃を上げるための施策について」

Q.埼玉県工賃向上計画では、目標とする工賃を月額2万円と定めているが、埼玉県で平均工賃は1万4000円前後であり、自立した生活に十分と言えるか疑問が残るが、工賃を上げるため、今後どのように展開していくのか、大野知事にお伺いします。

A.工賃の向上を図るためには、魅力ある商品づくりやPR、販路の拡大などが課題であり、施設に対しアドバイスを行う専門家の派遣に要する費用を補助しているほか、駅のコンコースで、施設が合同で販売会を開催するための費用を補助している。県や各施設のホームページ、SNSなどでの発信を強化し施設の商品やサービスを広く周知し、工賃の向上につなげてまいります。



6月29日に  
埼玉新聞 記事掲載されました

### ●さいたまスーパーアリーナの大規模改修について「改修工事の工夫について」

Q.アリーナの大規模改修工事が令和7年度より始まるが、1年以上の期間がかかるのではないかと推察します。長期の休館は競合施設への顧客の流出を招き、再開後にも完全には戻ってこない懸念がある。工事期間の短縮及び休館期間を最小限にとどめることの工夫について、都市整備部長に御所見をお伺いします。

A.今回の大規模改修工事は、休館期間は最大で18か月を想定しておりますが、議員ご指摘の通り、できる限り休館期間を短縮することが重要と考えております。そこで、令和5年度に行う実施設計では、複数の工事を同時に施工することや、個々の施工計画を整理し、最も効率的に施工できる順序や資材搬入のタイミング、また仮設計画の共有化などの工夫をしております。

### ●JR川越線複線化等に対する今後の展開「羽田空港アクセス線・西山手ルート」の早期実現の要望活動について」

Q.このルートは、宇都宮線、高崎線と接続し、直通で羽田空港まで行けるようになり、大変期待するところです。西山手ルートの早期整備及び川越線との相互直通運転の実現に向け、要望活動を国、JR東日本等関係団体に行っていくことが大切と考えますが、企画財政部長の御見解をお伺いします。

A.羽田空港アクセス線・西山手ルートの早期実現及び川越線との相互直通運転の実現は、川越線の利便性向上に大きく貢献することが期待されます。県としては、本年3月に、JR東日本に対し、羽田空港アクセス線の早期整備及び川越線との相互直通運転の実現に向けての要望活動を行い、今月、国に対して、羽田空港アクセス線の西山手ルートの早期着工に向けた支援について、要望をいたしました。今後も、JR東日本及び国に対し、継続して働きかけてまいります。

### ●衛星系防災行政無線再整備について「再整備するメリットについて」

Q.第3世代については、性能面で大きな優位性があるとうたわれており、昨今の豪雨の状況などで明らかになったように、これまでにない速度と密度を持った災害対応が県民ニーズであると言えます。第3世代の整備はどのようなメリットを持ち、安心・安全の向上にどのように活用できるのか、危機管理防災部長にお伺いします。

A.第3世代の整備には、3つのメリットがあります。1つ目は、大雨による通信障害が発生しにくいこととございます。第3世代では通信が安定します。2つ目は、高画質な映像の送受信が可能となることです。第3世代では地上デジタル放送並みの高画質になり、災害状況をより鮮明に確認することができます。3つ目は、可搬局が大幅に小型化・軽量化されることです。小型化、軽量化された通信設備により、災害現場への搬入が容易で、速やかに通信が可能になります。

### ●サイバー局の機能と進め方について「サイバー局の体制について」

Q.令和5年度、新たに生活安全部サイバー局が101人体制で組織されました。令和4年の本県におけるサイバー犯罪に関する相談件数は1万4961件で過去最高となったことから、サイバー局の設置する意義は大きいと思います。そこで、サイバー局の体制と組織の詳細について、警察本部長にお伺いします。

A.組織の詳細ですが、サイバー局長には警視正を配置し、警務部、刑事部、警備部の参事官を兼任させることで、部門の垣根を超えた指揮・調整のほか、警察庁や他の都道府県警察との円滑な調整が可能となったと考えています。局内には、サイバー捜査課を設置し、重大サイバー事案への対応や警察署における捜査を支援する、サイバー特別捜査隊を附置したところでございます。サイバー局を中心に、サイバー空間における県民の安心・安全の確保に努めてまいります。

# 地域活動・視察関連 ダイジェストレポート



5月16日 県議会初顔合わせ会



5月26日 地元の方と大野知事訪問



6月11日 日本ALS総会 参加



6月15日 「杉の子学園」 大野知事表敬訪問



6月16日 大宮ろう学園 訪問

**埼玉県議会が中心となって働きかける  
県内一斉防災訓練「シェイクアウト埼玉」**

**シエイクアウト埼玉**  
県内一斉防災訓練

● 令和5年9月1日(日) 11時58分  
● 各々がいるその場所で

1. しゃがむ  
2. 頭を守り  
3. 身のまわりの危険を避ける

参加登録はこちらからできます

集まる必要はなく  
参加者各自が  
その場で訓練できます



山岸工業株式会社 100周年記念祝賀会

7月6日 山岸工業(株)100周年  
記念祝賀会参加

テレビ埼玉の番組「こんにちは県議会です」  
に「委員長あいさつ」出演します!

**9月24日(日)**  
**午前10時00分～10時30分 放送**  
是非ご覧ください!!

関根信明YouTubeチャンネルにて 地域の整備・工事の現地レポートをお届けしています!



細川 主幹改修工事  
三雲清水 橋梁点検  
埼玉県議会議員 北区選出 関根信明  
現地レポート



三雲清水  
大宮市立川原整備予定地  
埼玉県議会議員 北区選出 関根信明  
現地レポート



日蓮町  
后藤センター跡地  
公園整備計画  
埼玉県議会議員 北区選出 関根信明  
現地レポート

関根信明県政レポートR0516号 編集・発行:埼玉県議会自由民主党議員団

**関根信明政務事務所** 皆様のお声をお寄せください!

〒331-0823さいたま市北区日蓮町2-789  
TEL・FAX 048(664)1313  
Eメール sekine\_nobuaki@yahoo.co.jp

最新情報は  
埼玉県議会議員  
関根信明ホームページ  
をご覧ください



**【関根信明プロフィール】**

- 自民党南第4区第1支部長
- 自民党さいたま市北区支部長

生年月日 昭和33年5月7日 日蓮町生まれ  
出身校 日蓮北小学校、日蓮中学校、川越高校、学習院大学法学部卒業  
会社 有限会社エスガン(不動産管理) 代表取締役  
家族 妻、三男一女 (モットー) 誠実・即行・積極の代弁者

平成9年より平成31年4月まで 旧大宮市議会議員、さいたま市議会議員として活動

— 県議会所属委員会 —  
● 企画財政委員会 委員長  
● 国会運営委員会 委員  
● 地方創生・行財政改革特別委員会 委員



埼玉県議会議員(北区選出)

せき ね のぶ あき

# 関根 信明

## 県政レポート 令和6年 新春号

### 謹賀新年

皆様こんにちは。埼玉県議会議員の関根信明でございます。皆様におかれましては2024年ご家族お揃いで新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は大変お世話になり県議会議員として2期目を迎え心より感謝申し上げますと共に本年もご支援ご指導の程宜しくお願い申し上げます。

新春号のレポートでは昨年の12月定例会(12月4日~22日開催)等の議会報告と皆様にお役に立つ項目も入れご報告をさせていただきます。



私は、今年の一文字として「和」を掲げさせて頂き、平和で争いごとがなく、いがみ合うことなく和やかな一年になればと祈願しております。関根信明は心新たに誠実に一生懸命議会・政治活動に邁進していきますので、本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。結びに皆様方の

益々のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。 埼玉県議会議員 関根 信明



11月5日 北区区民まつりにて  
北区自治会連合会長・北区長とともに



### 58名の 自民党県議団の皆様

### 企画財政委員会の議案5件全て議決



企画財政委員会 自民党県議団の皆様と  
~関根信明は企画財政委員会委員長を務めています~

### 12月定例会にて議決された補正予算

埼玉県の物価高騰対策 及び 国の総合経済対策に対応した補正予算(第5号)

**一般会計 歳入歳出予算 114億9,715万2千円**

(補正後累計 2兆2,593億9,489万5千円) 繰越明許費 94億8,877万7千円

- 物価高騰の影響を受ける生活者・事業者緊急支援 **→90億8,017万6千円**
- 物価高騰の影響を受けにくい経営体質転換を促す支援 **→21億6,517万6千円**
- その他の総合経済対策に対応した補正予算 **→2億5,180万円**



- 第121号 令和5年度埼玉県一般会計補正予算(第3号)
- 第125号 知事の権限に属する事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例
- 第130号 当せん金付証票の発売について
- 第141号 令和5年度埼玉県一般会計補正予算(第4号)
- 第147号 令和5年度埼玉県一般会計補正予算(第5号)

【補正予算案概要(単位:千円)】

区分	(第3号)	(第4号)	(第5号)	補正前予算額	計
企画財政部	-	-	129,000	310,969,372	3,110億9,837万
歳入全体	96,881	1,811,404	11,497,152	2,245,989,458	2兆2,593億9,489万

### 令和5年12月定例会で議決された意見書・決議

- 北朝鮮による弾道ミサイル技術を使用した衛星打ち上げに断固抗議し、制裁措置の厳格な履行等を求める決議
- 高温障害による農家減収対策等の強化を求める意見書
- 老朽化した商工会館の建替え及び改修に対する支援を求める意見書
- 防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する意見書
- 高度・専門分野における看護職員の確保及び育成に係る支援を求める意見書
- 保育士の配置基準の見直し及び人材確保等を求める意見書
- 人工内耳に係る機器等の買い替え費用等の支援を求める意見書
- 加齢性難聴者の補聴器購入に対する助成制度の創設等を求める意見書
- 自衛隊施設等の整備における地元中小企業の受注機会の増大を求める意見書
- 児童養護施設等の職員配置基準の見直し等を求める意見書

- 不動産登記法第14条第1項に基づく登記所備付地図の早期集中的な整備を求める意見書
- 独立行政法人国立女性教育会館の現在地での存続を求める意見書
- 食品ロス削減への国民運動の更なる推進を求める意見書
- 夜間中学の更なる設置推進を求める意見書

### 自民党県議団では3つのプロジェクトチーム(PT)を作り政策条例の検討を進めています

- 拉致問題の解決検討PT
- 共生社会づくり条例の一部改正検討PT
- スクラップヤード対策PT



# 12月20日 地方創生・行財政改革特別委員会にて質疑

- DX推進計画第1期の達成率または進捗率と進捗が遅れた項目について
  - ⇒第1期の進捗を分析、数値化して遅れている項目の検証を行い第2期に反映させていくこと
- 旅費が約4億3千万円、用紙代9千8百万円削減とあるがその為にかかった費用、費用対効果について
  - ⇒DX推進の費用対効果をしっかりと捉えていくこと
- 課ごとにペーパーレス、デジタル化のばらつきがあるが問題意識や取組みをどのように県庁全体で共有するか
  - ⇒DX推進の県庁職員のレベルアップを全庁的に行うこと
- 第2期はどのような方針で進めていくのか
  - ⇒DX推進にあたり第2期では県民の利便性を高め県のデジタル化で業務効率や施策の魅力をさらに高めていくこと

### 情報技術の活用とDXの推進について

1 DX推進計画について

(1) 計画策定の経緯  
コロナ禍を機にデジタル化の遅れが顕在化し、国は2021年にデジタル社会基本法を制定。こうした国の動きに対応し、本県も従前のアクションプランを「DX推進計画」に刷新。

国	2001(H13)~ IT基本法 (IT活用や基盤整備を重視)	2021(R3)~ デジタル社会形成基本法 (デジタルを活用し、多様な幸せを実現)
埼玉県	2002(H14)~ ICT推進 アクションプラン	2020(R2)~ デジタル庁設置 2021(R3)~ DX推進計画 (第1期) 2021~23 (第2期)

(2) 計画の体系  
第1期DX推進計画(2021~23(R3~5))  
DXを目指す視座  
社会全体のDXの実現による  
快適で豊かな暮らしを創出し、  
新しい埼玉への変革

DXビジョン  
対象(県民、事業者等)や  
分野(環境、防災等)ごとに  
DXで目指す将来像を記載

ロードマップ  
DXビジョンの実現に  
向けた3年間の工程や  
取組を具体化

(3) DXの進め方  
① 庁内推進体制  
DX推進会議とプロジェクトチームを設け、全庁横断体制でDXを推進

DX推進会議 (推進体制)	DXプロジェクトチーム (推進体制)
議長: 知事	プロジェクトマネージャー、リーダー
会務局長	統括ユニット 単体別ユニット

② DXの3つのステップ  
第3ステップ シェアDX  
第2ステップ デジタルイノベーション  
(業務プロセス改革によるサービス向上)  
第1ステップ デジタイゼーション  
(アナログからデジタルへの転換)

## 埼玉県議会ASEAN友好議員連盟 マレーシア・タイ視察



11月7日~11日訪問、マレーシア及びタイ王国にて、埼玉県内企業の現地進出及び県産品の海外での販売を支援していく為の視察を行いました。視察の報告書は、  
**埼玉県議会議員 関根信明ホームページ** でご覧ください。

## 国内視察・議会関係・行事・工事完了を写真でご報告



### 「東京2025デフリンピック」が開催されます

- 期間: 2025年11月15日~26日
- 会場: 東京・福岡・静岡

#### 「デフリンピック(Deaflympics)とは?」

耳の聞こえないアスリートのためのオリンピックです。デフリンピックとは、デフ+オリンピックのこと。デフ(Deaf)とは、英語で「耳が聞こえない」という意味です。デフリンピックは国際的な「ろう者のためのオリンピック」になります。



### 合理的配慮の提供が義務化されます!



### 「合理的配慮の提供」が義務化されます

- 令和6年4月1日より開始

	行政機関等	事業者
不当な差別的取扱い	禁止	禁止
合理的配慮の提供	義務	努力義務→義務

既存の「障害を理由とする差別的解消の推進に関する法律」の改正法が令和6年4月1日から施行されます。

⇒詳しい内容は資料をご覧ください



関根信明県政レポートR0617号 編集・発行: 埼玉県議会自由民主党議員団  
**関根信明政務事務所** 市政・県政のご相談窓口  
 〒331-0823 さいたま市北区日進町2-789  
 TEL・FAX 048(664)1313  
 Eメール sekine\_nobuaki@yahoo.co.jp



### 【関根信明プロフィール】

- 自民党南第4区第1支部員
- 自民党さいたま市北区支部長
- 生年月日 昭和33年5月7日 日進町生まれ
- 出身校 日進北小学校、日進中学校、川越高校、学習院大学法学部卒業
- 会社 有限会社エスサン(不動産管理) 代表取締役
- 家族 妻、三男一女 (マツト) 誠実・即行・新卒の代弁者
- 経歴 平成9年より平成31年4月まで 旧大宮市議会議員、さいたま市議会議員として活動

### 県議会所属委員会

- 企画財政委員会 副委員長 ●議会運営委員会 委員 ●地方創生・行財政改革特別委員会 委員、予算特別委員会 委員



埼玉県議会議員(北区選出)

せき ね のぶ あき

# 関根 信明

## 県政レポート 令和6年春号



本会議場提案「共生社会づくり条例の一部改正案の説明を議場で行う。

皆様こんにちは。北区選出、埼玉県議会議員の関根信明でございます。日頃より私に対するご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。

まず初めに令和6年元旦に発災した能登半島地震でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りすると共に被災された方々にお見舞い申し上げます。一日でも早く日常生活が戻れます様ご祈念申し上げます。

さて、埼玉県議会2月定例会が2月20日より3月27日の37日間、開催されました。代表質問→一般質問→常任委員会→特別委員会→予算特別委員会等、大変ハードな定例会でした。県民皆様にとりまして令和6年度予算は大変重要であり、これからの1年間を司る予算でございますので、慎重に厳しく審査をし来年度予算に関する付帯決議を付し、全ての議案が可決されましたことをご報告申し上げます。

結びに、皆様の益々のご健勝をご祈念申し上げご挨拶とさせていただきます。

埼玉県議会議員 関根 信明

## 埼玉県の新年度予算 2兆1,196億円可決

### 埼玉県令和6年度予算編成方針「歴史的課題への挑戦と未来への確かな布石」

「歴史的課題への挑戦」「日本一暮らしやすい埼玉」の実現に向けた取組の深化に最優先に取り組むこととし、限りある財源を重点的に配分して編成。

令和6年度一般会計予算規模  
**2兆1,197億**

全会計合計(一般・特別・企業)  
**3兆5,545億円**



詳しくはQRコードより

#### 歳入のポイント

- 県税収入は、個人県民税や法人二税等8,052億円を計上
- 県債は、臨時財政対策債や緊急防災・減災事業債等1,802億円を計上
- 国庫支出金は、義務教育費負担金や社会資本整備総合交付金等1,661億円を計上



#### 歳出のポイント

- 教育費は、教職員給与や学校大規模改修費等5,068億円計上
- 民生費は、介護給付や保育所等の運営費への負担金、児童相談所の整備等4,416億円を計上
- 諸支出金は、県税収入に伴う市町村への交付金や、他会計への支出金等3,605億円を計上



### 企画財政委員会 議案10件可決



私が委員長を務めております企画財政委員会に議案10件が付託されました。

- 第22号 埼玉県手数料条例の一部を改正する条例
- 第23号 埼玉県新型コロナウイルス感染症対策推進基金条例の一部を改正する条例
- 第24号 埼玉県職農定数条例の一部を改正する条例
- 第25号 埼玉県本人確認情報の利用及び提供に関する条例及び執行機関の附属機関に関する条例の一部を改正する条例
- 第26号 埼玉県個人番号の利用等に関する条例等の一部を改正する条例
- 第45号 包括外部監査契約の締結について
- 第53号 令和5年度埼玉県一般会計補正予算(第6号)
- 第55号 令和5年度埼玉県一般会計補正予算(第7号)
- 第56号 令和5年度埼玉県公債費特別会計補正予算(第1号)
- 第58号 令和5年度埼玉市町村振興事業特別会計補正予算(第1号)

### 2月定例会で議決された主な意見書

- 国土強靱化の取組の更なる加速化を求める意見書
- 養子縁組里親等の育児休業における子どもの対象年齢の引上げ等を求める意見書
- 医療・介護・障害福祉分野の処遇改善等を求める意見書
- 特別支援学校における過密状況の解消のための財政支援を求める意見書
- 自動車・自転車の窃盗罪について厳罰化を求める意見書
- 男性育児休業の取得促進に向けた取組の一層の充実を求める意見書
- ケアラー支援の法制化等を求める意見書
- 経年車に対する重課措置の廃止を求める意見書
- 認知症との共生社会の実現を求める意見書
- 仮放免制度の改正を求める意見書



# 埼玉県 令和6年度の主な事業予算について

## 「デジタルトランスフォーメーションの推進」

デジタル技術を活用し、効率的で利便性の高い行政サービスを提供するため、デジタルトランスフォーメーションを推進する。

**DXの推進 約42億円**

## 「デジタルトランスフォーメーションの推進に向けた基盤整備」

デジタルトランスフォーメーションの推進に向け、安全で効率的なデータ処理や円滑な通信等を支えるデジタル基盤を整備する。



**税務行政のDX化 5億4千万円**  
**入札事務のDX化 5億円**

## 「バーチャルユースセンター(仮称)の設置」

あらゆるこども・若者に身近な居場所があり、気軽に他者に相談し、生き生きと活躍している社会を目指す。



メタバース空間に、こども・若者が安心して気軽に参加でき、体験・交流・相談等の機能を備えた新たな居場所として構築

**本番運用 令和7年10月予定 1,800万円**

## 「渋沢栄一起業家サロン(仮称)」の開設準備」

令和7年度開設予定:さいたま新都心駅に直結する、建設中の民間複合ビルに設置し、オープンイノベーションやスタートアップ創出支援等を先行実施

**サロン開設準備 1.5億円**

## 「大久保浄水場高度浄水処理施設整備」

河川の水質異常等に対応し、水質基準に適合した安全な水を安定して供給するため、県営浄水場に高度浄水処理施設を整備。

**総事業費 約856億円**  
(令和10年度 完成予定)

## 「屋内50m水泳場整備運営事業」

県内初の公営屋内50m水泳場を整備し、競技力の向上につなげるとともに、国内主要大会を開催し、水泳の普及振興を図る。

**総事業費 210億円**  
(令和9年度 完成予定)

## 「スポーツ科学拠点施設整備」

スポーツ科学拠点施設を整備し、パラスポーツを含む多様な競技力の向上につなげ、スポーツ実施率の向上や健康増進、公園全体の賑わいの創出を図る。

**総事業費 149億円**  
(令和10年度 完成予定)



## 予算特別委員会での 関根信明の質問と回答

### 予算編成におけるバックキャストイングについて

Q. 予算編成通知を出してから、各部署がバックキャストイングの手法で事業を予算化できるような工夫は?

A. 政策的な経費についてはEBPM調書を作り、バックキャスト、将来像を設定して現状と課題の乖離を分析して施策構築するという工夫をしている。

### こども・子育て支援の予算について

Q. こども・子育て施策の分野に関連する予算が十分に確保されていないのではないかと懸念があるが、認識は?

A. 平成26年度からすると過去最高の額になっている。こども医療費を拡充したうえで、その経費を除いても最高額であり、一定額を確保しているという認識である。

### 予算要求と予算編成の乖離調整結果について

Q. 予算編成方針時に一般財源ベースで1,470億円もあった収支ギャップをどのように調整して当初予算案となったのか?

A. 色々の精査を重ねて約141億円削減を行った結果、財源不足としては1,327億円が生じたが、これについては財政調整のための3基金の取崩しなどで対応をした。

### 令和6年度の県税収入の見込みについて

Q. 物価や為替の影響など、今のリスクを見込むという観点も含め、県税収入をどのような考えに基づき見込んだのか?

A. リスクを踏まえた地財計画では法人二税について4.0%増だったが、中小企業の動向等も踏まえ、地財計画よりも低め固めに1.8%増の1,791億円を見込んだ。

### 財政調整3基金の動向について

Q. 実質的な収支不足として、また、基金の繰入れが年々増加していく財政運営をどのように評価しているか?

A. 3基金の当初予算での活用後の実質的な残高は184億となっており、前年度比24億円増加しているが、僅かな増加であり、引き続き非常に厳しい財政状況であると認識している。

### DX推進事業の令和6年度の取組について

Q. 申請デジタル化推進事業等の令和6年度の予算執行にあたり、どのような目標を持って実施されるのか?

A. 県民の利用の声を聞きながらシステム改善をしていくスモールスタートでやっていき、軌道に乗れば拡大させ、システム改善と、使い勝手をしっかり向上していく。

### 地下鉄7号線の令和6年度の取組について

Q. 鉄道・運輸機構の調査委託について、今回の調査費は機構への委託が成立することが大前提となるが、実現するのか?

A. 今年の1月にさいたま市の方から機構に対して技術支援要請をし、それを受託するという回答を市はもらっているため、来年度の機構への調査委託は、実現できると認識している。

### 「あと数マイルプロジェクト」の推進について

Q. 地下鉄7号線以外の延伸を目指す調査について、令和5年度調査実績と6年度の内容についてどのようなものか?

A. 調査の成果について、東京12号線、8号線については答申路線となっており、今年度は延伸ルートを精査、あるいは既設駅との結節方法等の調査をしてきた。

### ～自民党県議団が提出し 可決された付帯決議(抜粋)～

1. 地下鉄7号線について:さいたま市との強力な伴走体制の構築に努めること。
2. 教育施策について:新たな専門学科の創設、中高一貫教育校と国際バカロレア校の設置等県民ニーズに応えるために更なる検討を行うこと。
3. 渋沢栄一起業家サロン(仮称)とSAITAMAロボティクスセンター(仮称)の連携を図ること。
4. バーチャルユースセンター(仮称)について:リアルなユースセンター創設に向けて、市町村と協議すること。
5. 保育士・幼稚園教諭等の人材流出と人材不足を補うために早急に県単独で、更なる処遇改善を講ずること。
6. 高次脳機能障害者への支援について:地域支援ネットワーク構築促進事業」を活用し、圏域ごとに診断できる拠点病院を指定し支援を強化すること。



# さいたま市の令和6年度予算について

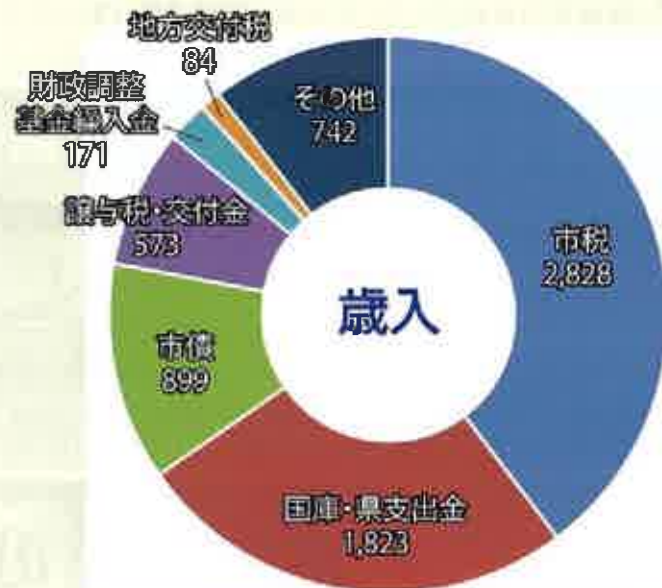
## 【予算のポイント】

選ばれる都市として、さいたま市の新時代へのシンカに取り組む予算  
《新時代、持続可能、激甚化対策、DX推進》

- 一般会計 7,120億円
- 特別会計 3,355億円
- 企業会計 1,342億円

**計 1兆1,816億円**  
**前年比 +4.7% 528億円増**

詳しくは  
QRコードより



単位: 億円

## さいたま市の主な事業について(抜粋)

- 新庁舎の整備及びさいたま新都心のにぎわい創出 ————— 2億1,974万円
- 地下鉄7号線の延伸及び浦和美園～岩槻地域のまちづくりの推進 ————— 1億4,470万円
- 市民・事業者との連携による省エネ・創エネ化の促進 ————— 2億792万円
- デジタル地域通貨・市民アプリの導入 ————— 11億4,827万円
- 未来に向けた盆栽文化の継承・発展 ————— 1億3,418万円
- 不登校等児童生徒への支援の充実「Growth」 ————— 2,400万円
- こども・子育て支援の充実・強化のための(仮称)大宮警察署跡地公園の整備 ————— 2,176万円
- 学校、保育所等の給食用食材の物価高支援 ————— 10億0259万円
- 障害者(児)の移動支援体制の充実 ————— 8億4,368万円
- (仮称)さいたま市口腔保健センターの整備 ————— 6,478万円

## 令和6年度北区 道路修繕・スマイル・暮らし・橋りょう補修箇所付け

### 道路修繕

吉野町1地内3カ所、櫛引2地内3カ所、宮原1地内1カ所、宮原2地内2カ所  
宮原3地内1カ所、宮原4地内1カ所、奈良地内2カ所

### スマイル

植竹1地内1カ所、土呂町2地内3カ所、本郷町地内5カ所、吉野町2地内5カ所  
吉野町1地内1カ所、櫛引2地内1カ所、日進1地内1カ所、別所町地内1カ所  
日進2地内2カ所、宮原4地内3カ所

### 暮らし

日進3地内1カ所、奈良町地内1カ所、日進1地内1カ所  
■橋りょう維持事業：日進2地内 前原橋の長寿命化

# 地方創生・行財政改革特別委員会 関根信明質問 県庁舎再整備について

**Q. 来年度の取組を含めたスピード感について伺う**

A. 来年度は、未来の県庁舎の姿を見据え、県民利用に求められる機能や規模、位置の検討について議論をしていく。なるべく早く目標基準を定め、スケジュールを示したいと考えている。

**Q. 執行部として完成するまでのスケジュール感・期間について伺う**

A. 一般的に基本構想で約2年程度、その後設計契約に約3年程度かかるが、建物の規模や仮設が必要かどうか、解体があるかどうかによって変わってくるので一概には言えないが、直近の例でいうと3年ぐらいを要していく。

**Q. 「築80年を過ぎてもクラックを直せば使える」という発言について伺う**

A. 80年を声て使うことで補修が必要になり、余計なお金がかかる。安全性の確保を含めてしっかりと対策をとりながら、不要な費用が生じないように、早期の整備進めていきたいと考えている。

**Q. 老朽化した2号棟、3号棟も含めた庁舎の集約化について伺う**

A. 現状、計8棟の建物で構成されている状況。当然職員も分散しているので、移動にロスが生じる。デジタル化によるリモートワークといった点も踏まえながら、庁舎の集約化についてしっかりと議論をしていく。

## 国内視察・議会関係・行事・工事現場状況を写真でご報告



1月27日 鴨川の改修 (県)



1月27日 三貫清水周辺整備 (市)



3月2日 県政報告会



2月12日 国風展視察



3月9日 利根導水路



2月15日 埼玉物産観光フォーラム



2月15日 PT活動



2月9日 地方創生・行財政改革特別委員会

和光市総合児童センター視察



日進支所 イオン大宮へ移転 令和6年9月予定

### ～ 関根信明が加入している議員連盟 ～

日韓友好 / ASEAN / 日豪友好 / 日米友好 / 東武東上線 / 八高線・川越線 / パラオ / 首都高 / 観光産業 / アルファーズ / 中小企業 / 盆栽 / ちふれ / 防衛 / 社会福祉 / サッカー / 男女共同参画 / ボーイ・ガールスカウト / 拉致問題 / 防犯 / 動物共生 / 県庁建替え / 英霊 / オリパラ応援 / ラグビー / 東武アーバン / アニメ / ライオンズ / 日台 / アルディージャ / 463号 / 日独友好

### 県議会 所属委員会

- 総務県民生活委員会 委員長
- 危機管理・大規模災害対策特別委員会 委員

- ・ 自民党県議団 政調会 総務県民生活部会 副部長
- ・ 政務活動費管理委員会 委員

関根信明県政レポートR0518号 編集・発行：埼玉県議会自民党議員団  
**関根信明政務事務所** 市政・県政のご相談窓口  
 〒331-0323さいたま市北区日進町2-789  
 TEL・FAX 048(664)1313  
 Eメール sakine\_nobuaki@ychoo.co.jp



### 【関根信明プロフィール】

- 自民党南第4区第1支部長
- 自民党さいたま市北区支部長
- 生年月日 昭和33年5月7日 日進町生まれ
- 出身校 日進北小学校、日進中学校、川越高校、学習院大学法学部卒業
- 会社 有限会社エスサン(不動産管理) 代表取締役
- 家族 妻、三男一女
- モットー 誠実・即行・皆様の代弁者
- 平成9年より平成31年4月まで 旧大宮市議会議員、さいたま市議会議員として活動

# 埼玉県議会議員 高木功介県政報告

## 埼玉県議会議員2期目がスタートしました

4月9日の埼玉県議会議員選挙では21892票を戴き、埼玉県議会議員に再任されました。初心を忘れず、これまで通り、皆さんと共に、国民・県民のため一生懸命精進いたします。よろしくお願いたします。



新任期の初登庁



## 新型コロナウイルスの感染症法分類変更で変わったこと

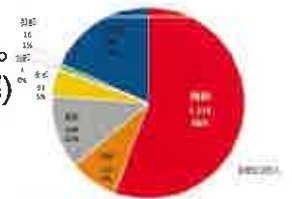
新型コロナウイルス感染症（2類相当）と5類感染症の主な違い	
<b>発生動向</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>法律に基づく届出等から、患者数や死亡者数の総数を毎日把握・公表</li> <li>医療提供の状況は自治体報告で把握</li> </ul>
<b>医療体制</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入院措置等、行政の強い関与</li> <li>限られた医療機関による特別な対応</li> </ul>
<b>患者対応</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>法律に基づく行政による患者の入院措置・診察や外出自粛（自宅待機）要請</li> <li>入院・外来医療費の自己負担を公費支援</li> </ul>
<b>感染対策</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>法律に基づき行政が様々な要請・関与をしていく仕組み</li> <li>基本的対処方針や業種別ガイドラインによる感染対策</li> </ul>
<b>ワクチン</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予防接種法に基づき、特別臨時接種として自己負担なく接種</li> </ul>
<b>5類感染症</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定点医療機関からの報告に基づき、毎週月曜日から日曜日までの患者数を公表</li> <li>様々な手法を組み合わせた近似的なサーベイランス（抗体保有率調査、下水サーベイランス研究等）</li> <li>幅広い医療機関による自発的な通常の対応</li> <li>新たな医療機関に参画を促す</li> <li>政府として一律に外出自粛要請はせず</li> <li>医療費の1割～3割を自己負担</li> <li>入院費減免や診療費の減免を区切り軽減</li> <li>国民の皆様の主体的な選択を尊重し、個人や事業者の判断に委ねる</li> <li>基本的対処方針は廃止。行政は個人や事業者の判断に資する情報提供を実施</li> <li>令和5年度においても、引き続き、自己負担なく接種</li> </ul>

## 新型コロナウイルスの現状

- ・現在、感染者数は収まってはいません。中国では感染爆発が起っています。
- ・後遺障害の頻度は低くなっているものの4人に1人は何らかの症状が残ります。
- ・換気の悪い場所での不特定の人との飲食はハイリスクなのでやめましょう。
- ・高齢者・基礎疾患保有者などのハイリスク者は、これまで同様にワクチン接種が必要です。
- ・mRNAワクチン3回およびオミクロン対応ワクチン1回の接種が望ましいです。  
(東京大学医科学研究所教授の見解)



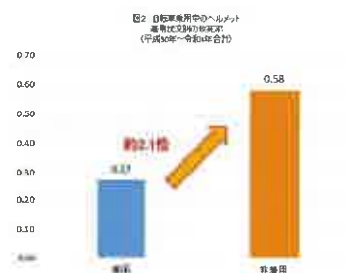
図1 自転車乗車中の乗車者のヘルメット着用率の推移 (平成30年～令和4年合計)



## 自転車に乗る時はヘルメットを

道路交通法の一部改正で、令和5年4月1日から自転車の乗車用ヘルメット着用が努力義務になりました。

乗用中の交通事故で亡くなられた方は、約6割が頭部に致命傷を負っています（図1参照）。また、自転車乗用中の交通事故においてヘルメットを着用していなかった方の致死率は、着用していた方に比べて平成30年から令和4年までの5年間の合計で約2.1倍高くなっています（図2参照）。ご自身の安全のためにヘルメット着用をよろしくお願いいたします。



ご要望は

高木功介県政調査事務所

〒330-0061 さいたま市浦和区常盤2-9-10-302

victory@takagikosuke.jp

TEL 048-762-7761  
FAX 048-762-7861

高木 功介

投票

初選資料





## 産業労働企業委員長に選任されました

常任委員会である埼玉県議会産業労働企業委員会委員長に議会の選任を経て就任しました。産業労働企業委員会の所管は、中小企業支援・商店街振興・企業誘致・労働環境改善をはじめ、埼玉県の経済・産業全般を総括する重要な委員会です。慶應義塾大学大学院経営管理研究科(MBA)での研究成果も活かして経済発展・景気向上に力を尽くします

## 図書室委員会副委員長に選任されました

埼玉県議会議事堂内に議会図書室(議員以外も利用可能)があります。ここでは、議会の公文書の保管や管理、議会史などの編纂、議員の調査研究のサポートをしています。副委員長として、研究者として公文書の保存、議会内の図書及び文献、電子ジャーナルの充実を宮崎吾一委員長(さいたま市中央区選出)を補佐して図書室機能の充実を図ります。



## 危機管理・大規模災害対策特別委員会委員に就任しました

危機管理・大規模災害対策特別委員会は埼玉県の災害対策について所管する特別委員会です。2回目の就任になり、前回は埼玉県地域防災計画に、富士山噴火と南海トラフ地震の複合災害への対策などを盛り込ませた実績があります。埼玉県は洪水や木密地域の防災対策など課題があります。引き続き、東京大学大学院工学系研究科での研究成果も活かして取り組んでまいります。

## 放課後児童施設を視察してきました



神奈川県川崎市では、放課後児童クラブ(学童保育)が充実していて、無料にて希望児童の100%が放課後から18時まで学校内にある施設(わくわくプラザ)にて滞在できます。こうした川崎市の優れた取り組みを、さいたま市に活かすべく、川崎市の協力を得て宮崎吾一県議と視察をしてきました。視察報告は、さいたま市議会とも共有しています。



## 可能性、無限大! 埼玉県議会議員 高木功介プロフィール

昭和51年、埼玉県出身。私立本郷高等学校卒業。筑波大学国際総合学類卒業。筑波大学大学院博士課程人文社会科学研究科修了。博士(国際政治経済学)取得。慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程修了MBA 修士(経営学)取得。東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻修士課程在籍中。筑波大学研究員を経て外務省入省。国際法局、総合外交政策局に勤務。自民党埼玉県連の一般公募に合格埼玉県議会議員2期目。

編著書『日本外交の150年-幕末・維新から平成まで』(出版 日本外交協会)

趣味 テニス、サッカー(浦和レッズ)観戦、クラシック音楽鑑賞

座右の銘 「行くに徑に由らず」(論語「雍也」 抛り)

家族 妻(医師、浦和と都内の病院に勤務中)、母

身長 175センチ 体重 69キロ

Facebook

Twitter



Facebook Twitterで県政報告中

# 埼玉県議会議員 高木功介

## 9月定例県議会報告

令和5年9月定例会は、9月22日（金曜日）～10月13日（金曜日）の日程で行われました。

### お詫びと改革のお約束

9月定例県議会で自民党県議団より議会に提出されました「児童虐待禁止条例改正案」は国民・県民の皆様にご多大なるご心配とご批判のお言葉を頂き自民党県議団は撤回いたしました。私は条例改正案の内容を精査しきれず提出を阻止することが出来ませんでした。深く反省し慙愧の念で一杯です。心よりお詫び申し上げます。

子供は社会の宝です。私はこれまで、子育て支援・学童保育の充実、子供が安心して遊べる公園整備、登下校が安心してできるようにスクールゾーンの設置・スクランブル交差点の設置などの施策を皆様と共に実現して参りました。これからも、皆様と共に実態に即した子育て支援の充実を図って参ります。

私は「法律は市民の行動をできる限り制限してはならない」という強い信念を持っております。それを踏まえて、私は次のような改革提案を行い、条例制定に一層の慎重さを求めて参ります。

- ①パブリックコメントの可視化
- ②市民・外部有識者からの助言
- ③法律の専門家によるチェック体制
- ④議会事務局の調査能力の強化(内閣法制局のような機能を目指す)

今後多くの方々に寄り添い、誠実に政治に携わり信頼回復に努めて参ります。そのためにも、皆様の引き続きのご支援を戴きますようお願い申し上げます。

埼玉県議会議員 高木 功介

## 「ゼロゼロ融資」の行方について (産業労働企業委員会の審査から)

### 質問

無利子・無担保融資(ゼロゼロ融資)により、多くの企業倒産を防ぐことが出来たが、今後収益力の弱い企業が倒産することで、地域経済に打撃を与えることになどのように対応していくのか。また、倒産することを防ぐためにも、商工会議所・商工会に配置している各種指導員の活躍が重要である。相談件数が増加しているが、対応はしているのか。

### 県回答

新型コロナウイルス感染症の影響が長引き、計画通りに返済することが難しい企業に対して、県は金融機関による伴走型支援を受けて経営改善を図りながら借り換えや追加融資に利用できる「伴走支援型経営改善資金」(右図参照)を創設した。また、相談体制の充実については、指導員の質の向上のため中小企業診断士の資格取得推進のほか、職員研修を充実させ多様な相談に対応できる体制を確保している。

### 伴走支援型経営改善資金

#### この資金の特徴

- ☑ 国の全国統一制度である「伴走支援型特別保証制度」に対応した資金です。
- ☑ 金融機関による経済的な伴走支援を受けることを条件に、借入時の借入保証料が大幅に引き下げております。

#### 次のような方が対象です

- 新型コロナウイルス感染症やエネルギー原燃料価格高騰等による影響で売上高等が5%以上減少している。

#### 融資条件

限度額	SN保証4号	SN保証5号	一般保証
	1億円		
利率	5年超10年以内	年1.0%以内	年1.1%以内
	3年超5年以内	年0.9%以内	年1.0%以内
	3年以内	年0.8%以内	年0.9%以内
<small>貸付利率は、SN保証4号・5号は元金均等返済、一般保証は元金均等返済または元金元金均等返済のいずれかを選択可能。</small>			
<small>令和5年10月1日現在の利率です。(固定金利)</small>			
期間・償還方法	10年以内 (1年以内のご利用も可能です)		
担保	据置5年以内 元金均等返済		
	(ただし、融資期間1年以内の場合は一括償還を選択可能)		
保証人	取扱金融機関及び信用保証協会との協議により定める		
借入条件	借入：原則として不要 法人：原則として代表者以外の連帯保証人は不要 代表者は一定要件(①法人・個人分離、②資産超過)を満たせば不要		
借入保証料	年0.2% (一般保証は別枠保証)	年0.2%～1.15%	

高木功介県政調査事務所

victory@takagikosuke.jp

〒333-0091 さいたま市浦和区常盤2-9-19 TEL. 048-762-7761



## テレビ埼玉にて産業労働企業委員長としてのビジョンを述べました 私が目指す3つの県経済政策

野口アナ 委員長として力を入れたい分野は何でしょうか。

高木委員長 3つあります。まずひとつは「円滑な価格転嫁に向けた環境整備」です。エネルギー価格や原材料費等の高騰が長期化しています。このような状況において、中小企業の賃上げを実現するためには、適切な価格転嫁を行える環境整備が重要となります。埼玉県では、産官金労の12者で全国初となる協定を締結し、価格転嫁特別相談窓口の設置や取引先との価格交渉に向けた専門家による支援を実施しています。適正な価格転嫁が進み、働いている方の賃金アップにつながるよう中小企業の支援を推進してまいります。



収録の様子（放送は9月27日）  
テレ玉の野口美和アナウンサー(浦和一女卒)と

野口アナ 2つ目は何でしょうか。

高木委員長 中小企業や小規模事業者に対する資金調達の円滑化支援です。新型コロナウイルス感染症の影響に伴う資金需要に対応するため、当初3年間無利子・保証料ゼロのいわゆる「ゼロゼロ融資」が実施され現在、返済時期を迎えています。しかし、コロナ禍以降も、ロシアによるウクライナ侵略・物価高など、中小企業を取り巻く環境は厳しく、引き続き支援が必要です。金融機関による伴奏支援を受け経営改善を図りつつ、借り換えや追加融資を利用できる伴走支援型経営改善資金について、県は融資枠を200億円から1000億円へ拡大しています。今後も資金調達が円滑になされるよう注視・指導していきます。

野口アナ 3つ目は何でしょうか。

高木委員長 中小企業のDX(デジタルフォーメーション)の推進です。埼玉県では国や市町村、経済団体、金融機関等が連携し、「埼玉県DX推進支援ネットワーク」を立ち上げ、中小企業のデジタル化やDXの推進を支援しています。DXに関して「2025年の崖」という言葉があります。経済産業省が2018年9月に発表したDXレポートによる警鐘のことです。経済産業省のレポートによれば、企業のDXが実現しなければ、2025年以降、年間最大12兆円の経済損失が生じる可能性もあり、DXの推進が急務です。

### 針ヶ谷歩道橋を撤去し信号機を設置します

旧中山道に架かる「針ヶ谷歩道橋」は子供たちの通学路にあり歩道橋の柱が歩道を狭めるなど危険なので、信号機に変えて欲しいとの要望を3年前の2020年に受けました。埼玉県警察を所管する県議会議員として、歩道橋撤去後の信号機設置を強く求め実現。それに合わせて、歩道橋を玉井哲夫市議(当時)をはじめ市議会議員の尽力で撤去することが出来ました。この実現には針ヶ谷自治会の方々の熱意がとてつもなく大きき力であったことは言うまでもありません。



12月定例県議会で本会議に登壇する予定です。ご期待下さい!



### 誠実で開かれた政治を 埼玉県議会議員 高木功介プロフィール

昭和51年、埼玉県出身。私立本郷高等学校卒業。筑波大学国際総合学類卒業。筑波大学大学院博士課程人文社会科学部研究科修了。博士(国際政治経済学)取得。慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程修了MBA 修士(経営学)取得。東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻修士課程在籍中。筑波大学研究員を経て外務省入省。国際法局、総合外交政策局に勤務。自民党埼玉県連の一般公募に合格。埼玉県議会議員2期目。埼玉県議会産業労働企業委員長。

編著書 『日本外交の150年 - 幕末・維新から平成まで』(出版 日本外交協会)

趣味 テニス、サッカー(浦和レッズ)観戦、クラシック音楽鑑賞

座右の銘 「行くに徑に由らず」(論語「雍也」 抛り)

家族 妻(医師、浦和と都内の病院に勤務中)、母

身長 175センチ 体重 69キロ

Facebook Twitterで県政報告中

# 埼玉県議会議員 高木功介 県政報告

## 埼玉県議会定例会本会議登壇報告

12月13日に本会議にて知事などに県政に対する政策提案と質疑を行いました



動画はこちら

### 高木議員

## 医薬品不足の解消について①

医薬品の供給不足は、世界的な問題になっている。国際情勢など諸問題が関係しているが、わが国においては2005年の薬事法改正以降、自ら製造設備を持っていないくても、医薬品業界に参入できるようになり問題が起こった際にどこに原因があるのか分からないのが医薬品不足の原因であるとする。埼玉県として、県内の製造会社の監視やチェック機能をより強化し、それを担当する専門職員の育成にも力を入れるべきであるとするが、保健医療部長の答弁を求める。

### 保健医療部長

医薬品不足の発端の1つとして、他県の製造業者の不正行為に対する行政処分により、製造が停滞したということがある。医薬品は高い品質と安全性が求められることから、製造工程や品質に厳しい基準があり、製造業者はそれを遵守しなければならない。このため県は、医薬品製造が適正に行われていることを確認するため、県内約100の製造業者に対し、年間およそ50件の立入検査を実施している。さらに、悪質な不正行為の隠蔽を防ぎ、常日頃の製造状況を確認するため、事前通告せずに立入検査をするなど、厳格に対応している。

また、医薬品製造に係る調査員は、製造管理や品質管理に関する高度な専門知識や査察技術が求められ、要件を満たす必要がある。そこで、調査員には、薬学的知識を有する薬剤師を充て、世界的な製造・品質管理基準を踏まえて国が定めた複数の専門的教育プログラムを受講させるほか、日常業務を通じて育成を図っている。議員指摘のように今後とも、医薬品の品質と安全性を確保するため、調査員の資質向上とチェック機能を強化することで、厳正かつ適切な検査・指導を行ってまいります。

### 高木議員

## 医薬品不足の解消について②

医薬品を適正に供給することは保険薬局として当然の機能だが、薬局の努力だけでは先に申し上げた事情により困難であるのが現状である。医薬品の供給のレジリエンスを高める意味でも、地域で薬を管理する必要があると考える。埼玉県が県内全薬局を対象としたネットワークを薬剤師会の協力を得て構築すべきであるとする。埼玉県薬剤師会も、こうした協力を惜しまないと言っている。その上で、薬剤の在庫管理システムを行政主導で導入し、在庫や供給に問題が起こった時に薬局同士で協力して対処できる体制を構築すべきであるとする。このシステムを医師会とも共有すれば、有事の際の情報共有にも生かせるかと考えるが、保健医療部長の答弁を求める。

### 保健医療部長

議員御提案のシステムは、災害時の備えとして有効であるとともに、医薬品に不足が生じた場合など、患者に必要な医薬品を地域で融通し合うことが可能となると考える。

こうした取組は、地区の薬剤師会単位で特定の医薬品の情報を共有するもの、全ての在庫情報を広域で共有するもの、不足する医薬品の提供を呼び掛けるもの、薬局の在庫状況を共有するものなどの先例がある。一方、広域で展開することで医薬品の受渡しに時間を要したり、薬局の在庫情報の入力に大きな負担が発生したりするなど、課題もあると聞いている。また、製造業者や卸業者の医薬品保有情報や、医療機関、薬品の在庫情報を全国的に可視化できないか、国が調査に着手したところでもある。県としては、国の動向を注視するとともに、先行事例や課題なども整理し、どのような情報共有の仕組みが効果的なのか薬剤師会とも意見交換するなど、検討を進めてまいります。

### 解説

この答弁を受けて、県内医薬品製造会社への管理と監視が更に強化されました。また、提案した管理システム構築に向けて埼玉県薬剤師会と埼玉県の交渉がはじまりました。医薬品の供給業者への指導強化も引き続き行ってまいります。安定した医薬品供給ができるように致します。

## 県民と共に。県民のために。埼玉県議会議員 高木 功介 Profile

昭和51年、埼玉県出身。私立本郷高等学校卒業。筑波大学国際総合学類卒業。筑波大学大学院博士課程人文社会科学科修了。博士(国際政治経済学)取得。慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程修了 MBA 修士(経営学)取得。東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻修士課程在籍中。

筑波大学研究員を経て外務省入省。外務事務官として国際法局、総合外交政策局に勤務。自民党埼玉県連の一般公募に合格。埼玉県議会議員2期目。埼玉県議会産業労働企業委員長。

編著書「日本外交の150年-幕末・維新から平成まで」(出版 日本外交協会)

趣味 テニス、サッカー(浦和レッズ)観戦、クラシック音楽鑑賞

座右の銘 「行くに徑に由らず」(論語「雍也」 拠り)

家族 妻(医師、浦和と都内の病院に勤務中)、母

身長 175センチ 体重 69キロ



渋沢栄一賞授賞式にて渋沢子爵の「一國の進運は人に由る」との訓言を引用して受賞者を讃えました。(2月6日)

### 高木議員

## 国民保護に関する埼玉県の取組

災害対策基本法と比較した際、国民保護法(※)の特徴として指摘されるのが集権性と分離性である。国民保護では集権的に全国一律の整備が義務付けられている法定受託事務であっても、市区町村にその実施を分離して委ねる我が国の行政システムにおいては、市区町村の能力や、その実効性に大きな影響を与える。殊に、国民保護のように非日常的であり、高度に専門的な政策領域では、具体的な行動規範の策定を先送りにせざるを得ない市町村も存在すると思う。

そのためにも、埼玉県は県内の市町村と整備に取り組む必要があると考える。国と都道府県の国民保護共同訓練の主催を輪番制にしたことは、国と都道府県の認識の平準化に有益であると評価できる。現場での国民保護行政を担う市町村間での平準化は、なおさら必要であるとする。住んでいる地域によって、国民保護の差異が生じてしまうことは看過できない。国民保護は、国の役割であると他人事のように市町村が捉えなためにも、県が積極的に県内市町村と訓練及び平素の意思疎通が必要であるとするが、知事の見解を求める。

※国民保護法は、正式には「武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律」といい、武力攻撃事態等において、武力攻撃から国民の生命、身体及び財産を保護し、国民生活等に及ぼす影響を最小にするための、国・地方公共団体等の責務、避難・救援・武力攻撃災害への対処等の措置が規定されています。

### 大野知事

国民保護法では、武力攻撃事態等の認定が行われた場合における国、都道府県、市町村等の責務が定められており、市町村がその責務を果たすことは極めて重要であると考えている。県では、県と市町村が国民保護法で定める責務を果たせるよう訓練や研修を実施している。

まず、平成17年度から毎年度、大規模テロ等を想定した国民保護実動訓練を市町村との共催により実施しており、共催市町村には参加して戴き、他の市町村には訓練を視察して戴いている。また、関係機関同士の強固な連結を推進し、県全体の危機・災害対応力国民保護法では、武力攻撃事態等の認定が行われた場合における国、都道府県、市町村等の責務が定められており、市町村がその責務を果たすことは極めて重要であると考えている。そこで、県では、県と市町村が国民保護法で定める責務を果たせるよう訓練や研修を実施している。

関係機関同士の強固な連結を推進し、県全体の危機・災害対応力を強化する埼玉版FEMAでは、弾道ミサイルが県内に着弾したことを想定した図上訓練を本年7月に実施し、市町村にも参加を戴き、ミサイル着弾時の訓練の重要性についての市町村の理解が一步進んだのではないかと考えている。

今後、この図上訓練を踏まえたシナリオを作成して市町村と共有するとともに、シナリオのブラッシュアップを図ってまいります。高木議員指摘の通り国民保護事案が発生した際には、県と市町村がしっかりと責務を果たせるよう、意識の共有も含め訓練や研修をしっかりと行ってまいります。

### 解説

国民保護においては、知事と意見が一致する点も確認できました。一方、知事はミサイル着弾の国民保護訓練に触れていますが、東京都では昨年来、ミサイル着弾に備えた地下防空施設の整備が進められています。私は深く研究したうえで令和4年6月27日の県議会本会議で埼玉県に民間施設の地下を活用したシェルター整備を提案しましたが、知事に理解されず実現していません。安全保障政策の研究者として国民の安全保障のため、国民保護の徹底と地下シェルター整備を併せて引き続き取り組んでまいります。

## 高木功介県政調査事務所

ご要望などお気軽に victory@takagikosuke.jp

〒330-0061 さいたま市浦和区常盤2-9-19 TEL 048-762-7761 FAX 048-762-7861

Facebook

Twitter

HP





の維持管理に積極的に民間の新技术を用いてできるように政策提案しました。道路管理に限らず民間が行政のデータを共有する、行政が民間のデータを共有する事でDX化は図られ、日本経済の発展と人々が快適に暮らせる社会が実現できます。Society5.0の社会を目指し私は率先して実現に向けて取り組んでいます。



図1 HAPSで期待されるさまざまなユースケース

### 高木議員

### DX社会の災害対策

現在、多くの人々がスマートフォンを使用して情報収集をし、都市での生活をしている。スマートシティを目指して、こうしたツールを活用して、より快適な生活ができるように整備が進められている。ところで、私は東日本大震災の折に都内において携帯電話の回線がパンクしてしまい、公衆電話の回線を利用して連絡が取れたという経験がある。それから12年半が経過している。私は先日、12月3日に秩父夜祭に伺った際、多くの人々が携帯電話で連絡を取り合っているため、携帯電話回線はパンクしてしまい、長時間にわたり連絡が取れなかった。スマートフォンでインターネットにアクセスを試みても、これもパンクしている状態で開くことすらできない。大手チャットアプリも通信ができない状態であった。東日本大震災の時と状況は変化していないように感じた。これが大規模災害など、緊急事態の際には、もっと多くの方々が電波を使用するため、更に回線がパンクしてしまうと予想される。非常時には、混乱により情報の分断、錯綜、氾濫やパニックなどが起こりかねない。そうした厳しい環境下においても、人の命に関わる判断や意思決定を時間をかけずに行うことが求められる。そのためには、正確な情報を得られる環境が必要になる。非常時の通信に関して言えば、高高度基盤ステーション(HAPS(図1))を介した携帯端末向け直接通信サービスシステムが挙げられる。これは成層圏に無人飛行機などを飛ばし、それを通信基地などが広域に通信サービスを提供する仕組みだが、まだ開発段階である。現在、稼働している衛星通信サービスは、降雨や地磁気嵐などの影響を受けると、正常に作動しない。衛星通信も万能ではなく、故障に対するバックアップが必要である。このようにレジリエントなインフラ整備は課題が多いと思量するが、埼玉県においてDX社会における災害時の具体的方策について、危機管理防災部長の答弁を求める。

### 危機管理防災部長

災害時に通信障害が生じた場合、避難情報や避難所開設情報といった県から発信する災害情報が県民に届くまで時間を要するおそれがある。このため、災害に備え、電気通信事業者と、災害時における通信障害復旧に関する協定を締結し、通信障害の状況により移動基地局の配備を要請するなど、できるだけ県民が通信できるよう取り組んでいる。また、県の要請により、携帯電話事業者が所有している無線LANを無料開放する取組も、通信障害への対策の一つとして有効である。災害時の通信障害に備え、適切な対応が取れるよう平時から通信事業者と様々な訓練を重ねることが重要であると考えている。国では、議員お話の高高度基盤ステーションを活用した取組や、衛星を活用した通信機能の高度化など災害時の安定した通信について検討を行っているが、開発途上の段階であり、国の動向を注視する必要があると考えている。県としては、災害時に県民へ確実に災害情報を伝えられるよう、通信事業者と密接な連携を図ると共に、最新技術の活用についても積極的に検討してまいります。

### 解説

この質疑をして2週間後に能登半島地震が発生しました。犠牲者に哀悼の意を、被災者にお見舞いの意を表します。石川県でも通信障害が発生し未だに完全復旧していません。私は引き続きこうした非常時における通信障害の課題解決に向けて現在、NTTと意見交換をしています。なお、私の東京大学での研究テーマの一つは都市における噴火の降灰対策であり、防災対策です。そのため災害に強い通信やインフラの研究を日々しています。こうした最新技術を積極的に取り入れて災害発生時に人々の命を守るべく取り組んでいます。

### 流域治水の受益者負担

### 高木議員

全国各地で豪雨などの水害や土石災害が発生するなど、人命や社会経済への甚大な被害が生じている。堤防やダムで洪水を防ぐハード依存の従来型治水は、その限界を迎え、令和3年5月10日に施行された流域治水関連法で大きな転換点を迎えている。洪水リスクを流域全体でシェアすることは、同時に努力をみんなでもシェアすることである。どう地域別でシェアしていくのかをきちんと可視化し、平素より備えていくこと大切である。そこで、流域治水を考える上で、下流の自治体、埼玉県で言えば当然、東京都も含まれるが浸水地域への公的に保障する受益者負担制度の構築は必要である。どう被害を補償するのかは、豪雨が頻発する現状を踏まえると、先送りにできない。上手にためて、あるいは上手にあふれさせて、できる限り被害を少なくする際に、受益団体はどのような負担をするのか考えるべき時にきている。埼玉県は、国や下流の自治体と議論をすべきと考えるが、知事の答弁を求める。

### 大野知事

本県では、近年の頻発化・激甚化する水災害を受けて、流域のあらゆる関係者が協働して取り組む「流域治水」を推進している。議員御指摘の川の能力を上回る降雨に対し、地域で「ためる」対策も取り組んでおり、調整池の整備、校庭貯留に加え、近年では田んぼダムの取組も進めている。しかし、農家の方からは、なぜ市街地のために、なぜ下流のために田んぼで水をためなければならないのか、といった意見も聞いている。このような「ためる」対策に対し、流域として、特に受益する下流域からの支援が必要と感じている。このため、12の県知事で構成する「命と生活を守る新国土づくり研究会」において、田んぼダム等の貯留機能を保全する取組に対して下流域の自治体が支援を行う制度の創設などを私から提案をし、「流域治水の深化に向けた提言書」として取りまとめた。この提言書については、岸田文雄内閣総理大臣に対して直接説明してまいった。流域治水の目指すところは、上流から下流まで、流域のあらゆる関係者が一丸となって対策を進めることである。その推進に向けた機運醸成に取り組みながら、貯留機能を保全する方策について、流域治水協議会の場を活用して、下流自治体とも議論するとともに、引き続き研究会などを通じ国に要望してまいります。

### 解説

埼玉県は首都の水害の受け皿的な役割を有していることはあまり知られていません。そのため、受益者である東京都に埼玉県で洪水が起こった際の補償を求めた画期的な議題であり、国も含め議会では初めて議題が上がったと思われます。この政策提案は、私が所属する東京大学の防災対策の研究室での私の研究成果の一つです。こうした最先端の専門家・研究者の視点で防災に取り組んでいます。

### 高木議員

### ドライブレコーダーを活用した道路管理

埼玉県では、道路パトロールとして県道を週1回から3回巡視し、緊急補修などを行っており、費用は年間約100万円かかっている。内訳は、外注のパトロール員の人件費による。こうした作業と経費を効率よく軽減するため、民間企業のデータを活用することを提案したい。現在、大手保険会社はドライブレコーダーを民間車両に貸与し、事故の過失割合などの計算などに使用している。ドライブレコーダーからの情報は、色々と応用が利く。ある企業は、損傷箇所をAIを活用して自動検知する独自技術を有しており、ドライブレコーダーの解析を行っている。また、そうした技術を搭載したスマートフォンを配送車両に取り付け、日々の配送中に道路の状況把握、解析ができる仕組みを実現している。DXは、データの集積と活用が肝であると私は何度も申し上げているが、こうした民間企業が集積したデータを行政が活用することで、道路管理業務のスリム化、働き方改革、経費節減にも有用であると考えているが、県土整備部長の答弁を求める。

### 県土整備部長

議員お話しのドライブレコーダーなどを活用した技術については、他の自治体の実証実験の結果から、道路管理に係る職員負担の軽減や業務の効率化に効果があると考えている。この技術は、ガードレールや街路樹などの異状を検知できないなどの課題があるが、職員が現場に行かずに、舗装の損傷箇所を漏れなく把握できる利点がある。また、交通事故対策については、国などと共にETC2.0から得られるビッグデータを分析し、急ブレーキが多発する箇所などを把握することにより、潜在的な事故危険区間を抽出し、安全対策を行っている。議員の提案のように今後、さらなる管理業務の効率化及び管理水準の向上を図るため、民間企業が集積したデータを試行的に活用するなど、その効果を検証してまいります。

### 解説

いかに人の手を借りずに能率的に的確に作業が出来るかが、人口減の日本発展のポイントです。大切な道路



## 高橋としひろ

## 風林火山

5月臨時会・6月定例会報告

## 埼玉県議会議員2期目、環境農林委員長としてスタートします！

5月23日・24日に

## 埼玉県議会「5月臨時会」開催

委員長に就任した、環境農林委員会では、環境部、農林部及び内水面漁場管理委員会に関する事項を審査します。

委員長職は、身に余る光栄であると共に、その職責に応えるべく努力して参る所存です。安藤友貴副委員長と共に、埼玉県の環境・農林行政を前に進めます。

豊かな生活環境、儲かる農業を創るべく、同士の議員方と共に取り組みます！

また、新たに就任した立石泰広埼玉県議会議長のもと、令和5年度一般会計補正予算(第1号)補正額は、183億8387万円、専決処分の承認を求めること(埼玉県税条例の一部を改正する条例)について、裁決は総員をもって全議案賛成、可決となりました。

## 環境農林委員長報告

議会では、各委員会のとりまとめ結果を本会議で報告いたします。

環境部関係への「中小企業等省エネルギー対策支援事業費について」の質疑に対し、「今回の制度は、エネルギー価格変動の中で、中小企業の体質改善とCO<sub>2</sub>削減を図ることを目的としており、限られた予算でより多くの事業者を支援したい」との答弁がありました。

また、「昨年度は応募が殺到した」の質疑に対し、「昨年度は、受付終了時に抽選となる旨が募集要領のみの記載にとどまり、不明確であった。今回は、昨年度の反省を踏まえ、チラシやホームページにも明確に分かりやすく記載し、混乱のないよう周知を図っていく」との答弁がありました。



農林部関係への「地域内資源由来肥料利用拡大事業について、何件の事業者の機械導入を見込んでいるのか」の質疑に対し、「20件程度の機械の導入を考えている。試算では、機械の導入により製造される堆肥は、化学肥料に換算すると約416トン相当である。これは、本県の化学肥料の年間流通量の約1.2%と少量であるが、今回の事業等により、県内農業者に対して事業効果を幅広く情報発信し、化学肥料低減の取組を広げていきたい」との答弁がありました。

以上のような審査経過を踏まえ、本議案について採決致しましたところ、総員をもって、原案の通り可決すべきものと決した次第であります。



# 6月19日から7月7日まで 埼玉県議会「6月定例会」開催

「埼玉県税条例の一部を改正する条例」など27議案を議決いたしました。改選後初の定例会であり、議会として議員連盟、団として各種プロジェクトチームが立ち上がるなどいたしました。事務局長に就任させていただくものも出てきました。

以下、いくつかの議案を紹介します。

## ＜自動車税(環境性能割)＞

地方税法の一部改正に伴い、環境性能が高い自動車の普及促進を図るため、税率の基となる燃費基準の達成度合いを段階的に引き上げる。

## ＜軽油引取税＞

トラクターや掘削機など公道を走らない車両の軽油は、免税を受けることが可能。この免税軽油の使用のうち農業者等について、軽油購入数量等の報告頻度を緩和する。

緩和の内容(購入数量が年間3キロリットル以下の場合)

現行		→	改正案	
区分	報告頻度		区分	報告頻度
免税1年目	毎月			1年に一度
2年目以降	1年に一度			

### ◎改正による効果

免税による税負担の軽減

1ℓにつき32.1円の軽減

免税手続に必要な事務負担の軽減

毎月から年1回の報告に軽減



### 編集後記

軽油取引税の条例改正について「制度を始めるにあたり、農業者から過度な手続きの手間があり導入できない」とのお声をいただいていたお話であり、議会としてになりますが、応えることができました。

私としては、皆さんの生活や使い勝手まで想像して、審議に臨み、一つ一つ着実に間違いがない県政運営がなされるよう取り組んでおります。

皆さんのお声を形にするため、仕事は地道に、決断は大胆に、二期目を進めてまいります。

10月初旬(未定)には一般質問を行うべく準備を進めており、傍聴希望される方は下記までご連絡をください。

高橋としひろ事務所

〒347-0056 埼玉県加須市土手 2-17-15  
TEL:0480-61-7681 FAX:0480-61-7682  
mail:takahashi.kengi2019@gmail.com



Facebook  
高橋としひろの発信



Instagram  
高橋としひろの発信



Twitter  
高橋としひろの発信



Youtube  
高橋としひろの発信



公式サイト  
高橋としひろの発信



プライバシーポリシー 各県の方々の投票の  
や、ふたに、お気づき 民と私自身の生の声 全てがっかつたけ

# 高橋としひろ

埼玉県議会議員

県政し



埼玉県議会9月定例会が、令和5年9月にかけて22日間にわたり開催されました。埼玉県一般会計補正予算(第2号)や物流の2024年問題への対応を求める意見書など40議案を同意・可決。私自身もこれら、すべての議案に賛成をしております。また、決算にかかわる議案2件を継続審査とし、このほか虐待禁止令の議案を1件撤回承認しました。

今回、年に一度の一般質問を行っており、その内容の紹介を中心にご報告します。県政を前に進めるべく、良く動きよく聞き、議会活動・地元活動ともに邁進してまいります。



大野埼玉県知事と

## 令和5年9月定例会 一般質問 (令和5年10月3日)

✓印の内容を今回ご報告させていただきます。

1. 知事公約～渋沢栄一創業プロジェクトについて (知事)
  - (1) スタートアップ支援について、どの成長ステージをメインターゲットとするのか
  - (2) 第二創業者も対象に
  - (3) オープンイノベーションと誘致企業について
  - (4) オープンイノベーションと SAITAMA ロボティクスセンター (仮称) について
- ✓ 2. 知事公約～急速な超少子高齢化への対策について
  - (1) 分かりやすく希望が持てるビジョンをお伝えいただきたい (知事)
  - (2) こども家庭庁ができたことを機に
    - ア. 子どものためにそうあるべきだけれど、できていないことを行動宣言に (知事)
    - イ. 効果的なチャンネルでこどもまんなか社会の機運醸成を (福祉部長)
    - ウ. 部活動の地域移行について～現状と遜色ない活動の機会を (教育長)
    - エ. 部活動の地域移行は県でも教育委員会だけの問題ではないのでは (県民生活部長)
    - オ. 子どもの行方不明時の対応につて～まずは水路を見ていただきたい (警察本部長)
  - (3) 免許返納後の移動手段に象徴される交通弱者への対応をどうするか (企画財政部長)
- ✓ 3. パンデミック～複数の地域で同時に病気が大流行する感染症はまた起きます (健康医療部長)
  - (1) コロナ禍の経験を具体的なアクションに
  - (2) 保健所体制維持のために
4. 依存症に対するハームリダクションという考え方について (保険医療部長)
5. 地元問題
  - (1) 北川辺地区水害発生時の避難対策について (警察本部長)
  - (2) 第三次救急医療機関済生会加須病院へつづく道を整備する (県土整備部長)
    - ア. 東武伊勢崎線花崎踏切について
    - イ. 県道久喜西線バイパスの整備について
  - (3) 県道と県道が交わる榎戸交差点の渋滞対策及び安全対策について (県土整備部長)



議場にて一般質問

### 高橋としひろ事務所

〒347-0056 埼玉県加須市土手 2-17-15  
TEL:0480-61-7681 FAX:0480-61-7682  
mail:takahashi.kengi2019@gmail.com



# ポータル 第11号

# 風林火山

知事公約～急速な超少子高齢化への対策について

## 分かりやすく希望が持てるビジョンをお伝えいただきたい!

Q 高橋稔裕 議員

乗り越えなければならない急速な超少子高齢化という課題。いいな、これだったらみんなでやっていこう!!と思える未来を拓くストーリーが必要です。知事がお持ちのビジョンをお聞かせ下さい。

A 大野元裕 埼玉県知事

ビジョンは、～あらゆる人に居場所があり、活躍でき、安心して暮らせる社会であり、埼玉版スーパー・シティプロジェクトにより、コミュニティを形成し、高齢者を見守り、子供たちを共に社会で育てる環境を作っていきたいと思っています。



もっとワクワクする県民を引っ張っていくような答弁をいただきましたかったところです。

知事公約～急速な超少子高齢化への対策について ども家庭庁ができたことを機に

## 子どものために「そうあるべきだけれど、できていないこと」を行動宣言に!

Q 高橋稔裕 議員

ども家庭庁が発足いたしました。これを機に子どもを持つことが重荷になる社会から脱しないと、次のチャンスはない。前のめりになる必要があると考え、強い気持ちの下、質問させていただきます。ども大綱やそれに伴う予算となると、まだこれからですが、「子どもに関することは、予算や行政サービスを通す以上に県民一人一人の意識に關わる比重も非常に大きいです。」子どものためにそうあるべきだけれども、できていないことを埼玉県と埼玉県民が全員でやっていくなど、下記のような機運醸成を図る取組を宣言に加えたらいかがでしょうか。知事にお尋ねします。

- ・埼玉県では、電車やバスなど公共の場で子どもは泣いてもよい。
- ・子連れや妊婦は、京都府のようにファスト・トラックを設ける。
- ・公共の場で、これらの方たちや子どもの困りごとは誰にでも頼んで良いし、それに応える。

A 大野元裕 埼玉県知事

子ども真ん中宣言の中には、議員ご提案のいわゆる「どもファストトラック」や公共交通機関等において、乳幼児連れの方などの、配慮が必要な方に対する理解・協力の啓発など、機運を醸成する取組が掲げられております。私もそういった機運の醸成は極めて重要と考えており、この6月に、それらの趣旨を踏まえた「どもまんなか応援サポーター宣言」をさせていただきます。

Q2 高橋稔裕 議員

私も調べて宣言されたということを確認しているんですが、県民に伝わっていないんです。そして、私自身は機運の醸成を図る取組を宣言に加えたらいふふう伝えております。新たに明文化して宣言に加えるということはないのでしょうか。再質問をさせていただきます。

再A 大野元裕 埼玉県知事

「公共の場で子供は泣いてもよい」などのご指摘の個別の活動については、既に宣言の趣旨に含まれております。

どもまんなかの趣旨が広まることによって、議員お話しの際の個別の県や県民全体で取り組んでいく取組に対する機運も高まるものと考えており、個別の事項につきましては宣言に加えることはありませんが、しかしながら様々なメッセージを今後も発信することによって地域全体に対して周知を図っていく所存であります。

知事公約～急速な超少子高齢化への対策について ども家庭庁ができたことを機に

## 効果的なチャンネル(方法)でどもまんなか社会の機運醸成を!

Q1 高橋稔裕 議員

効果的なチャンネルで、どもまんなか社会にしなければならないんだという機運醸成を図ったらいかがでしょうか。

A 福祉部長

効果的なチャンネルでの機運醸成については、今後のどもまんなか社会の機運の醸成を進めるに当たって方策の一つとして検討してまいります。

Q2 高橋稔裕 議員

そこまでやるのかというインパクトを残し、社会の思い込みを変えたいという意味で電車ジャックをしたらどうかという中ぶり広告の提案しています。どもまんなか社会にしなければならないんだという機運醸成をインパクトのある効果的なチャンネルで図ったらいかがでしょうか。

再A 福祉部長

あらゆる媒体を活用して、この機運を盛り上げていくことを今後検討してやっていきたいと考えております。



大野埼玉県知事と



顧問を務める加須市ホビースポーツ協会第一回大会にて



埼玉県では、公共の場で子供は泣いてもよい、乳幼児連れなど配慮が必要な人に協力する。という答弁は得られたものの、まだまだ機運醸成は必要です!



# 責任ある未来を創ります





知事公約～急速な超少子高齢化への対策について

## 部活動の地域移行について ～現状と遜色ない活動の機会を！

Q 高橋稔裕 議員

今後に向けて責任を持つ機関が決まっていれば、一義的には安心ですが、現状と遜色ない多様な競技や活動の機会を協議できる部活動の受皿を用意する主体は県はどこにあると考えていますか、教育長にお尋ねします。



A 教育長

主に公立中学校の生徒を対象とし、その設置者である市区町村が、関係者の協力を得て、地域クラブ活動の運営団体・実施主体の整備充実を支援することと国のガイドラインでされていることから、基本的には市町村が主体となって進めていくものと考えます。

再Q 高橋稔裕 議員

現状 多様な競技や活動の機会が用意できていないわけで、県の役割も非常に大きいと思います。県教育委員会もとことん踏み込み、言わば主体的に自分ごととして取り組んでいく必要があると答弁いただいているということではよろしいでしょうか。教育長に確認します。

再A 教育長

議員お話しのとおり、部活動の受け皿になる新たな地域クラブ活動の整備は容易なことではないと考えます。そこで、県では、令和5年4月に県、市町村等の関係団体が構成する「埼玉県地域クラブ活動推進協議会」を立ち上げ、市町村等の意見を伺いながら、地域クラブ活動の整備に向けた指針や県による支援策等について検討を進めているところです。今後も、市町村の取組状況を把握しながら、中学生に多様な競技や活動の機会がいきわたるよう、市町村に寄り添った丁寧な支援を行ってまいります。

再々Q 高橋稔裕 議員

私は、主体的に「自分ごととしていかがか?」と再質問をさせていただいております。その一端として、具体的にどのようなものになるのかという部分をお聞かせ願えればと思います。教育長に確認します。

再々A 教育長

現状と遜色のない多様な競技や活動の機会の準備には時間がかかることが想定されますが、県では、主体的に、市町村への伴走型の丁寧な支援により、現状と遜色のない活動の提供を目指してまいります。

知事公約～急速な超少子高齢化への対策について

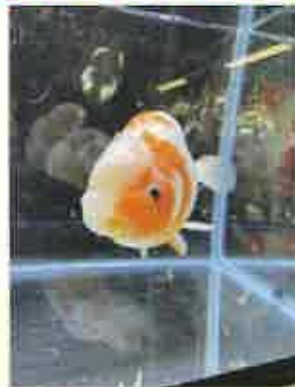
## 部活動の地域移行は県でも 教育委員会だけの問題でないのでは？

Q 高橋稔裕 議員

県民生活部も、主体にならないまでももっともっと積極的にこの問題に取り組むべきと思いますが、いかがでしょうか。県民生活部長に伺います。

A 県民生活部長

部活動の地域移行は、新たな地域クラブ活動が広がるなど、地域のスポーツ振興にもつながることから、県民生活部といたしましても、どの市町村にも取り組みやすくなるよう、丁寧に支援してまいります。



加須市には埼玉県水産試験場があり、▶品評会に出席してきました。関東唯一の市場も併設されています。

知事公約～急速な超少子高齢化への対策について

## 子どもの行方不明時の対応について まずは水路を見ていただきたい!

Q 高橋稔裕 議員

夏場の取水期。埼玉県東部の市街地には満水になった水路が多いことが特徴です。小さなお子さんの行方不明の事実が分かった段で、落ちているか落ちていないか根拠を探す前に、早急に最終確認地及び自宅から500メートルほどは水路を丹念に捜すべきと思いますが、いかがでしょうか。警察本部長にお尋ねします。

A 警察本部長

県警察では、届出人から行方不明の届出を受けた際には、行方不明者の生命・身体の安全確保を最優先に、事件・事故の両面の可能性を視野に、事案に応じた発見活動を適時・適切に実施しております。特に、子どもの行方不明事案につきましては、誘拐などの犯罪被害者となっている可能性を考慮し、原則として、秘密捜査と並行して行方不明者の発見活動を実施しています。議員お話しのとおり、子どもの行方不明事案において、行方不明となったと思われる場所の付近に市街地水路、河川などが認められる場合は、水難事故の可能性を考慮し、秘密捜査と並行して、速やかに、かつ広範囲に、徒歩による捜索や機動隊による潜水、航空隊による上空からの捜索を実施しているところです。県警察といたしましては、子どもに限らず、行方不明者事案につきましては、引き続き、適時・適切に対応してまいります。

知事公約～急速な超少子高齢化への対策について

## 免許返納後の移動手段に象徴される 交通弱者への対応をどうするか?

Q 高橋稔裕 議員

急激なスピードで高齢化する埼玉県、その準備は進んでいるのでしょうか。とりわけ、免許返納後の高齢者の移動手段に象徴される交通弱者への対応が極めて重要な課題と考えます。

本当に地域の声と取組にギャップを感じる問題です。どのように高齢者が使えるかまで考えた交通サービスの質的充足が重要だという問題意識を市町村と共有することや、補助制度の使い勝手がポイントになると思います。県として市町村とともにどのように取り組んでいくのか。企画財政部長にお尋ねします。

A 企画財政部長

高齢者等にとって利便性の高い交通サービスの質的充実に向け、問題意識を市町村と共有することや市町村のニーズに応える適切な補助制度を用意することは大変重要であると認識しております。市町村と意識共有を図るとともに、補助上限額を500万円から700万円に引き上げた埼玉版スーパー・シティプロジェクト関連の取組との連携をより一層強化しつつ、市町村を積極的に支援してまいります。

再Q 高橋稔裕 議員

来年は予算面も含めた使い勝手、この部分担保いただけるのでしょうか。

再A 企画財政部長

埼玉版スーパー・シティプロジェクトとの連携をより一層強化するという観点で来年予算に向けてですね、しっかりと検討してまいります。このように考えております。



環境農林委員会が茨城大学を視察してカーボンサイクルについて学ぶことができました

交わりながら地域の方との交流を深めています

パンデミック~複数の地域で同時に病気が大流行する感染爆発はまた起きます

## コロナ禍の経験を具体的なアクションプランに!

Q 高橋稔裕 議員

悲しいかな、病の種類を変え、数年ごとに必ずパンデミックはまた起こると20年前から言われてきました。当時の混乱や尊い命も含む大きな損失を無に帰さないためにも、早期に臨場感あるうちに今回の新型コロナウイルス感染症初期の検証を終わらせ、具体的なアクションプランとなる形で次なるパンデミックの用意を残すべきと考えます。

その際、

- ・ 市内含む医師会や病院など関係機関との連携
  - ・ パンデミックに対応できる人材の確保・育成
  - ・ この連携面と人材面に対し平時から危機感を持ち、有事の対応力を保ち続ける方策
  - ・ 現場である県から国への働き掛けが重要であった、その枠組みを残す方策
  - ・ 緊急事態宣言という貴重な経験をしたその具体的な対応方法とケアすべき点を残す方策
- 上記を踏まえたアクションプランを早期にコロナ禍当初の検証を終わらせるべきと考え、どのように作っていくかお尋ねします。

A 保健医療部長

新型コロナウイルス感染症については、知見やワクチンもない中、試行錯誤を繰り返しながら、様々な対策を講じてきました。この未知の感染症に対峙した経験を風化させずに残し振り返ることは重要であり、現在記録を取りまとめております。一方、改定作業をしている感染症予防計画では、感染症発生・まん延時における保健・医療提供体制について方針を定め、発熱外来を行う医療機関数や確保病床数など数値目標も設定しました。医師会や看護協会などの代表者や感染症の専門家からなる連携協議会を設置して議論を行っており、委員のご意見や新型コロナ対応の経験を踏まえ、実効性ある計画となるよう取り組んでまいります。

パンデミック~複数の地域で同時に病気が大流行する感染爆発はまた起きます

## 保健所体制維持のために!

Q 高橋稔裕 議員

保健所体制維持のために喫緊の課題として、コロナ最悪期に増員した高い志を持って現場に飛び込んで下さった保健師が現在38名いらっしゃいます。記憶が風化すれば、また削減を、というバイアスがかかることも容易に想像できます。パンデミック防止を第一の柱とし、第二の柱として、こどもまんなか社会のけん引役としてアウトリーチの訪問など、子供施策、母子保健を中心に担っていただくように明確に位置付けておくことはいかがでしょうか。

A 保健医療部長

現在、予防計画の改定を進めており、今後も保健師が中心となって研修や訓練に取り組みます。保健所の役割と重要性が一層浮き彫りになったことから、現行の水準はしっかりと維持してまいります。

再Q 高橋稔裕 議員

こども家庭庁ができたタイミングでもございます。このタイミングしかないという気持ちでございます。子供施策、母子保健のところ、様々あるというところでございますが、そこに比重を多くしていたという形で質問しております、いかがでしょうか。

再A 保健医療部長

県は例えば、小児慢性特定疾病を有する医療的ケア児など、特別な支援が必要な方への相談や訪問を行っております。今後も県が行うべきアウトリーチなど積極的な支援を行ってまいります。



### 埼玉県虐待禁止条例の一部を改正する条例(案)について(声明)

平素より、私共埼玉県議会自由民主党議員団の活動に、ご理解と協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今定例議会に我が会派から提案させて頂いております埼玉県虐待禁止条例の一部を改正する条例(案)につきまして、委員会審査を終了しておりますが議院の事情により、取り下げをさせて頂きたいと存じます。

私共の議案提案の趣旨「子供の安全を守るという理念」は、多くの県民のご理解を得られるものと考えております。私共といたしましては、日本における子供を放置している状況を再認識し、ご家庭での子育てオペレーションを一考頂く機会となるの思いから協議を進め、提案に至りました。

しかしながら、私の言葉足らずにより、県民の皆様はもとより全国的に不安と心配の声が広がり、多くの県民・団体等より、県議団に対し様々なご意見を頂戴致しました。条例が運用されるに当たっては、その趣旨が十分に理解され、広く社会に受け入れられた上で、社会全体として子供の安全を守るという機運につながる事が重要です。

こうした観点から、本議案については取り下げさせて頂きました。

### — お詫び —

この度は条例一部改正案について、県民をはじめとする多くの皆様に大きな不安と悲しみ、ご迷惑をおかけした事、深くお詫び致します。

大層、申し訳ございませんでした。

報道のように、多くのご批判・ご指摘を受け、修正あるいは取り下げの協議を行い、理解促進の目的とは真逆の社会的混乱を引き起こしている状況から取り下げることとなりました。

協議前として10/10に声明を発表し(添付)、10/10の定例例会日に正式に本会議での取り下げを行いました。今回頂きましたご意見を真摯に受け止め御礼を述べ、今後はこれまでに以上多くの皆様のお声をお聞きしながら、社会全体で子育てを支える高質意識に努めてまいります。

#### 1. 改正案の目的と経緯

本県は、6年前に議員提案で制定された既存条例に対し、車中泊し去り等による死亡事故を防ぐため「就寝の禁止」を加え、また、行政の取り回しの遅延や、ご家族・地域での安全確保も担っている職員の改正案でした。既存条文に明記されていた「安全配慮義務(防犯ブザー所持・鍵が抜けつけられる・何かあった際の連絡の約束・戸締り確認等)」が守られている場合は条例に抵触せず、つまり「多くの子育て世帯は違反とならない」立付けでしたが、改正部分の審査等での懸念事項を欠いた説明が行われた事で、全面的な物議に発展してしまいました。

また、「虐待の定義については解釈の幅が広く、条文上、明確な定義づけが不明確」と多くのご指摘も頂く事となりました。社会全体に混乱を生じさせる結果となり、この状況を伺って受け止めさせて頂き、案を撤回した次第です。

#### 2. 今後の対応

今回、議員団は県民の皆様のみならず幅広い分野の方々からご批判・ご意見を頂きました。今回のような事態を招いた事案を我々は反省し、しっかりと今後の条例制定の在り方をきき検証を行わなくてはならないと考えています。現実社会に即した案例とは何か、規制は最小限であるべきではないかといったご指摘を真摯に受け止め、任民生活を支える議員提案条例の在り方について再審し、改めて任民生活での障害発生現場に努めてまいりたいと思っております。特に県民意見の反映方法について、改善点を調べる必要があらうと考えており、改めて、検討会を設置し協議してまいります。私自身、4人の子をもつ子育て世代であります。子どもを社会全体で守り育てるために、信頼回復と県民福祉の向上に努めて参ります。

を貫く



Facebook  
地域との交流の場



Instagram  
魅せる写真と  
若者との交流

若い力  
自民党

# 高橋としひろ

埼玉県議会議員

県政

いつも皆さま方の応援に感謝申し上げます。本年もよろしくお願い致します。

令和5年12月定例会は12月4日から22日まで行われ、令和5年度埼玉県一般会計補正予算（第3号、4号、5号）など議案41件を可決、2件を認定、4件に同意いたしました。ひとり親家庭等を対象に子供の進学に向けたチャレンジを後押しするため大学等の受験料や中学・高校3年生の模試費用補助他、物価高騰の影響を受ける生活者・事業者に対する緊急支援が議案内容の代表的なものであり、私自身も本会議ではすべての議案に賛成させていただきました。

所管する環境農林委員会では慎重審議をつくり「高温などによる水稲及び大豆の被害への対応についての予算」をはじめ5議案すべて可決すべきものとして、採決いたしました。

引き続き本号でも、ご紹介しきれなかった本年度の一般質問の内容をお伝えさせていただきます。



## 令和5年9月定例会 一般質問 (令和5年10月3日)

✓印の内容を今回ご報告させていただきます。

- ✓ 1. 知事公約～渋沢栄一創業プロジェクトについて (知事)
  - (1) スタートアップ支援について、どの成長ステージをメインターゲットとするのか
  - (2) 第二創業者も対象に
  - (3) オープンイノベーションと誘致企業について
  - (4) オープンイノベーションとSAITAMA ロボティクスセンター (仮称)について
- 2. 知事公約～急速な超少子高齢化への対策について (11号で報告)
- 3. パンデミック～複数の地域で同時に病気が大流行する感染爆発はまた起きます (11号で報告) (健康医療部長)
- ✓ 4. 依存症に対するハームリダクションという考え方について (保険医療部長)
- ✓ 5. 地元問題
  - (1) 北川辺地区水害発生時の避難対策について (警察本部長)
  - (2) 第三次救急医療機関済生会加須病院へつづく道を整備する (県土整備部長)
  - ア. 東武伊勢崎線花崎踏切について
  - イ. 県道久喜騎西線バイパスの整備について
  - (3) 県道と県道が交わる榎戸交差点の渋滞対策及び安全対策について (県土整備部長)

## 地元問題

# 県道と県道が交わる 渋滞対策及び安全

Q 高橋稔裕 議員

榎戸交差点は、県道北根宮蒲線と県道加須鴻巣線の交差点の通勤時間帯などの渋滞が多く、小・中学生の通学路に指定者などから渋滞解消と安全確保についての要望が数多く出されています。昨年6月の質問では、前向きに調査検討する旨の答弁を頂戴となく進めていただきたく、榎戸交差点の渋滞対策及び安全対策部長にお伺いします。

A 金子勉 県土整備部長

榎戸交差点は、交通量が多く、右折帯がな生れており、地元小中学校の通学路となっております。このため、令和4年度は交差点部において交通安全対策を実施しました。令和5年度は、この調査結果を踏まえ、路線今後は、地元加須市と連携し、地元の皆様の安全な交通と安全の確保に向けて、事業に取り組みます。



高橋としひろ事務所

〒347-0056 埼玉県加須市土手 2-17-15  
TEL:0480-61-7681 FAX:0480-61-7682  
mail:takahashi.kengi2019@gmail.com



# 元問題 北川辺地区水害発生時の避難対策について

Q 高橋稔裕 議員

利根川の北側で、渡良瀬川、谷田川の三方を川に囲まれる輪中の町、加須市北川辺地域では令和元年東日本台風の時、利根川の堤防越水を懸念した避難指示の発令がありました。夜中1時頃の発令にもかかわらず、8,000人以上が大移動し、渋滞や避難所に入れない方が多数出るなど、直接被害は少ないものの大きな混乱と恐怖の記憶が残っています。その後、ハード面において新橋をお願いしたいとの要望も進めております。ソフト面では、埼玉県警察において平素から関係機関と連携して訓練等を実施していると同っております。

また、加須市でも様々なケースを想定し、早めの時間差の避難を心掛けるなどして東日本台風の時のような大渋滞が起きないように計画を立てており、安心・安全が広がっておりますが、一点、住民の声を基にご提案し、ご意見を頂きたいお話がございます。

様々な計画を立て、避難誘導を行っていただきますが、殊災害発生時には計画どおりにいくかは誰も分かりません。

東日本台風と同様に、1.3キロ以上、おおよそ180台もの車列が連なるようなことが起こったとき、想定外の準備として片側交互通行である埼玉大橋の車線を両方も北川辺地域から加須地域に向けた形で通行できるようにすることで、車列に並ぶ人命を一人でも多く水没から救うことができます。

そういったことが必要となるケースは、当然ないとは思いません。どのような部分に気をつけなければならないかなど、そういったケースの準備をしておいてはいかがでしょうか。

警察本部長に伺います。

A 鈴木基之 警察本部長

水害発生時に北川辺地区の住民の方々が加須市街地方面へ避難する場合には、埼玉大橋周辺の円滑な避難誘導が重要であると認識しております。

令和元年台風19号に見舞われた際に、埼玉大橋南方の砂原交差点周辺を起点とする交通渋滞が発生したことを踏まえ、現在の計画においては砂原交差点等に警察官を配置し、信号操作などを行うこととしております。これにより、北川辺地区から避難する車両の円滑化が図られ、埼玉大橋周辺における交通渋滞が解消されるものと想定しており、同計画に基づく訓練も関係機関と連携して実施しております。

議員ご提案の避難方法(両側通行)については、北川辺地区へ向かう緊急車両や避難指示に基づき交通弱者の方々などを輸送するバスの動線等への懸念から計画上検討しておりませんが、河川氾濫など現に差し迫った状況下においては緊急やむを得ない措置としてあり得るところであります。

県警察といたしましては、住民の方々が安全に安心して避難できるよう、関係機関と連携して早期の避難を呼び掛けるとともに、広域迂回も含めた安全な経路への避難誘導が適切に運用できるよう関係機関と連携を図ってまいります。

## 加須市南西部の交通要衝である榎戸交差点の対策について

加須市の南西部に位置する交通の要衝です。朝夕の箇所でもあり、地域住民の方々や通勤時の車利用が多いです。

令和元年の台風被害で、1年と3か月がたちました。是非ともとどまることについての現在の進捗状況と今後の見通しを県土整備局に伺います。

ことから、朝夕を中心に交通渋滞が発生しますが、一部に歩道がない箇所がございまして、歩道整備や渋滞状況の調査を行いました。

歩道整備と交差点の設計を進めております。ご理解と御協力をいただきながら、円滑な通行が実現できるよう努めてまいります。



責任ある未来を創ります

若い力  
自民党



地元問題 第三次救急医療機関済生会加須病院へつづく道を整備する

# 県道久喜騎西線バイパスの整備について

Q 高橋絵裕 議員

県道久喜騎西線バイパスの整備については、現在進めている区間で事業を終えるのではなく、西は志多見、羽生、行田、東は久喜市内や大和根、旧栗橋との接続を念頭に進化させていくことが命を守る道としてバイパス効果を大きく発揮されるものと考えるところです。

東側、花崎水上公園までの下高柳工区につきましては、急ピッチな工事に敬意と感謝をお伝えいたします。

西側、市道148号線から県道礼羽騎西線、いなほの湯までの上高柳2工区については、令和4年度は用地取得に着手してまいりますとの答弁を昨年いただきました。地元地権者も、もろ手を挙げて賛成です。

この部分まで早期に工事を進めていただきたく、県道久喜騎西線バイパス上高柳2工区の現在の進捗状況と今後の見通しについて、県土整備部長に伺います。

A 金子勉 県土整備部長

県道久喜騎西線バイパス上高柳2工区は、加須駅にアクセスする加須市道148号線から県道礼羽騎西線までを東西に結ぶ、延長約1.3キロメートル区間でございます。

令和元年度から事業を進め、これまでに測量や設計を行い、令和4年度から用地取得に着手いたしました。現在の用地買収率は63パーセントとなっております。

今後も地元の皆様の御理解と御協力をいただきながら、用地取得を進めるとともに、用地がまとまって確保できた箇所から、順次、工事を実施してまいります。引き続き、地域の活性化に資する県道久喜騎西線バイパスの整備を推進してまいります。



## 多くの方がスムーズに新病院を利用する為に...



# 渋沢栄一創業プロジェクトについて

～今回は一般質問の内容を分かりやすく表現するため口語調に直しLINE風に紹介します。



埼玉県では、新産業の創出や地域経済の活性化を促進するため「渋沢栄一創業プロジェクト」と題し、日本経済の発展に大きく貢献した渋沢翁の理念を受け継ぎ、起業家や起業希望者、ベンチャー企業を支援しています。具体的には新たに、起業家や県内の大企業、中小企業等が交流し、マッチングが生まれる場「(仮称)渋沢栄一起業家サロン」をつくっていきます。

サロンは、起業家や産業種企業が交流しイノベーションが生まれる場です。オープンイノベーションの創出支援、スタートアップの創出支援、イノベーション人材の育成を通じ、エコシステムの構築を目指すものです。とはいってもの不明確な部分も多く、新産業の創出や地域経済の活性化という目的達成が図られるか不安な部分も多く、その部分を前に進めるため、いくつか質問させていただきました。



知事！ 起業家の成長には、創業前から必要となる資金の出し手となることが多いアーリーステージ、その後のミドルステージ、レイターステージ、そして上場期と分類されます。そもそも、設立時にはどの成長ステージをメインターゲットにしますか？

エコミックガーデニングを含めたシード期や、アーリー期の企業に、マネジメントに必要なスキルを習得するプログラムの提供など、専門家による伝道支援や先輩起業家による個別メンタリングなどの成長促進プログラムを実施していこうと思うよ。

様々な入居や内装、リソースをもって、創業初期の段階では、資金調達も、行政との連携も、ターゲットに合わせたサービスを提供したいと思うのですが、どうですか？

サロンの中での相談効果や議論が膨らむと思うんですよね。

創業に近い意気込みと新たな分野を目指す意欲のある第二創業家も、支援をしていきたいね。なにしろ、帝國データバンクの調査だと、令和4年12月時点における県内中小企業の社長の平均年齢は60.7歳

70代以上の割合が26.9パーセントと全体の4分の1以上を占め、企業において事業承継は喫緊の課題だからね。

実した第三創業家も、創業初期の段階では、資金調達も、行政との連携も、ターゲットに合わせたサービスを提供したいと思うのですが、どうですか？

誘致した企業が持つ既存のマーケットやサブライフェーンなどの事業基盤は、サロンで支援対象とするスタートアップにとって事業展開を円滑にする上で強力なフィールドとなるね。誘致企業にも、スタートアップが持つエッジの効いたアイデアを取り込むことにより、新たなイノベーションにつながる可能性を秘めているよね。

両者にとってのメリットがあるから、誘致企業には是非、オープンイノベーションの選択先としてサロンに参加をいただきたいところだよ！

令和5年7月5日、県庁第3階の入り口で、県庁第3階の入り口で、エコミックガーデニングに関するロボット開発を支援するSAITAMA ロボティクスセンターは

適度な相互連携をする事業になるのですか？

サロンで生まれたアイデアをセンターで形にしたり、逆にセンターで開発を進めている企業が協力者を募るイベントをサロンで開催するなど、相互連携もできるので、高橋さんが言ったようにサロンとセンターの連携を効果的に推進するよ！

# 依存症に対するハームリダクションという考え方について

Q 高橋裕 議員

県のアルコール、たばこ、ドラッグなど依存性が高いものの啓発を見ると、「ダメ」とか「やめるべき」という論調が多いのですが、それでは生きることに課題を抱える人に支援が届きません。何しろ依存症という病気です。海外では、やめられない人の事情に寄り添い、身体、経済、社会的損害や痛みを認め、段階を追った対応をするハームリダクションという考え方が取り入れられ始めています。

一度依存者になると、基本的人権たる住む場所や仕事を探そうにも、それを難しくする現実があります。社会復帰を許されないことで、負の連鎖から抜け出すことを諦めて依存度を深めてしまう、時に命すら失われることもあるでしょう。海外でも依存に対する偏見は根強くあるそうですが、禁止だけのアプローチでは依存問題を根絶できないことに直視し、導入が進んでいるとのこと。

ハームリダクションの考え方でこれら依存症に対するケアと支援を始めてみませんか。保健医療部長にお尋ねします。

A 表久仁和 保険医療部長

ハームリダクションとは、飲酒などの依存行動を直ちにやめられない場合に、アルコールを減らし肝機能の低下を防ぐなど、依存症患者の健康被害を少なくする支援方法で、治療のハードルを下げるためにも有効です。県が依存症相談拠点機関に指定した精神保健福祉センターでは、依存症患者を支援する精神保健福祉士などを対象にした研修の実施や、広報誌への掲載によりハームリダクションの周知を図りました。

議員ご指摘の通り、身体・経済・社会的損害を低減させるハームリダクションの考えに基づく支援は依存症に悩む人に届きやすいと考えます。今後は、関係者への研修を更に充実させ、依存症に悩む人が早期に相談に繋がりますよう周知に取り組んでまいります。

# 地元問題 第三次救急医療機関済生会加須病院へつづく道を整備する 東武伊勢崎線花崎踏切について



Q 高橋裕 議員

加須市では令和4年、埼玉県済生会加須病院が地域の安心と生命を守る3次救急を要し開業しました。市内全域から、この病院にスムーズにアクセスするためには、南北をつなぐ県道北中曽根北大桑線の花崎踏切の渋滞を解消すること、同線に接続し東西をつなぐ久喜西線バイパスを早期に開通させることが必要になります。

まず、花崎踏切の渋滞解消について、こちら地元の方々としては3代前の知事、畑和さんの時代から政治家に訴え続けているとのこと。

昨年の質問では、多くの課題があり、今後は現地測量を行い、立体化に向けた課題を整備し、検討を進めてまいりますとの答弁を頂きましたが、この課題、地域の方々への理解と丁寧な進捗の説明が一番大切です。

現在の進捗状況と住民への説明も含めた今後の見通しについて、県土整備部長に伺います。

A 金子 勉 県土整備部長

県道北中曽根北大桑線の花崎踏切は、東武伊勢崎線花崎駅と近接し、遮断時間が長く、交通量も多いことから、朝夕を中心に渋滞が発生しております。この踏切周辺には、店舗や家屋が連担し、信号機のある交差点も多く、さらに水路や高速道路が近接しているなど、踏切の立体化の実施に向けては多くの課題がございます。

このため、令和3年度に踏切周辺の交通量調査を実施し、令和4年度には現地測量や複数のルート検討を行い、各ルートの課題を抽出いたしました。令和5年度は、立体化した場合の交通量の変化、騒音や振動など、周辺環境への影響を検証してまいります。

今後は、最適なルート案を定め、地元の皆様丁寧に説明し、ご理解をいただきながら進めてまいります。

## 編集後記

私の政務活動は、皆さまに発信しご意見を聞くことで、政治や行政のコミュニケーションを活性化させること一貫的等を通じて、県の方針を確認し、県政が向き方向に、誤った方向に進まないよう通達を交わすことまた確信をもって必要な施策であると判断するときには、積極的に具体的な提案を行うこと時に集団となって、物事を進めることと認識しております。今回は議事録のほぼ原文を載せたため、分量も多く字も小さくなりました。読み慣れない方には見出しだけでも見ていただき、私が何と何をあてて政治を進めているかを確認いただけたら幸いです。

また、道程の質問については、何しろ埼玉県中の道程を予算をかき集めて作っております。必要であってもお伝えし続けたい。道程が落ちる例も見てきました(一般企業感覚ではなかなか理解出来ない部分です)。粘り強く出来上がるまで訴え続けていきます。

議員の仕事は見えにくく、成果が足りないと感じることも多くあります。粉骨砕身、一層精進してまいります。



を貫く



Facebook 地域との交流の場



Instagram 越える写真と若者との交流

若い力 自民党

ひたむきに ひたすらに

# 県政報告

令和6年(2024)  
新春号  
VOL.245  
緑区

県土都市整備常任委員会・経済雇用対策特別委員会



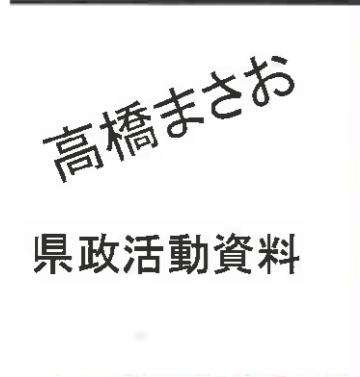
高橋まさお

県政活動資料



高橋まさお

県政活動資料



高橋まさお

県政活動資料



高橋まさお

県政活動資料



高橋まさお

県政活動資料



高橋まさお

県政活動資料



地域歩き「美園」



専用車と県庁の様



新都心



地域散歩「原山」



河祭「大門神社」



消防出陣式

今こそ政治

## 初詣

地元神社「宮本の氷川様」  
毎年、正月元旦に武蔵一之宮「宮本の氷川女神社」へお詣りしている。五年前まで、末っ子の亡マール君と一緒に、お参りしていた地元のお宮なのだ。年々、参詣者が増えてきている。地元皆さんと会話を楽しむ



二十年近く毎年参拝している

## 元気に働く

年初の覚悟「大北神社」

365日休まず働く「まーちゃん」  
いつからそうなったのか？子供の時から、の性分と思うが...。マール君を失ってから特に夢中で走っている。  
汗を流してたくさん働きます



汗を流してたくさん働きます

新春のごあいさつ  
新たな春がまいりました。未だ寒さ厳しい日々が続いておりませんが、もうすぐ新たな芽吹きと暖かく爽やかな春の到来となります。  
地域の皆さまには、日頃から高橋政雄の地域活動に温かいご支援とご理解をいただきまして、深く感謝申し上げます。  
今、世界ではコロナウイルス感染症が終息を迎えたとはいえ、ロシアによるウクライナ侵略を始めとして、世界各地において理不尽な争いが頻発しております。私達の日本や近隣友好国では、中国・北朝鮮・ロシアによる武力威嚇を受けています。私達人間は明日を担う子供達に、安心安全な日本を残したいと考えます。  
私の心は常に地元にあります。「高橋まさお」は、地域の皆様一人おひとり心と共にして、今後とも大いに汗を流して働いてまいります。  
令和六年新春  
緑区代表 埼玉県議会議員 高橋政雄



お正月「自宅」

- 浦和市中尾(現、さいたま市緑区)生まれ 原山幼稚園・尾間木小・東浦和浦和南高を経て 中央工学校建築科卒
- 資格 一級建築士・宅地建物取引士 被災建築物応急危険度判定士
- 小中学校PTA会長・市P連会長・商店会長 社会教育委員・女性政策推進協議会 行政改革推進懇話会・県都市計画審議会 県国土利用計画審議会・県農業会議 自治会長・消防団員・自主防災本部長
- 現職(社)埼玉県建築士事務所協会顧問 (社)埼玉県住宅建設協会浦和支部顧問 ホーイカト205団育成会顧問・他
- 議会 副議長経験・監査委員経験 現/県土都市整備常任委員会

HPブログ 毎日更新  
「まーちゃん日記」  
県政 110番



埼玉県議会議員 高橋まさお

県政活動資料



埼玉県議会議員  
高橋まさお

〒336-0932 さいたま市緑区中尾270  
PHONE 048-873-4369  
FAX 048-873-8489  
http://www.marchan.jp

昨年度 定例県議会

昨年度の「本会議質問」

昨年度の県議会にて、締めくくりの演壇に立った。県に対して鋭く質問・提言！「グローバル有能人材、文化芸術立県、大学附属病院建設、発達障害への理解」高橋政雄の熱い提言・質問～知事・執行部の答弁、真剣勝負の瞬間。(写真/左)

「地域の声を県政に！」

- ① **グローバル有能人材の育成**
  - 働き盛りの高齢者、元気に格好良く質問を始めます。
  - グローバル思考の若者への留学支援の今とこれから。
  - 県職員のグローバル有能人材の育成。
  - 国をリードする形でグローバル人材を育てませんか。
  - 〈答弁者〉知事
- ② **文化芸術の埼玉県・人づくり**
  - 多くの施設と総合力で子供たちへの文化芸術の教育を拡大していくことを望みます。
  - 我が国の誇り、国力です。知事どう考えますか。
  - 〈答弁者〉知事
- ③ **大学附属病院の建設**
  - 重要な事業なので知事におたずねします。
  - 順天堂大学浦和美園キャンパスの整備を着実に進める為の決意をお示し頂きたい。
  - 〈答弁者〉知事
- ④ **埼玉スタジアム線の延伸について**
  - 令和5年度の鉄道事業者要請にどのような課題が。県と市はどのように連携して取り組んでいくのか。延伸に向けての知事の意気込みを聞かせて下さい。
  - 〈答弁者〉知事

- ⑤ **発達障害への理解**
  - 発達障害には4つの症状があります。
  - 発達障害児・障害者を保育所、幼稚園、学校、社会で支援の必要がある。能力をつぶしてはいけない。県はこれまでどの様に取り組んできたのか、今後どのように取り組んでいくのか。福祉部長に伺います。
  - 〈答弁者〉福祉部長
- ⑥ **みぬき緑地と新見沼大橋**
  - 新見沼大橋有料道路の料金徴収期間4年、無料化の見通しについて伺う。
  - 〈答弁者〉県土整備部長

埼玉新聞

高橋政雄 県議

「大人の発達障害への支援」

大人の発達障害への支援について、高橋政雄県議が質問した。発達障害は、知的障害や言語障害の遅れが見られないが、コミュニケーション能力が低下し、社会生活に支障をきたす。県は、発達障害者の社会参加を促進するため、支援体制を整える必要がある。高橋氏は、県が、発達障害者の社会参加を促進するため、支援体制を整える必要がある。高橋氏は、県が、発達障害者の社会参加を促進するため、支援体制を整える必要がある。

この発達障害には子供の時に親が気付く「発達障害児」と、大人になり社会環境で様々な人と交わり気付く「発達障害者」大人の障害があります。この私達大人の障害者の概念が認識されるようになったのは、ここ10年から20年の事です。

発達障害には大きく4つの症状があるようです。

- ・1つ、自閉スペクトラム症、自閉症状の事です。好きな事へのこだわりが強く同じことを繰り返したりするようです。また、コミュニケーションなどが苦手で、相手の気持ちを読み取ることが困難という特性も。自閉症は、3歳位までに現れ、おおよそ100人に1人。男性が女性の4倍という報告もあります。原因は、遺伝的要因をはじめ様々な要素が複雑に関与していると考えられています。発症すメカニズムは不明。
- ・2つ目、注意欠如・多動性障害、落ち付きがなく感情が強く表に出やすい傾向があります。

「私の今最大の政治課題」

子供の発達障害

大人の発達障害

発達障害はビッグプロジェクト!!



向の症状。大人になってもこの症状は治まらず、衝動的に職場や家庭内で暴言を吐いてしまったり、時に暴力という形で出る事もあるとの事。

・3つ目、アスペルガー症候群、自閉症の症状はありつつ、知的発達などの遅れが見られないことが特徴との事です。アスペルガー症候群の人は、知的及び、言語発達の遅れがないために他の自閉症の課題が気付かれにくい面があるとの事。学力的にも問題がないために、大人になるまで分からなかったという方もいるという。はつきり言います。私と4年前に亡くなった我が家の次男は、かなりの部分でこの症状に該当すると感じています。

今回の質問では、特に大人の発達障害について、質問を掘り下げて参りたいと思います。自閉症では、「うつ」「不安障害」を抱えることがある。大人になってから障害が顕在化する事がある。多くの自殺がこの障害によっての不幸な結果かもしれない。

障害へ対する工夫として、得意なことを生かす。苦手なことを避ける。困ったときの相談者を作る。小さな成功体験を積み重ねる。周囲の対応として、得意なことを生かす、苦手なことをカバーする環境づくり。障害の特性を理解する。などなど。落ち着きのない特性は、行動力があるという長所でもある。抜きんでた知力・能力を持つての天才エジソンやインシュタインなどもアスペルガーだったと言われている。

私たちは、発達障害児・障害者であっても、卓越した知力・能力を秘めた人材がいることを知った。保育所・幼稚園・学校・社会で支援していく必要があると考える。

以上、県はこれまでどのように取り組んできたのか、今後、どのように取り組んでいくのかをお伺いします。

私みたいな人が多くいるんですよ。

《福祉部長答弁》

発達障害を抱える子供たちに対しては、なるべく早い時期から適切なサポートを行うことが重要と考えます。県では、平成23年度から全ての保育所や幼稚園の先生方が発達障害の特性に早い段階で気づき、適切な支援ができるように研修を行い、発達支援サポーターとして養成して参りました。更に保育所等の支援を小学校へつなげるため、学校生活での留意点や個別的な配慮の例などの研修。成長段階に応じて適切な支援が受けられる体制を整えています。

今後、各地域の医療、保健、福祉、教育等の相互の連携を深め、支援体制の拡充に努めてまいります。

議員お話し通り、発達障害をお持ちの方の中には、ある一つの事について、卓越した知力・能力を持っている方がいらっしゃいますが、周囲のサポートなどによって、潜在的な強みを引き出すことができます。

こうした、発達障害の方の一人一人の個性を社会の中で強みとして発揮して活躍していただくという視点も大切に、誰一人取り残さない、障害をお持ちの方がその能力を最大限生かせる社会の構築に取り組んでまいります。



質問・提言・答弁 「発達障害」



# 県政報告 県政を身近に

埼玉県議会議員

## 武内まさふみ

【発行】  
埼玉県議会 自由民主党議員団

令和5年  
2023  
春季号

Vol.47

### 〈持続可能な社会の実現に向けて〉

私は、令和5年3月31日に告示された県議会議員選挙において当選し、四期目の就任が決められました。これまでの12年間の活動への評価と、次期4年間に於ける更なる活動への期待を頂いたことは、身が引き締まる思いです。

今後、少子化対策をはじめデジタル化の推進や新時代を担う人材の育成など、持続可能な社会づくりが大きな課題です。引き続き、活力にあふれ皆様が誇りの持てる毛呂山町、鳩山町、越生町、そして埼玉県をめざして邁進してまいります。

### 令和5年2月定例県議会(令和5年2月20日～3月17日)

## 「ポストコロナ元年」に向けた新年度予算決まる!!

一般会計2兆2,110億9,500万円(対前年比0.8%減)

(特別会計との合計 3兆6,584億6,987万5千円(対前年比0.4%増))

- 予算規模は3年連続の2兆円超え。6年ぶりに対前年度比がマイナスとなる。
- 県税収入は、経済の幅を見込み、対前年度130億円(1.6%)増となる。
- 国庫支出金は、新型コロナウイルス感染症の交付金の減少が見込まれることから、対前年度比527億円(15.0%)減となる。
- 投資的経費は、高齢者講習施設の整備や公共施設の長寿命化などの増により、対前年度91億円(5.0%)増、過去10年で最大となる1,913億円を計上。

## 武内県議 4期目当選決まる

3月31日告示、4月9日投票の埼玉県議会議員一般選挙において、武内政文県議会議員が当選を果たし、4期目の就任が決められました。

次の任期は、令和5年4月30日から令和9年4月29日までの4年間です。



▲大澤選挙管理委員長から当選証書を受け取る武内県議

## 旧毛呂山高校の校舎等の解体設計を予算計上

かねてから旧毛呂山高校跡地の早期活用を県に求めていましたが、令和5年度予算に、跡地の売却に向けて校舎解体のための設計委託費約2,000万円が計上されました。これにより、ようやく跡地活用のための手続きが動き出します。



▲解体設計の予算が計上された旧毛呂山高校跡地

### 社会的な課題の解決と経済の両立

DXの推進による生産性の向上 ▶ 15億7,500万円

全庁地理情報システム基盤整備による官民まちづくりの推進、建設工事等入札参加資格申請のデジタル化、証紙廃止に伴うキャッシュレス化など。

資源のスマートな利用の推進 ▶ 18億8,300万円

「サーキュラーエコノミー」の事業化に取り組む企業支援のため、ワンストップ支援拠点を設置、また再エネ設備導入の家庭、企業向けの補助制度の創設など。

県産木材の利用拡大支援 ▶ 1億2,100万円

県産木材を利用する工務店に対する、県産木材利用量に応じた支援、木材加工施設の整備や流通ルートの確立に対する支援など

### 新型コロナウイルス感染症の拡大防止

継続して感染症対策 ▶ 1,371億8,479万円を実施

- ◆ 保健・医療提供体制の確保
- ◆ 軽症者の療養体制及びフォローアップ体制の確保
- ◆ 高齢者支援体制の強化、ワクチン接種の推進、福祉施設等における感染拡大防止策

### 「日本一暮らしやすい埼玉」実現への加速

スーパーシティプロジェクトの推進 ▶ 3億6,174万円

市町村と企業とのマッチングを行う「ガバメントピッチ」を開催するほか、事業推進補助5,000万円を補助する。

介護人材の確保・定着の促進 ▶ 5億1,300万円

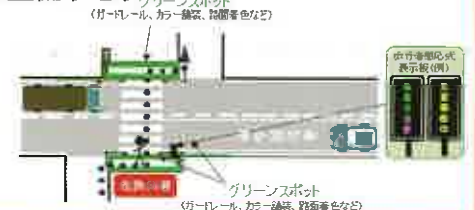
介護職への転職等に係る就職支援金の貸付、市町村への助成、介護ロボット購入補助、暴力・ハラスメント専門相談窓口の設置など

地域の魅力創造発信と観光振興 ▶ 3億9,732万円

バーチャル技術による県の魅力発信、東京からの近さを活かしたインバウンド誘致、所沢航空発祥記念館のリニューアルなど

「通学路グリーンスポット」の整備 ▶ 2億円

横断者が安全に待機できるよう、ガードレールの設置に併せ、カラー舗装、路面着色などを施す。令和8年度までに20か所を整備する。



### 「パーキングパーミット推進条例」が成立 ～自民党県議団が提案～

自民党議員団では昨年秋からプロジェクトチーム(武内県議がメンバー)を立ち上げ、本県への新たな制度導入をめざし、条例案を検討してきました。同団では2月定例県議会に議員政策条例として「埼玉県福祉のまちづくり条例の一部を改正する条例」(案)を提案し、全会派一致で可決成立しました。

条例では、県は、高齢者、障がい者等のための駐車施設の適正利用を進めるため、利用証の交付を行うこと、また、事業者の協力の下で駐車施設の確保や、利用証の交付を受けた県民に優先的な利用を確保する努力義務を規定しました。令和5年11月1日から施行されます。



# 令和5年度 県関連の主な地元公共事業 (予算額1千万円以上の事業)

3町(毛呂山町、越生町、鳩山町)における県土整備事務所施工の令和5年度予算額は、12億1,900万円(13か月予算を含む)となります。これは前年度の11億7,600万円に比べ3.6%増になりました。

\*13か月予算：補正予算を翌年度に執行する予算で、年度当初から切れ目のない公共事業が実施できる。



- 越生町**
- 1 県道越生長沢線(小杉地内)用地・補償
  - 2 県道越生長沢線(黒山地内：北ヶ谷戸橋)断面修復
  - 3 県道飯能寄居線バイパス(西和田地内)舗装修繕
  - 4 上殿川(上谷地内)測量設計
  - 5 柳田川(上野地内)溪流保全工事等3か所 +13か月予算
  - 6 越辺川(越生地内)川の再生推進費、測量
  - 7 県道飯能寄居線バイパス越生大橋 落橋防止

- 毛呂山町**
- 1 県道飯能寄居線バイパス(岩殿陸橋)ひび割れ補修
  - 2 県道飯能寄居線バイパス(葛貫地内)法面保護
  - 3 県道川越越生線(市場地内)舗装修繕
  - 4 県道岩殿岩井線(前久保地内)舗装修繕
  - 5 大谷木川(長瀬地内)測量設計
  - 6 葛川(西大久保地内)測量設計 +13か月予算
  - 7 毛呂川(平山地内)護岸工、測量設計
  - 8 越辺川(苦林地内)測量設計 +13か月予算
  - 9 大谷木川(長瀬地内)河川管理施設修繕委託・工事
  - 10 毛呂川(毛呂本郷地内)堆積土砂掘削工事：高福寺橋から下流約500m



- 鳩山町**
- 1 重郎橋 橋梁架換工事(使質料・工事・補償)
  - 2 県道岩殿岩井線(石坂地内)舗装修繕
  - 3 県道岩殿岩井線(赤沼地内)舗装修繕
  - 4 県道ときがわ坂戸線(竹本地内)法面保護工
  - 5 鳩川(重郎橋付近)橋梁架換工事、用地買収



## 武内まさふみの活動日誌

### ■川越線・八高線沿線活性化推進議員連盟によるJRへの要望(1月12日)

JR大宮支社に対して川越線の複線化を要望しました。(議事堂内にて)



### ■新春交通安全の集い・交通安全大会

県内各地の交通安全協会の皆様と、交通事故の防止を誓いました。(1月30日)



### ■県議会フォトコンテスト表彰式(2月6日)

議長賞と副議長賞の受賞者の皆さんと記念撮影。



### ■彩の国ビジネスアリーナ(2月8日)

3年ぶりに会場で開催された県内中小企業の商談会を議長とともに訪問しました。



### ■西武ライオンズの副議長表敬訪問

オープン戦を前に、奥村代表取締役社長から球団マスコットのレオのぬいぐるみが贈られました。(3月29日)



### ■彩の国プラチナ事業・埼玉パラドリームアスリート事業認定証交付式(4月16日)





# 県政報告 県政を身近に

令和5年  
2023  
夏季号

Vol.48

埼玉県議会議員

## 武内まさふみ

【発行】  
埼玉県議会 自由民主党議員団

### 〈持続可能な地域づくりを〉

県議会議員4期目の任期が令和5年4月30日から始まりました。私は、5月の臨時県議会において、県の監査委員に選任されました。また、埼玉県自民党支部連合会の役員である財務委員長に就任しました。これまでの経験を生かして、新たな分野において県議会議員として活動を一層広げてまいります。

一方、毛呂山、越生、鳩山3町をはじめとする県西部の安心安全を確保するとともに、道路等の社会基盤整備に取り組み、均衡ある県土の発展をめざします。また、デジタル化の技術を活用して安心で利便性の高い地域づくりを進めます。皆様の声をお聞かせください。

## 県議会「初顔合わせ」(5月16日)



武内県議

県議93人の会派別内訳

自民	民主 フォーラム	公明	県民	共産	改革	維新	無所属
58人	12人	9人	7人	3人	1人	1人	2人

## 令和5年6月定例県議会 (6月19日~7月7日)

この度は、補正予算の議案はなく、県税条例の一部を改正する条例など条例案5件、工事請負契約の変更1件の6議案が承認されました。

また、議員提案として9件の意見書が採択されました。特に、「警察車両の充実強化を求める意見書」については、武内県議が昨年度の予算特別委員会で取り上げた問題を受けたものです。また、「森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書」は武内県議が今任期中に取り組む重要課題の一つになっています。

### 電動キックボードの違反者講習を新設

### 「手数料条例」及び「バリアフリー条例」の改正

特定小型原動機付自転車(電動キックボード等)の交通方法等が新設(令和5年7月1日~)されました。これにより特定の危険行為を過去3年以内に2回以上繰り返した者は、講習を受けることが義務付けられ、その講習手数料(2,000円)が新設されました。

また、歩行者用青信号に従って通行する対象に電動キックボード等が追加されました。



## 臨時県議会(5月23日~24日)

議事

## 武内県議、議会選任の県監査委員に就任 警察危機管理防災委員会、地方創生・行財政改革特別委員会に所属

武内県議は、4名の県監査委員のうち県議会議員の委員として本会議で承認されました。

監査委員については、識見を有する者の監査委員2名、県議会議員の監査委員2名、計4名を、知事が議会の同意を得て選任するものです。

議長、副議長、所属委員会、常任及び特別委員会などの正副委員長、その他の役職が決まりました。武内議員の所属委員会は、警察危機管理防災委員会(常任委員会)及び地方創生・行財政改革特別委員会です。

議長は立石康広氏(川口市選出)、副議長は岡田静佳氏(所沢市選出)に決まりました。

また、改選後の臨時議会において議会史上初めて補正予算が上程されました。このため、2日間にわたり審議が行われました。

### 武内前副議長へ全国議長会から感謝状

令和5年4月まで県議会副議長を務めた武内県議会議員に、全国都道府県議会議長会及び関東甲信越一都九県議会議長会から感謝状が贈られました。



▲後任の岡田副議長から感謝状を受け取る武内県議

## 補正予算案 183億8,387万9千円を承認

物価高騰の影響を受ける生活者等に対する緊急支援として、国の追加補正予算に対応した補正予算が提案され議会で承認されました。財源は全額、国庫支出金です。

### 物価高騰の影響を受ける生活者に対する緊急支援

- LPガスを使用する一般消費者支援(1世帯当たり2,500円)
- 学校給食の物価相当額を支援 など

46億7,877万円

### 物価高騰の影響を受ける事業者に対する緊急支援

- 福祉施設、医療施設等に対する緊急支援
- 特別高圧電力を使用する中小企業等に対し補助 など

115億4,191万円

### 物価高騰の影響を受けにくい経営体質への転換を促す支援

- 中小企業等の省エネ・再エネ設備導入費補助
- 地域内資源を活用した堆肥製造設備の導入費補助 など

21億6,319万円

武内まさふみ県政調査事務所 〒350-0416 埼玉県入間郡越生町越生895 TEL&FAX 049-292-2802

【オフィシャルサイト】<http://www.takeutimasafumi.jp> 武内まさふみ 検索 【Eメール】[take9uch@tenor.ocn.ne.jp](mailto:take9uch@tenor.ocn.ne.jp)



※皆様のご意見をお寄せください。掲載記事ならびに掲載画像の無断転載はご遠慮ください。

# シェイクアウト埼玉

令和5年9月1日(金) 午前11時58分

## 県内一斉防災訓練に参加を!

関東大震災から100年を契機に、防災週間の中9月1日に、埼玉県議会の主催により実施します。シェイクアウト訓練は、地震を想定して参加者が一斉に身を守るための安全確保行動を行うものです。より多くの県民、企業団体等皆様の参加をお願いします。

### 県の「ふるさと創造資金」採択事業の紹介

#### 毛呂山町 「健幸づくりのまち推進による魅力向上事業」

健康遊具や公園遊具の整備をはじめウォーキング環境の整備などにより町の魅力アップと住民の健康増進を図ります。また、埼玉医科大学グループとの連携により、医学的見地から健康づくりのサイクルを創出します。(事業費1,153万円、うち県補助560万円)



健康づくりウォーキング環境整備事業の一例▶

#### 越生町 「越生ブランド振興事業」

「組子細工」や「越生うちわ」などの伝統工芸品や梅やゆずなどをブランド認定するとともに、イベントなどを通じて広くPRすることにより更なる観光資源としての魅力度アップと産業振興、伝統技術の継承をめざします。(事業費315万円、うち県補助140万円)

「越生ブランド振興事業」のイメージ



#### 比企地域元気アップ実行委員会 「比企地域人口誘導戦略事業」

鳩山町をはじめ比企地域の人口維持・増加をめざして、就職を希望する高校生と担い手が不足している比企地域の企業とをマッチングするための企業紹介動画を作成します。(事業費226万円、県補助110万円)

### 武内まさふみの活動日誌

#### ■山村・林業振興協議会総会 (5月17日)

当協議会は、県西部、北部地域の19市町村を会員とし、山村、林業の振興と住民の生活の向上をめざしています。

#### ■新川越越生線建設促進期成同盟会総会

沿線の5市町を構成員とし、建設促進のための要望を県に行っています。県議会議員は顧問として参加しています。(5月18日)



▲県議会議員を代表して挨拶する武内県議

#### ■自民党県連役員会 (5月22日)

県議会議員改選後、初の役員会を開催。新役員(武内県議は財務委員長)が出席。

#### ■川越都市圏まちづくり協議会 (5月25日)

川越市、鶴ヶ島市、坂戸市、川島町、毛呂山町、越生町を構成員として、連携したまちづくりを行っています。鳩山町が新たに協議会に加わることとなりました。

#### ■東京トレーラーハウスショー

武内県議は、警察危機管理防災委員会の委員として、移動が可能なトレーラーハウスを使った医療・災害関連の利用を中心に視察しました。(5月26日、右写真参照)

#### ■比企地域行政連絡会議 (6月2日)

#### ■川越地域行政連絡会議 (6月8日)

県議会議員と県の地域機関の長とが顔合わせと意見交換をしました。

#### ■監査委員会議 (6月7日)

#### ■監査委員監査(本庁各課) (7月10日~8月8日)



▲新たな利用拡大が見込まれる防災基地局

# シェイクアウト埼玉

県内一斉防災訓練

参加者募集!

令和5年9月1日(金) 11時58分

関東大震災(正12月9日)11時58分発生から100年  
防災週間の8/30~9/5の間でも実施可能

あなたがいるその場所で

3つの安全行動を  
その場で行うだけ!



シェイクアウト訓練とは?



1分程度で  
終了

シェイクアウト  
訓練のあとは

プラスワン

- ・災害用伝言ダイヤル(171)の体感利用
- ・避難場所の確認
- ・マイタイムラインの作成
- ・避難経路の確認
- ・ハザードマップの確認
- ・備品の確認 etc

埼玉県議会 防災基地局ホームページをご覧ください



参加される方は、左の二次元コードを読み込んで、  
県議会のホームページからアクセスしてください。

◀県議会ホームページ二次元コード

### 新たな自民党議員団プロジェクトチームの動き

今回当選した新人議員を加え、5つの新規PTが始動しました。様々な課題を解決するためのPTで検討し、条例化をめざしていきます。武内議員は全てのチームに参加します。

- ◆性暴力・性犯罪根絶PT
- ◆子どもまんなかPT
- ◆スクラップヤード対策PT
- ◆クラブチーム振興PT
- ◆埼玉県虐待禁止条例の一部改正検討PT



▲プロジェクト会議の様子





# 県政報告 県政を身近に

埼玉県議会議員

# 武内まさふみ

たけうち

令和5年  
2023  
秋季号

Vol.49

【発行】  
埼玉県議会 自由民主党議員団

## 〈ごあいさつ〉

今年は関東大震災から100年を迎えたことから、県議会の主催で9月1日の防災の日を中心に地震を想定したシェイクアウト訓練を行いました。約60万人の県民、団体の皆さんが参加され、防災意識を共有することができました。参加された皆様に感謝申し上げますとともに、日頃の災害に対する備えをお願いします。

私は、県議会の警察危機管理防災委員会の委員として、安全、安心な郷土埼玉をつくるために、引き続き県の防災対策の強化に取り組んでまいります。

## シェイクアウト埼玉

### ～県内一斉防災訓練～が行われる

関東大震災から100年目にあたる9月1日、県議会が県民の参加を働きかけて、県内一斉シェイクアウト訓練が実施されました。個人、家庭、小中学校をはじめ、企業、団体、市町村役場など、当初目標人数を大きく上回る約59万5千人が登録し参加しました。

この訓練を通じて、災害伝言ダイヤルの体験利用や避難経路・場所の確認なども行っていただき、広く防災意識の向上が図られました。



▲シェイクアウト訓練の様子(越生小学校)



▲シェイクアウト訓練の様子(武内事務所)

## 令和5年9月定例県議会(9月22日～10月13日)

一般会計補正予算をはじめ、条例(5件)、工事請負契約の締結(朝霞児童相談所、越谷警察署庁舎新築工事など4件)、財産の取得(抗インフルエンザ薬)など17件の議案が承認されました。

## 補正予算案 165億1,057万9千円を承認

高齢者・障害者施設等における新型コロナウイルス感染症対策の支援継続や企業版ふるさと納税を活用したeスポーツの普及・裾野拡大のためのイベント開催に要する経費に予算措置を講じるとともに、公共事業の追加など当面对応すべき事業について補正予算を編成しました。

### 主な内訳

1 高齢者・障害者施設等における新型コロナウイルス感染症対策の支援継続

69億4,946万6千円

2 企業版ふるさと納税を活用したeスポーツの普及・裾野拡大

1,062万9千円

- プロ選手によるエキシビジョンマッチや体験会の開催
- 高校生を対象としたトレーニングキャンプの開催

3 公共事業の追加・適正工期の確保

21億6,345万3千円

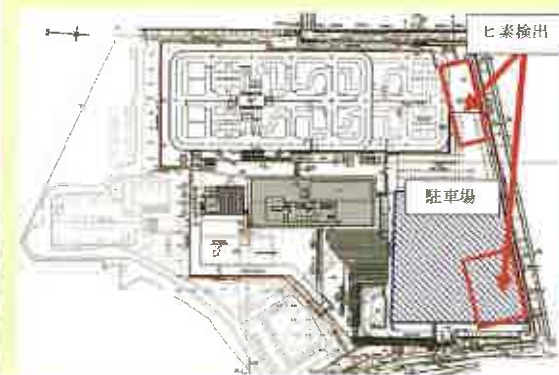
- 道路・街路事業(21か所)、河川事業(13か所)、公園事業(1か所)
  - 緑越明許費の設定
- 94億2,707万1千円

4 高齢者講習施設庁舎建設費の継続費の変更

4億8,845万5千円

現在建設中の高齢者講習施設(さいたま市岩槻区)の駐車場予定地からヒ素が検出され土壌の処分が必要となったため、令和5年度までの事業期間を令和6年度まで延長するものです。総額が6億753万円増え、全体で68億3,425万円となります。

施設の開所時期は、土壌処分は庁舎本体工事に影響が及ばないため、当初計画どおり令和6年5月の予定です。



▲高齢者講習施設の見取り図

### 子どもの放置による事故防止をめざした条例案が廃案

子どもの放置による事故を防ぐことを目的とした「虐待禁止条例の一部改正条例」案が、9月定例会中に自民党議員団から提出されました。改正条例案では、小学校3年生以下の子どもを車内や住宅などに残して外出しないことを保護者に義務付け、4～6年生については努力義務とする。また、虐待を受けた子どもを発見した場合の県民の通告・通報を義務化しようとする条項を加えようとしたものです。

この条例案について、県民の皆様から多くの懸念や疑問の声が寄せられたため、諸般の事情を勘案して県議団から条例案の撤回の申し出があり、本条例案は廃案となりました。

5 地域医療介護総合確保基金への積み立て

68億9,857万6千円

- 高齢者施設等における感染発生時のサービス提供体制の継続確保への支援財源として措置される国庫支出金を基金に積み立てるものです。



## 越生交番建て替えへ

地域の安全を守る拠点として親しまれてきた西入間警察署越生交番が、施設の老朽化のため現在地に改築されることになりました。昭和49年4月、現在の場所に西入間警察署越生幹部派出所として設置され、平成6年11月越生交番に名称が変更され今日に至っています。

令和5年度に基本設計を行い、令和6年度中に完成予定です。



▲まもなく建て替えられる越生交番



## 防犯カメラの設置〔県が支援〕

犯罪を起こさせにくい地域環境づくりを推進するため、防犯カメラの設置を行う市町村に対し、県が「防犯環境整備推進補助金」を交付しています。

補助額については、原則として対象経費の3分の1以内ですが、財政力や犯罪状況などを勘案して県が指定する市町村は、補助率が3分の2となります。県指定市町村の状況は、令和2、3年度が越生町、鳩山町、令和4年度が毛呂山町、鳩山町、令和5年度が3町となっています。

【これまでの実績】※交付額の単位は千円

		R5年度	R4年度	R3年度	R2年度
毛呂山町	交付額 (設置か所)	2,510 (6か所)	2,236 (6か所)	要望なし	要望なし
	県指定	○	○		
鳩山町	交付額 (設置か所)	3,050 (6か所)	1,685 (6か所)	1,298 (3か所)	1,371 (3か所)
	県指定	○	○	○	○
越生町	交付額 (設置か所)	要望なし	要望なし	要望なし	要望なし
	県指定	○		○	○



▲防犯カメラの設置例(毛呂山町川角)



▲防犯カメラの設置例(鳩山町今宿)

## 武内まさふみの活動日誌

### 【委員会視察】

#### ■警察危機管理防災委員会

8月31日、警察危機管理防災委員会は、東京消防庁の即応対処部隊(東京都葛飾区)と千葉運転免許センター(千葉市)を視察しました。

即応対処部隊は、広域的な自然災害に特化して、エアポートをはじめ水陸両用車両、高機動救助車などの特殊車両を備えており、先遣隊としての役割を担っています。



▲東京消防庁即応対処部隊の皆さんと

また、千葉運転免許センターでは、運転免許更新時に優良運転者がオンライン講習をできるモデル事業を行っています。来年度には、自動受付機や事前予約システムを導入する予定です。埼玉県でも今後こうしたシステムを導入することになるでしょう。



▲事業の説明を受ける委員

#### ■地方創生・行財政改革特別委員会

9月11日～12日、当該特別委員会は、地域活性化の取組事例として「なごのキャンパス」(名古屋市)と「とよたエコフルタウン」(豊田市)を視察しました。

「なごのキャンパス」は、廃校となった小学校を市が2019年にリノベーションして産業・ベンチャーを育成する施設に転換し、現在トヨタ不動産(株)が借り受けて運営されています。遊休施設の活用や産業活動との連動など、地域活性化の参考になりました。



▲教室がワーキングスペースに

また、「とよたエコフルタウン」は、SDGs未来都市に指定されている豊田市が、持続可能な社会の実現に向けた取組を紹介する全国初の施設です。ロボットや様々な移動支援のための乗り物を展示しています。



▲移動用電動車に試乗

#### ■監査委員会から知事へ 監査意見書提出

9月14日、県監査委員から知事に対して令和4年度決算等について、意見書を提出しました。監査委員4名のそれぞれから説明の後、意見書が砂川副知事に手渡されました。



▲砂川副知事に意見書提出

#### ■赤い羽根共同募金の街頭活動

10月3日、浦和駅、大宮駅、川口駅において社会福祉議員連盟の県議が主体となって、赤い羽根共同募金の街頭活動を行いました。



▲知事・議長とともに(浦和駅)

#### ■防犯のまちづくりキャンペーンの街頭活動

10月11日、浦和駅において防犯のまちづくり推進議員連盟の県議により、防犯キャンペーンを

行いました。



▲防犯グッズを配布

#### ■西入間地区地域安全・暴力排除推進大会

10月14日、ウィズもろやま(毛呂山町)において表彰並びに大会宣言が行われました。



▲来賓としてあいさつ

#### 12月定例県議会で武内 県議が一般質問

12月定例県議会が12月4日から22日までの日程で開会される予定です。一般質問は8日から14日まで行われます。武内県議は14日(木)15時から登壇する予定です。

※県議会の様子は随時インターネットでも中継されます。県議会のHPからご覧ください。右のQRコードからアクセスできます。





# 県政報告 県政を身近に

令和6年  
2024  
冬季号

Vol.50

埼玉県議会議員

## 武内まさふみ

【発行】  
埼玉県議会 自由民主党議員団

### 〈第50号発行を迎えて〉

このたび、県政報告が第50号を迎えることができました。定例県議会毎に、県民の皆様にお伝えしたい県政や県議会の動きをピックアップして記事にしてみました。早いもので、私が県議会議員に就任して以来13年になります。県政が身近になったとの声を耳にし、継続的に報告を出していることの重要性を実感します。これからも皆様と県とのパイプ役をしっかりと果たしてまいります。

### 遭難者等の緊急運航業務に係る手数料額を増額へ

知事が指定した山岳エリアにおいて遭難し、県防災航空隊の緊急運航により登山者等は手数料を支払う必要があります。現在は燃料費実費相当額として、飛行時間5分ごとに5,000円となっておりますが、燃料価格の高騰と、機体の大型化による燃料使用量が増加するため、令和6年4月1日から8,000円に増額することとしました。

なお、手数料を徴収することとなった平成30年1月1日からの実績は31件（33人）、平均手数料額は65,000円となっております。



防災ヘリ「あらかわ3号」

### 県議会で2回目の防災訓練実施

12月定例会の開会日の本会議終了後、昨年到现在に続いて防災訓練が行われました。今回は、議場の自席に用意されたヘルメットをかぶり退避後、屋外で本会議が開催され、議長が延会を宣言しました。



### 令和5年12月定例県議会（12月4日～12月22日）

一般会計補正予算（4件）をはじめ、条例（男女共同参画推進センター条例の一部改正条例案など4件）、和解（1件）事件議決（11件）の計20件の議案が承認されました。また、追加提案された職員給与改定に伴う補正予算及び国の経済総合対策に対応した補正予算が承認されました。

### 当初補正予算 9,688万1千円

#### 〈主な内訳〉

- 1** 高温などによる水稲及び大豆の被害への対応……9,676万5千円
  - ◆令和5年夏の記録的な高温等を原因とした「彩のかがやき」などの水稲や大豆に生じた被害について、農業者に次期作の種苗・肥料の購入費用への支援を行う市町村に対して補助する。
- 2** 県立川口特別支援学校教室棟の増築工事……11万6千円
  - ◆令和8年4月の供用開始に向けて、令和5年度から令和7年度に増築工事を行う。
  - 《継続費の設定》  
令和5年度年割……11万6千円  
令和6年度年割…6億5,355万6千円  
令和7年度年割…9億7,841万6千円
- 3** 公共事業等の施行時期の平準化・適正工期の確保
  - ◆施行時期の平準化（債務負担行為の設定）……限度額 115億7,220万円  
公共事業、県有施設改修事業、県立学校改修事業、工業用水道施設・水道施設修繕事業など
  - ◆適正工期の確保（繰越明許費の設定）……167億4,402万円

### 国の「総合経済対策」に基づく追加補正予算

……114億9,715万円2千円

#### 〈主な内訳〉

- 物価高騰の影響を受ける生活者・事業者に対する緊急支援  
……90億8,017万6千円
  - ◆LPガスを使用する一般消費者に対する補助……31億8,743万円
  - ◆ひとり親家庭等に対する大学等の受験料の補助……1,171万円
  - ◆福祉・医療施設、私立学校等の光熱水費補助……35億1,265万円
  - ◆トラック運送業者に対する燃料価格高騰の影響を緩和する補助  
……23億2,800万円
  - ◆県産農産物の販売促進キャンペーンに対する補助……3億 487万円
- 物価高騰の影響を受けにくい経営体質への転換を促す支援  
……21億6,517万6千円
  - ◆中小企業の省エネ・再エネ設備の導入経費に対する補助……14億円
  - ◆施設園芸農家の省エネ設備等の導入経費に対する補助……2億4,675万円
- その他の総合経済対策に対応した補正予算……2億5,180万円

### 武内県議 一般質問に登壇

12月14日の一般質問の最終日に登壇し、大野知事はじめ執行部と論戦を繰りひろげました。質問と答弁の内容は裏面に掲載しました。



武内まさふみ県政調査事務所 〒350-0416 埼玉県入間郡越生町越生895 TEL&FAX 049-292-2802

【オフィシャルサイト】<http://www.takeutimasafumi.jp> 武内まさふみ 検索 【Eメール】[take9uch@tenor.ocn.ne.jp](mailto:take9uch@tenor.ocn.ne.jp)



※皆様のご意見をお寄せください。掲載記事ならびに掲載画像の無断転載はご遠慮ください。

## 武内県議の一般質問

一般質問者15人のトリを務めました。今回は初めて執行部と対面で質疑応答をする「一問一答」の方式で行いました。

※一問一答方式は、35分の制限時間の中で一問ごとに質問・再(再々)質問を行うことができます。また、執行部の答弁時間の制限はありません。質問時間は全体で1時間30分程度になります。

※すべての質疑の様子は、埼玉県議会ホームページの「議会生中継・録画中継」をご覧ください。

### 〈質問項目〉

1. 「ゼロベースで見直す」とは
2. 地域振興センターのこれから
3. 広域自治体としての県の役割について
4. 「埼玉版スーパーシティプロジェクト」のこれから
5. 国際バカロレア認定校はいつ実現するのか
6. 人工衛星データの活用について
7. 家庭部門におけるCO<sub>2</sub>削減について
8. 海外の姉妹友好州省との交流について



## 地域振興センターのこれから

**武内** デジタル化が進み、県庁と市町村との間に組織が入ることにより、迅速な業務の流れを阻害することにならないか。また、本庁で業務を執行した方が、限られたマンパワーの有効活用と業務の効率化が図られるのではないかと。地域振興センターの在り方をゼロベースで見直す必要があると考えるかどうか。

## 広域自治体としての県の役割について

**武内** 今、県は人口縮小の影響や県土の保全、効率的な資源活用などの観点から広域自治体としての大きな役割が期待されているが、現状では役割を十分に果たしていないように思うがどうか。町村の業務連携や合併の可能性など、県が積極的に提案や問題提起を投げかけてもよいのでは。

## 国際バカロレア認定校はいつ実現するのか

**武内** 平成28年度から検討を開始して以来8年が経過するが、いつ認定校申請の段階に入るのか今だ明確に示されていない。本県の教育の魅力アップとグローバル人材の育成の観点から来年度からでも本格実施の手続きに入るべきと思うがどうか。

## 主な質問と答弁

**企画** 財政部長 災害時の市町村との迅速な情報共有や現場の情報収集などの機能は引き続き必要であると考えている。一方で、DXの進展により、オンライン上で完結させられる業務を本庁や他の地域機関に移したり、窓口のワンストップ化ができないかなど、新たな発想で未来の姿を想定しながら、センターの在り方を検討したい。

**大野** 知事 私は外務省にいたので、機能には横串を指す、地域には広域自治体としての役割を担うことが鍵だと思っている。今、後者に関するものを質疑を通じ勉強した。県と市町村はあくまで対等、協力の関係にあるが、人口減少・超少子高齢社会の到来、災害やパンデミックなど、今日直面している時代の転換期における歴史的な課題に対しては、県が積極的に関与していきたい。

**教育** 長 これまでの検討の中で、安定的かつ継続的な志願者の確保や保護者の経済的負担などの様々な課題が見えてきた。本県におけるニーズ調査を令和5年度中に実施し、その結果を踏まえ、できる限り早急に結論を得るよう努める。

## 武内まさふみの活動日誌

### 【委員会視察】

#### 警察危機管理防災委員会

委員会では11月20日から22日にかけて、以下の4施設を視察しました。

##### ◆(株)ミマモルメ・伊丹市役所

(株)ミマモルメは、ICTを用いた子どもの安全対策のサービスを伊丹市と協働して行っています。市内約1200か所に見守りカメラと受信器を設置し、子供や高齢者を見守ります。



▲市内におけるカメラ等の設置状況

##### ◆兵庫県警察本部

同本部は平成13年7月に明石市民まつり花火大会において大規模な雑踏事故が発生した経験を踏まえ、手引きの作成など雑踏事故対策を実施しています。

##### ◆阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

この施設は、阪神・淡路大震災の経験と教訓を継承し、情報発信するための施設として開設され、年間50万人が来場する防災学習施設です。



▲地震発生を想定したコンビニ店内

##### ◆京都市消防活動総合センター

同センターは、平成21年に平常時、大規模災害時に対応した消防活動拠点として整備され、「消防学校」「訓練施設」「活動支援施設」の機能を備える消防活動を総合的に支える施設です。

▶訓練中の消防隊員



#### ■県道新川越越生線の建設促進を知事に要望

10月20日、新川越越生線建設促進期成同盟会(会長：坂戸市長)の市長、町長とともに、建設促進の要望を知事あてに行いました。



▲山本副知事が対応

#### ■林業への支援を知事に要望

11月6日、県内の4広域森林組合とともに、知事に対して森林整備をはじめとする林業対策の要望を行いました。



▲県議会議員を代表して知事に要望

#### ■西入間警察署歳末交通安全運動及び年末年始特別警戒出発式

12月5日、坂戸文化会館にてミュージシャンの大友康平氏を一日警察署長に任命して、出発式が行われました。



▲視閲を行う大友さん



兵庫県警察本部